

鳥取県立中央病院

業 績 集

第 38 集



2019

## 巻 頭 言

鳥取県立中央病院 院長 廣岡 保明



令和2年4月より院長に就任し8ヶ月が経過しました。就任後、まず本院のミッションである『東部医療の中心的存在として高度急性期医療の推進』をさらに発展させるべく、3つのビジョンを掲げ、それらの達成のための種々の戦略を策定いたしました。さらに、喫緊の課題の解決のための6つのタスクフォース（働き方改革タスク、等）を設置し具体的な活動を始めようとした矢先、世界中で蔓延しているコロナ禍が鳥取にも押し寄せてきました。そのような状況の中で職員は感染の危険があるにも拘わらず揺るぎのない自信で患者に対応するとともに、種々の自粛要請にも応じていただきました。さらには沖縄、大阪、北海道、等への看護師の派遣要請にも自ら志願されたことは、県立中央病院職員としての自負と気概そのものであり、職員の皆さんの意識の高さを誇りに思っているところです。

さて、病院長として4年間の陣頭指揮をとり鳥取県立中央病院の発展に尽力された池口正英前院長が退任されました。その最大の功績は新病院を無事オープンされ、患者さんの移動を一分の狂いもなく完遂されたことでしょう。その後も一部クローズしていた病棟（緩和病棟、9階南病棟）がオープンし、最終形として完成しました。病棟、外来ともゆったりとした設計で、密にならずにすんでおります。また、昨年度も新しい研修医や看護師をはじめ多くの医療従事者が採用されました。そのまじめで、はつらつした姿勢は病院全体を大いに活気づけてくれています。患者のことを第一に考える素敵な医療従事者に育ってくれることを祈念しております。

昨年度より鳥取県立中央病院・業績集を発刊せずホームページに掲載することとなり、今回が2回目となりましたが、本年も滞りなく公開することができました。

医療・医学は日々進化し発展していますが、その質を向上させ、最新の医療を患者さんに還元するのは当院の使命でもあります。各人が自己研鑽し、診療、研究、教育（人材育成）を行っていく上で、この業績集は1つの指標になるのではないかと思います。各人がこの業績集を見て、研究活動、資格取得、人材育成、など多くの事に挑戦していこう、と思ってもらえたら嬉しく思います。

コロナ禍から解放される見通しは未だたっておりませんが、ワクチンが実用化され始めたことはわずかな希望でもあります。引き続き、新型コロナウイルス対策を地道に実行する中で、各人がさらなる研鑽を行い、地域医療のため、そして地域全体のために貢献できるよう全職員が一致団結して前進していただくことを期待しておりますし、それを支援していきたいと思っております。

# 鳥取県立中央病院業績集 第38集 (2019年1月～12月)

## 目 次

### 巻頭言

施設認定, 個人資格, 学会評議員ほか (2019年4月～2020年3月)	1
臨床研修医名簿, コメント	21
誌上発表論文等, 研究業績目録	
・ 誌上発表論文等一覧	25
・ 総合内科	30
・ 呼吸器内科	30
・ 消化器内科	31
・ 血液内科・輸血科	33
・ 糖尿病・内分泌・代謝内科	35
・ 緩和ケア内科	36
・ 腎臓内科	37
・ リウマチ・膠原病内科	38
・ 脳神経内科	38
・ 心臓内科	40
・ 放射線科	42
・ 外 科	43
・ 整形外科	47
・ 形成外科	48
・ 心臓血管外科	49
・ 呼吸器・乳腺・内分泌外科	49
・ 脳神経外科	50
・ 泌尿器科	51
・ 産婦人科	52
・ 小児科	53
・ 皮膚科	54
・ 救急科	55
・ 病理診断科・臨床検査科	55
・ 歯科口腔外科	56
・ 看護局	57
・ 薬剤部	61
・ 中央放射線室	61
・ 中央検査室	63
・ 臨床工学室	64

・リハビリテーション室	65
・栄養管理室	66
・感染防止対策室	66
・がん相談支援センター	67

## 臨床統計

・診療科統計	69
消化器内科，呼吸器内科，血液内科，心臓内科，脳神経内科，放射線科，外科／消化器外科，小児外科，整形外科，形成外科，心臓血管外科／呼吸器・乳腺・内分泌外科，脳神経外科，麻酔科，泌尿器科，産婦人科，小児科，耳鼻いんこう科，眼科，皮膚科，救急科，歯科・口腔外科，リハビリテーション科	
・部門統計	
救命救急センター，周産期母子センター，血液浄化室，健診センター，中央検査室，薬剤部，栄養管理室，地域連携センター・がん相談支援センター，患者支援センター 医事（公的医療の状況）	
・病理診断科	
・医療安全対策室	
・感染防止対策室	
・化学療法室	
・院内がん登録	

## 院内研究会・CPC

・総合内科	136
・小児科	136
・中央放射線室	137
・中央検査室	137
・薬剤部	139
・がん相談支援センター	140
・医療安全対策室	141
・感染防止対策室	142
・研修医カンファレンス	144
・CPC レポート	146

業績集規約	169
-------	-----

施 設 認 定  
個 人 資 格  
学 会 評 議 員 ほ か

(2019年4月～2020年3月)

## 施設認定（2019年4月～2020年3月）

### <認定・指定病院の状況>

日本医療機能評価機構	日本医療機能評価機構認定 3rdG : Ver1. 1 ／一般病院 2（200～499床）
卒後臨床研修評価機構	認定施設
厚生労働省・鳥取県	臨床研修病院（基幹型・協力型）
	臨床修練指定病院
	歯科研修協力施設
	地域がん診療連携拠点病院
	エイズ拠点病院
	地域周産期母子医療センター
	基幹災害拠点病院
	DMA T 指定医療機関
	第二種感染症指定医療機関
	地域医療支援病院
肝疾患専門医療機関	
日本臓器移植ネットワーク	脳死からの臓器提供病院
日本骨髄バンク	非血縁者間骨髄採取認定採取施設
世界保険機構・国連児童基金	赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly Hospital）
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	マンモグラフィ検診施設画像認定
日本臨床衛生検査技師会	精度保証施設認定
国立研究開発法人国立がん研究センター	認定がん相談支援センター

### <学会指定病院の状況>

日本内科学会	認定医制度教育関連病院
日本消化器病学会	専門医制度指導施設
日本消化器内視鏡学会	専門医制度指導施設
日本消化管学会	胃腸科指導施設
日本呼吸器学会	認定施設
日本呼吸器内視鏡学会	関連認定施設
日本糖尿病学会	認定教育施設
日本血液学会	認定血液研修施設
日本造血細胞移植学会	非血縁者間造血幹細胞移植認定移植施設
日本循環器学会	認定循環器専門医研修施設
日本不整脈学会・日本心電図学会	認定研修施設
日本心血管インターベンション治療学会	認定研修施設
日本神経学会	専門医制度准教育施設

日本リウマチ学会	教育認定施設
日本脳卒中学会	認定研修教育病院
日本リハビリテーション医学会	研修施設
日本精神神経学会	専門医制度研修施設
日本外科学会	外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会	専門医修練施設
日本食道学会	食道外科専門医認定施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構	基幹施設
関連 11 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会	血管内治療実施施設
関連 10 学会構成ステントグラフト実施管理委員会	ステントグラフト実施施設（腹部・胸部）
呼吸器外科専門医合同委員会	専門医制度認定修練施設
日本乳癌学会	認定医・専門医制度関連施設
日本脳神経外科学会	専門医研修プログラム 研修施設
日本整形外科学会	専門医研修施設
日本形成外科学会	専門医認定施設
日本小児科学会	専門医認定施設
	鳥取大学小児科専門研修プログラム連携施設
日本周産期・新生児医学会	周産期（新生児）専門医 指定研修施設
	周産期母体・胎児専門医 基幹研修施設
日本小児循環器学会	小児循環器専門医修練施設群
日本小児神経学会	専門医研修関連施設
日本産科婦人科学会	専門医制度専攻医指導施設
	婦人科腫瘍登録施設
	周産期登録施設
	ART 登録施設
婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構	登録参加施設
日本泌尿器科学会	拠点教育施設
日本眼科学会	専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設
日本医学放射線学会	専門医修練機関
日本 IVR 学会	専門医修練認定施設
日本救急医学会	救急科専門医指定施設
日本麻酔科学会	認定病院
日本臨床腫瘍学会	認定研修施設
日本がん治療認定医療機構	認定研修施設
日本プライマリ・ケア学会	認定医研修施設
日本臨床栄養代謝学会	N S T 稼動認定施設

	NST 専門療法士認定教育施設
日本病態栄養学会	栄養管理 NST 実施施設
	専門医研修認定施設
日本栄養療法推進協議会	NST 稼働施設
日本病理学会	研修認定施設 B
日本臨床細胞学会	認定施設, 教育研修認定施設
日本超音波医学会	認定超音波専門医研修施設
日本口腔外科学会	認定研修施設
日本病院総合診療医学会	認定施設
特定非営利活動法人日本臨床検査標準協議会	精度保証施設認定
日本皮膚科学会	専門医研修施設
日本内分泌外科・甲状腺外科専門医制度委員会	認定施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会	専門研修連携施設
日本腎臓学会	研修施設
日本透析医学会	教育関連施設

## 個人資格（2019年4月～2020年3月）

### 内科

日本内科学会	認定内科医	杉本勇二, 宗村千潮, 田中孝幸, 檜崎晃史, 小村裕美, 田中 究, 浦川 賢, 柳谷淳志, 岡本 勝, 村尾和良, 前田和範, 長谷川泰之, 安東史博, 澄川 崇, 上田康仁, 橋本由徳, 遠藤功二, 林 暁洋, 岩本 拓, 涌波 優
	認定総合内科専門医	宗村千潮, 田中孝幸, 檜崎晃史, 小村裕美, 浦川 賢, 柳谷淳志, 岡本 勝, 村尾和良, 前田和範, 長谷川泰之, 澄川 崇, 上田康仁, 橋本由徳, 遠藤功二, 林 暁洋
	指導医	杉本勇二, 宗村千潮, 田中孝幸, 檜崎晃史, 小村裕美, 田中 究, 浦川 賢, 柳谷淳志, 岡本 勝, 村尾和良, 前田和範, 長谷川泰之, 澄川 崇, 上田康仁, 遠藤功二, 林 暁洋, 橋本由徳
日本消化器病学会	消化器病専門医	田中 究, 柳谷淳志, 岡本 勝, 前田和範, 林 暁洋, 岩本 拓
	指導医	柳谷淳志, 前田和範
日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医	田中 究, 柳谷淳志, 岡本 勝, 前田和範, 林 暁洋, 岩本 拓
	指導医	田中 究, 柳谷淳志, 岡本 勝, 前田和範
日本消化管学会	胃腸科専門医	柳谷淳志, 林 暁洋
	指導医	柳谷淳志
日本肝臓学会	認定肝臓専門医	田中 究, 柳谷淳志, 前田和範
日本消化管学会	胃腸科専門医	柳谷淳志, 林 暁洋



	指導医	柳谷淳志
日本呼吸器学会	呼吸器専門医	杉本勇二, 長谷川泰之, 澄川 崇, 上田康仁
	指導医	杉本勇二, 上田康仁
日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医	澄川 崇
日本血液学会	血液専門医	田中孝幸, 小村裕美, 橋本由徳
	指導医	田中孝幸, 橋本由徳
日本糖尿病学会	糖尿病専門医	檜崎晃史, 村尾和良
	研修指導医	檜崎晃史
日本糖尿病協会	療養指導医	檜崎晃史, 村尾和良, 安藤史博
日本感染症学会	認定 ICD	杉本勇二
日本臨床腫瘍学会	がん薬物療法専門医	澄川崇, 上田康仁
	指導医	上田康仁
日本アレルギー学会	専門医	長谷川泰之
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	田中 究, 柳谷淳志, 岡本 勝, 上田康仁
日本病態栄養学会	病態栄養専門医	檜崎晃史
	病態栄養指導医	檜崎晃史
	NST コーディネーター	檜崎晃史
日本臨床栄養代謝栄養学会	NST 専門療法士認定 教育施設指導医	檜崎晃史
	認定医	檜崎晃史
日本体育協会	公認スポーツドクター	檜崎晃史
日本プライマリ・ケア連 合学会	プライマリ・ケア認定医	岡本 勝, 村尾和良, 安東史博, 橋本由徳, 涌波 優
	プライマリ・ケア指導医	岡本 勝, 村尾和良, 橋本由徳
	家庭医療専門医	涌波 優
日本リウマチ学会	リウマチ専門医	長谷川泰之, 遠藤功二
	リウマチ指導医	長谷川泰之, 遠藤功二
日本緩和医療学会	緩和医療認定医	浦川 賢
日本腎臓学会	腎臓専門医	宗村千潮
	指導医	宗村千潮
日本透析医学会	専門医	宗村千潮

## 脳神経内科

日本内科学会	認定内科医	中安弘幸, 下田 学, 竹内裕彦, 種田健太
	認定総合内科専門医	中安弘幸, 下田 学
	指導医	中安弘幸, 下田 学
日本神経学会	専門医	中安弘幸, 下田 学
	指導医	中安弘幸, 下田 学

日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科 専門医	中安弘幸
	指導責任者	中安弘幸
日本脳卒中学会	専門医	中安弘幸, 下田 学
	指導医	中安弘幸
厚生労働省	臨床修練指導医	中安弘幸
鳥取県	身体障害者指定医	中安弘幸, 下田 学
鳥取大学医学部	臨床教授	中安弘幸
	附属病院連携診療教授	中安弘幸

### 心臓内科

日本内科学会	認定内科医	吉田泰之, 那須博司, 菅 敏光
	認定総合内科専門医	那須博司, 影嶋健二
	指導医	吉田泰之, 那須博司, 菅 敏光
日本循環器学会	認定循環器専門医	那須博司, 菅 敏光, 影嶋健二
日本心血管インターベンション治療学会	名誉専門医	吉田泰之
	専門医	那須博司
	指導医	那須博司
	認定医	影嶋健二
日本不整脈学会	認定専門医	菅 敏光
日本糖尿病学会	糖尿病専門医	吉田泰之
日本プライマリ・ケア連合学会	プライマリ・ケア認定医	影嶋健二
	指導医	影嶋健二
日本心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション指導士	影嶋健二

### 小児科

日本小児科学会	小児科専門医	常井幹生, 宇都宮靖, 田村明子, 戸川雅美, 堂本友恒, 倉信裕樹, 前垣義弘
	指導医	常井幹生, 宇都宮靖, 田村明子, 堂本友恒, 倉信裕樹
日本腎臓学会	腎臓専門医	宇都宮靖
	指導医	宇都宮靖
日本周産期・新生児医学会	専門医	田村明子, 堂本友恒
	指導医	田村明子, 堂本友恒
	暫定指導医	常井幹生
日本小児循環器学会	専門医	倉信裕樹
	暫定指導医	田村明子
日本小児神経学会	小児神経専門医	戸川雅美, 前垣義弘

日本小児感染症学会	暫定指導医	宇都宮靖
日本小児救急医学会	SIメンバー	倉信裕樹
日本小児感染症学会	認定医	宇都宮靖
ICD協議会	インфекションコントロールドクター	宇都宮靖

## 外科

日本外科学会	指導医	池口正英, 廣岡保明, 中村誠一, 建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
	外科専門医	池口正英, 廣岡保明, 中村誠一, 建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
	外科認定医	建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
日本消化器外科学会	指導医	池口正英, 廣岡保明, 中村誠一, 建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
	消化器外科専門医	池口正英, 廣岡保明, 中村誠一, 建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
	消化器がん外科治療認定医	池口正英, 廣岡保明, 中村誠一, 建部 茂, 遠藤財範, 尾崎知博
日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医	中村誠一
日本内視鏡外科学会	技術認定 (消化器・一般外科)	建部 茂 (食道), 尾崎知博 (胃)
日本食道学会	食道外科専門医	建部 茂
	食道科認定医	建部 茂, 尾崎知博
日本がん治療認定医機構	暫定教育医	池口正英, 建部 茂
	がん治療認定医	中村誠一, 建部 茂
日本肝胆膵外科学会	高度技術指導医	廣岡保明, 遠藤財範
日本静脈経腸栄養学会	認定医	尾崎知博
ダビンチサージカルシステム	認定	尾崎知博
日本 PTEG 研究会	指導医	池口正英
日本乳癌学会	専門医	廣岡保明
日本臨床細胞学会	専門医	廣岡保明

## 整形外科

日本整形外科学会	整形外科専門医	村田雅明, 村岡智也, 川口 馨, 築谷康人, 金谷治尚
	認定脊椎脊髄病医	村田雅明
	認定スポーツ医	村岡智也, 川口 馨, 築谷康人
	運動器リハビリテーション医	川口 馨
日本脊椎脊髄病学会	脊椎脊髄外科指導医	村田雅明
	専門医	村田雅明

日本スポーツ協会	公認スポーツドクター	村岡智也, 川口 馨, 築谷康人
日本医師会	認定産業医	村田雅明
日本骨粗鬆症学会	認定医	築谷康人

### 形成外科

日本形成外科学会	形成外科専門医	坂井重信, 坂井 香
	皮膚腫瘍外科分野指導医	坂井重信
	小児形成外科分野指導医	坂井重信
日本創傷外科学会	専門医	坂井重信
日本頭頸顎顔面外科学会	専門医	坂井重信
日本熱傷学会	熱傷専門医	坂井重信
American Burn Association (アメリカ熱傷学会)	ABLS Provider Course 認定	坂井重信, 坂井 香
日本医師会	認定健康スポーツ医	坂井重信
日本体育協会	公認スポーツドクター	坂井重信
鳥取市医療看護専門学校	非常勤講師	坂井重信

### 脳神経外科

日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	田淵貞治, 吉岡裕樹
	脳神経外科指導医	田淵貞治, 吉岡裕樹
日本脳卒中の外科学会	技術指導医	田淵貞治
日本脳卒中学会	専門医	田淵貞治, 吉岡裕樹
	指導医	田淵貞治
日本神経内視鏡学会	技術認定医	田淵貞治, 吉岡裕樹
日本脳神経血管内治療学会	専門医	吉岡裕樹
日本小児脳神経外科学会	認定医	吉岡裕樹
日本医師会	認定産業医	田淵貞治
鳥取大学医学部	臨床教授	田淵貞治

### 心臓血管外科／呼吸器・乳腺・内分泌外科

日本外科学会	認定医	前田啓之, 宮坂成人
	外科専門医	前田啓之, 宮坂成人, 松村安曇, 白谷 卓, 松居真司, 松岡佑樹, 深谷由美, 坂口祐紀
	指導医	前田啓之
日本胸部外科学会	認定医	前田啓之, 宮坂成人
日本心臓血管外科専門医 認定機構	心臓血管外科専門医	宮坂成人, 白谷 卓
	修練指導者	宮坂成人

日本呼吸器外科専門医認定機構	呼吸器外科専門医	前田啓之, 松岡佑樹
日本内分泌外科学会	内分泌外科専門医	前田啓之
日本乳癌学会	認定医	前田啓之, 松村安曇, 深谷由美
日本がん治療認定医機構	暫定教育医	前田啓之
	がん治療認定医	前田啓之, 松村安曇, 松岡佑樹
日本ステントグラフト実施基準管理委員会	腹部ステントグラフト実施医	宮坂成人, 白谷 卓, 坂口祐紀
	指導医	宮坂成人, 白谷 卓, 坂口祐紀
	胸部ステントグラフト実施医	白谷 卓, 坂口祐紀
	指導医	白谷 卓
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	検診マンモグラフィ読影認定医師	前田啓之, 宮坂成人, 松村安曇, 深谷由美
厚生労働省	麻酔科標榜許可医	前田啓之
日本医療情報学会	医療情報技師	前田啓之
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医	白谷 卓

## 泌尿器科

日本泌尿器科学会	指導医	磯山忠広, 村岡邦康
	専門医	磯山忠広
日本専門医機構	泌尿器科専門医	村岡邦康
日本泌尿器内視鏡学会	泌尿器腹腔鏡技術認定医	磯山忠広, 村岡邦康
	泌尿器科 da Vinci S 支援手術教育プログラム終了	磯山忠広, 村岡邦康
日本内視鏡外科学会	技術認定医	磯山忠広, 村岡邦康
日本臨床倫理学会	臨床倫理認定士	村岡邦康
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	磯山忠広, 村岡邦康
厚生労働省	臨床修練指導医	磯山忠広, 村岡邦康

## 産婦人科

日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	高橋弘幸, 木内 誠, 竹中泰子, 野中道子, 上垣 崇, 澤田真由美
	産婦人科指導医	高橋弘幸, 木内 誠, 上垣 崇
	生殖医療に関する遺伝カウンセリング受入可能な臨床遺伝専門医	高橋弘幸
日本専門医機構	産婦人科専門医	高橋弘幸, 上垣 崇
日本産婦人科医会	母と子のメンタルヘルスケア研修会(入門編)指導者	高橋弘幸

日本周産期・新生児医学会	周産期専門医（母胎・胎児）	高橋弘幸
	周産期（母体・胎児）指導医	高橋弘幸
	新生児蘇生Aコース・インストラクター	高橋弘幸
日本超音波医学会	超音波専門医	高橋弘幸
	超音波指導医	高橋弘幸
日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会	臨床遺伝専門医	高橋弘幸
日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医	野中道子
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	野中道子
日本臨床細胞学会	細胞診専門医	野中道子
日本生殖医学会	生殖医療専門医	上垣 崇
厚生労働省	臨床修練指導医	高橋弘幸, 木内 誠, 竹中泰子, 野中道子, 上垣 崇
厚生労働省医政局	災害時小児・周産期リエゾン	高橋弘幸
鳥取県	災害医療コーディネーター	高橋弘幸
	DMAT 隊員	高橋弘幸
鳥取県医師会	母体保護法指定医師	高橋弘幸, 木内 誠, 竹中泰子
日本母体救命システム普及協議会	ベーシックコース・インストラクター	高橋弘幸, 上垣 崇
日本女性医学学会	女性ヘルスケア暫定指導医	高橋弘幸
日本臨床倫理学会	臨床倫理認定士(基礎編)	高橋弘幸
日本医療メディエーター協会	医療メディエーターB	高橋弘幸
地域医療振興協会	医療安全管理者	高橋弘幸
	医療対話推進者	高橋弘幸
	部署リスクマネージャー	高橋弘幸
日本医師会	医療安全推進者	高橋弘幸
医療安全全国共同行動	医療安全管理者	高橋弘幸
セコム医療システム株式会社	医療安全管理者	高橋弘幸
鳥取大学医学部附属病院	臨床教授	高橋弘幸
	連携診療教授	高橋弘幸

## 眼科

日本眼科学会	眼科専門医	伊藤久太郎, 川口亜佐子
	PDT 認定医	伊藤久太郎

## 皮膚科

日本皮膚科学会	皮膚科専門医	足立孝司
---------	--------	------

## 耳鼻いんこう科

日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	松田英賢
-----------	----------	------

## 放射線科

日本医学放射線学会	放射線診断専門医	松末英司, 藤原義夫, 井上千恵
	放射線治療専門医	中村一彦
	研修指導医	中村一彦, 松末英司, 藤原義夫, 井上千恵
日本核医学会	核医学専門医	松末英司, 藤原義夫, 井上千恵
	PET 核医学認定医	松末英司, 藤原義夫, 井上千恵
日本 IVR 学会	専門医	中村一彦
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	中村一彦
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	中村一彦

## 麻酔科

日本麻酔科学会	麻酔科認定医	坂本成司, 高橋俊作, 矢部成基, 三浦さおり, 乗本志考, 古川恭子, 森下央崇
	麻酔科専門医	坂本成司, 高橋俊作
	指導医	坂本成司, 高橋俊作
厚生労働省	麻酔科標榜許可医	坂本成司, 高橋俊作, 矢部成基, 三浦さおり, 乗本志考
ICD 制度協議会	インフェクションコントロールドクター	坂本成司
マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	検診マンモグラフィ読影認定医師	三浦さおり
日本医学シミュレーション学会	CVC インストラクター	坂本成司, 高橋俊作, 三浦さおり, 矢部成基

## 救急科

日本救急医学会	救急科専門医	岡田 稔
---------	--------	------

## 病理診断科

日本病理学会	病理専門医	中本 周, 徳安祐輔, 小田晋輔
	研修指導医	中本 周
日本臨床細胞学会	細胞診専門医	中本 周, 徳安祐輔
	教育研修指導医	中本 周
厚生労働省	死体解剖資格認定	中本 周, 徳安祐輔, 小田晋輔
岡山大学医学部	臨床教授	中本 周

## 歯科口腔外科

日本口腔外科学会	指導医	木谷憲典
	専門医	木谷憲典
	認定医	大淵幸与
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	木谷憲典
厚生労働省	歯科医師臨床研修歯科指導医	木谷憲典, 大淵幸与

## 看護局

文部科学省・厚生労働省	保健師	中川佳代子, 松浦美奈, 田中幸世, 福田真弓, 波多野暁子, 酒本みすぎ, 中西敦子, 岡田奈津子, 堀江亜紀, 安場光穂, 牧野由佳里, 田中有美, 野々口由恵, 漆原加奈子, 岸田幸子, 岩崎絵美子, 南條夏美, 吉田早紀, 朽本浩紀, 国本麻未, 高田直美, 竹中逸美, 北野雅子, 中野未奈子, 奥田景子, 川元真穂, 山田恵美, 大藤千恵, 中居順子, 中尾純子, 米上慶子, 中田峰子, 伊井野彩子, 米村祐希, 岸田直美, 植垣里美, 竹内千恵, 山根英里子, 花原有花, 沖 智佳, 安田裕美, 上田愛美, 亀井沙織, 石川真代, 田中理沙, 鈴木麻美, 小林雅子, 山部貴之, 笥 知佳, 清水寛子, 稲田友紀, 有本知慧, 小谷仁美, 藤井智子, 光浪 緑, 松村綾加, 植田理帆, 近藤真紗子, 宮脇寛子, 吉田 源, 山内柚佳, 山本つぐみ, 村上 恵, 迫田可奈, 小原翔子, 馬場友梨菜, 堀尾恭子, 松岡美怜, 足立知咲, 徳田 瞳, 羽田早希, 寺田絵美, 中川さつき, 河上歩佳
	養護教諭一級	富山綾子, 牧野由佳里, 安場光穂, 川元真穂, 玉木 瞳
	養護教諭二級	岸田幸子, 高田直美, 中野未奈子, 中田峰子, 竹中逸美, 安田裕美, 鈴木麻美, 山部貴之
	看護教員	岩見智子, 萩原陽子, 浦林多恵
	臨地実習指導者	西村順子, 谷口玲子, 戸田委津枝, 畑村文子, 松岡真弓, 西山あゆみ, 安達直美, 川本照子, 幾田扶美子, 森尾みづほ, 谷口香澄, 杉岡憲子, 中川佳代子, 福谷真理子, 高濱町子, 坂口純子, 宮崎美也子, 波多野暁子, 吉田一恵, 中西敦子, 細田奈緒美, 高田敦子, 宮本真理子, 北山ヒトミ, 井手野悦代, 坂西紀子, 岡田奈津子, 米澤美花, 松島みゆき, 岸野亜希, 池田美智代, 谷口幸恵, 近藤三知代, 山下博子
	介護支援専門員	森下さゆり
	老人性痴呆疾患保健医療指導者研修修了者	田中美佐子
	臨床検査技師	吉田和博
	精神保健福祉士	沖 智佳



厚生労働省	特定行為研修修了生	糸谷恵子
日本看護協会	がん看護専門看護師	池田 牧
	母性看護専門看護師	伊井野彩子
	感染管理認定看護師	北野雅子, 朽本浩紀
	救急看護認定看護師	堀江亜紀, 山根太地
	不妊症看護認定看護師	橋本万住子
	皮膚・排泄ケア認定看護師	田中美佐子, 磯江真美, 下山英津子
	集中ケア認定看護師	糸谷恵子
	新生児集中ケア認定看護師	玉木絢子, 川元真穂
	緩和ケア認定看護師	濱野由紀子
	がん化学療法看護認定看護師	安達直美, 木下敦子
	乳がん看護認定看護師	樹下和江
	手術看護認定看護師	安場光穂
	がん放射線療法看護認定看護師	橋本瑞樹
	認知症看護認定看護師	岩成克浩
認定看護管理者	松岡真弓	
鳥取県・労働基準局	受胎調節実施指導員	松浦美奈, 田中幸世, 西村順子, 小坂明子, 野々口由恵, 中川佳代子, 竹中逸美, 橋本万住子, 中田峰子, 堀江亜紀, 高田直美, 山根英里子, 黒田紗希, 安田裕美, 米村祐希, 羽村奈津美, 福田愛莉, 笥 知佳, 佐藤未奈子, 中村 峰, 佐々木萌, 山根由衣, 福田香美, 福田桃未, 松田美穂, 堀尾恭子, 生林みなみ, 山内柚佳, 岩藤 彩, 井上美和
	衛生工学衛生管理者	松岡真弓
	第1種衛生管理者	安場光穂, 中田峰子, 牧野由佳里, 草刈美鈴, 松岡真弓, 川元真穂, 鈴木麻美
	糖尿病療養指導士	白岩朱美, 内海美子
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	竹内加代子, 坂西紀子, 鉄本怜子, 松村沙耶, 川部華栄, 石破宏樹
三学会合同	呼吸療法認定士	菅 令子, 糸谷恵子, 藤原瑞穂, 川北恵美, 古林弘美, 玉木 瞳, 河崎 司, 前田貴斗, 青木遥奈, 井手野悦代, 福谷真理子, 安部和泉, 清水寛子, 平田香菜枝, 村口豊育, 沖 智佳, 河崎 司, 谷口温香, 村上 恵, 山下博子
臨床心臓病学教育研究会	循環器専門ナース	糸谷恵子, 上野二郎
日本IVR学会	IVR認定看護師	山根奈美, 岸本佳代子, 山口尚子, 有沢延枝, 福田浩也, 森 琴美, 田中真理子, 岩崎絵美子, 成瀬絵梨, 清水寛子, 岡田京子, 太田典次, 奥田景子, 新田梨絵, 井川千紗都

日本不妊カウンセリング学会	体外受精コーディネーター (3)	橋本万住子, 宗元郁子, 中田峰子
日本思春期学会	性教育認定講師	橋本万住子
四病院団体協議会	感染制御スタッフ	谷口由美, 佐々木美幸, 朽本浩紀, 西村美紀, 北野雅子, 野々口由恵
日本腎臓財団	透析療法従事職員	田中美佐子, 田中千登世, 米澤美花, 小谷仁美
透析療法合同専門委員会	透析技術認定士	米澤美花
日本内視鏡学会	第一種内視鏡検査技師	有沢延枝, 山本美幸, 三村祐里, 河村祐子
日本運動器看護学会	学会認定運動器看護師	福田純子
日本骨粗鬆症学会	骨粗鬆症マネージャー	福田純子
日本医療メディエーター協会	医療メディエーター A	松岡真弓
	医療メディエーター B	城戸康代, 幾田扶美子, 杉岡憲子
全国自治体病院協議会	医療安全管理者養成研修修了者	松岡真弓, 幾田扶美子, 岩見智子, 西尾和代, 谷口玲子, 森尾みづほ, 田中幸世, 西山あゆみ, 川本照子, 岩田聡美, 山本加奈, 衣笠久美子, 杉岡憲子, 田中千登世, 水根早苗, 吉田一恵, 波多野暁子, 中川佳代子
JASPEN	NST 専門療法士	森 琴美, 河崎 司, 岩成克浩
セコム医療システム株式会社	医療安全管理者養成研修修了者	牧野由佳里
日本麻酔科学会	周産期管理チーム看護師	山田純子
日本不整脈心電学会	心電図検定 2 級	糸谷恵子, 菅 令子
	植込み型心臓デバイス認定士	林 恵子, 鈴木麻美, 山根友美

### 中央放射線室

日本診療放射線技師会	臨床実習指導教員	小山 亮, 中野健児
	医療画像情報精度管理士	小山 亮, 木村晃史
	放射線管理士	木原康行, 中野健児
	放射線機器管理士	木原康行, 中野健児
	Ai 認定診療放射線技師	木村晃史
日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構	日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	秋山裕之, 木村晃史
日本乳がん検診精度管理中央機構	検診マンモグラフィ撮影認定技師	川上美穂, 木村由紀子, 門村恵利, 永尾結奈, 森谷恵理
日本 X 線 CT 専門技師認定機構	X 線 CT 認定技師	上山忠政, 田中康隆
肺がん CT 検診認定機構	肺がん CT 検診認定技師	田中康隆
日本磁気共鳴専門技術者認定機構	日本磁気共鳴専門技術者	小山 亮, 岡本悠太郎

日本救急撮影技師認定機構	救急撮影認定技師	小山 亮, 上山忠政, 田中康隆
医学物理士認定機構	医学物理士	小谷 怜, 森谷恵理
放射線治療品質管理機構	放射線治療品質管理士	砂川知広, 木原康行
日本放射線治療専門放射線技師認定機構	放射線治療専門放射線技師	砂川知広, 木原康行
日本医療情報学会	医療情報技師	赤島啓介
原子力規制委員会	第一種放射線取扱主任者	澤 和宏, 小谷 怜, 秋山裕之, 福本 晃, 上山忠政, 赤島啓介, 永尾結奈, 前田哲生
厚生労働省	鳥取 DMAT 隊員	小谷 怜

### 中央検査室

日本臨床細胞学会	細胞検査士	岡田早苗, 松ノ谷尚子, 前田和俊, 川上智史
国際細胞学会	国際細胞検査士	岡田早苗, 前田和俊, 川上智史
日本超音波医学会	超音波検査士	五百川尚宏, 松ノ谷尚子, 谷口千里, 谷口 悟, 綾木早香, 後藤陽子, 田中恭子, 山本寿恵
日本血管外科学会・日本脈管学会・日本静脈学会・日本動脈硬化学会 4学会構成血管診療技師認定機構	血管診療技師	山本寿恵
日本輸血細胞治療学会	認定輸血検査技師	佐々木崇雄
	I & A 視察員	佐々木崇雄
認定血液検査技師制度協議会	認定血液検査技師	加藤千春, 岡本昌典
日本臨床検査医学会・同学院	二級臨床検査士(血液学)	加藤千春, 前田麻衣子, 岡本昌典
	二級臨床検査士(微生物学)	田中さゆり, 丸山友紀
	二級臨床検査士(循環生理学)	澤田健一郎, 綾木早香, 甲斐遙華
	二級臨床検査士(神経生理学)	丸山友紀, 林 智子
	二級臨床検査士(免疫・血清)	岡本恵美子
	緊急臨床検査士	岡田早苗, 前田和俊, 澤田健一郎, 川上智史, 甲斐遙華, 福田水貴
認定臨床微生物検査技師制度協議会	認定臨床微生物検査技師	田中さゆり
感染制御認定臨床微生物検査技師制度協議会	感染制御認定臨床微生物検査技師	田中さゆり
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	谷口千里
日本臨床衛生検査技師会	認定一般検査技師	岡田早苗, 本庄信子
	認定病理検査技師	前田和俊

	認定救急検査技師	澤田健一郎
日本臨床衛生検査技師会	認定認知症領域検査技師	前田和俊, 澤田健一郎
日本サイトメリー技術者認定協議会	認定サイトメリー技術者	加藤千春
日本脳神経超音波検査学会	脳神経超音波検査士	谷口 悟
日本不整脈心電学会	JHRS 認定心電図専門士	澤田健一郎
日本心血管インターベンション治療学会	心血管インターベンション技師	澤田健一郎
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	澤田健一郎, 前田和俊
	鳥取 DMAT 隊員	澤田健一郎, 前田和俊
鳥取県労働基準協会	特定化学物質作業主任者	岡田早苗, 河上 清, 前田和俊
	有機溶剤作業責任者	岡田早苗, 前田和俊

### 臨床工学室

日本臨床工学技士会	不整脈治療専門臨床工学技士	小谷友喜
日本体外循環技術医学会	体外循環技術認定士	高野 岳, 小谷友喜, 中村憲明, 山本和毅
日本心血管インターベンション治療学会	心血管インターベンション技師	小谷友喜, 太田 裕, 安部貴大
三学会合同呼吸療法士認定委員会	呼吸療法認定士	高野 岳, 小谷友喜, 中村憲明, 藤原一樹
透析治療法合同専門委員会	透析技術認定士	瀧田 渚, 秋本恵理子
日本臨床高気圧酸素・潜水医学会	臨床高気圧酸素治療装置操作技師	高野 岳
厚生労働省	臨床検査技師	中村憲明
	日本 DMAT	高野 岳, 瀧田 渚
鳥取県	鳥取 DMAT	小谷友喜, 中村憲明

### リハビリテーション室

三学会合同呼吸療法士認定委員会	呼吸療法認定士	吉田匡江, 菅井のり子, 竹田賢彦, 川淵敬太, 山崎晃生, 若 達人, 井上雅人, 山根健太, 出口静香
日本リハビリテーション心臓学会	心臓リハビリテーション指導士	上村桂一, 酒井里佳, 岸本一江, 西本亮太
日本糖尿病療養指導者認定機構	日本糖尿病療養指導士	酒井里佳
東京商工会議所	福祉住環境コーディネーター 2 級	上村桂一
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	若 達人
厚生労働省	介護支援専門員	若 達人

日本理学療法士協会	がんのリハビリテーション研修会修了	井田真一, 坂尻信幸, 小林美穂子, 井上綾子, 衣笠真理恵, 安部奈津未, 尾崎麻衣子, 山崎晃生, 松田章弘
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	松田章弘, 石上明日美, 安部奈津未
LSVT Global	LSVT LOUD	松田章弘, 石上明日美
日本 ACLS	PEARS プロバイダーコース認定	竹田賢彦, 井上雅人, 中村 博, 桧山耕平, 吉田匡江
日本褥瘡学会	在宅褥瘡予防・管理師	上村桂一
日本言語聴覚士協会	認定言語聴覚士	松田章弘
日本離床研究会	プレアドバイザー	竹田賢彦
日本理学療法士協会	運動器認定理学療法士	川淵敬太
日本静脈経腸栄養学会	NST 専門療法士	石上明日美
東京都健康長寿医療センター研究所	認知症総合アセスメント DASC-21 認定評価者	坂尻信幸, 井上綾子
日本作業療法士協会	AMPS 認定評価者	坂尻信幸, 衣笠真理恵, 中村 博

### 栄養管理室

日本病態栄養学会	病態栄養認定管理栄養士	田中敬子, 宮崎典子
日本静脈経腸栄養学会	NST 専門療法士	横野恵美子, 岸本和恵, 岡本英津子
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	田中敬子, 宮崎典子
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	宮崎典子
鳥取県	鳥取 DMAT 隊員	宮崎典子
日本病院調理師協会	病院調理師認定	金谷幸子

### 医療情報管理室

日本病院会	診療情報管理士	國政清子, 山根頼博, 平野香織, 漆原可奈子
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	山根頼博
国立がん研究センター	院内がん登録実務中級者	齋尾智恵里

### 薬剤部

日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師	牧問美和子
	感染制御認定薬剤師	大江和子
	実務実習認定指導薬剤師	吉村卓子, 牧問美和子, 小谷佐知子, 前田めぐみ, 大江和子, 浦尾千恵, 神戸香織, 西垣智子
	生涯研修履修認定薬剤師	吉村卓子, 浅井 剛, 牧問美和子, 伊藤ちとせ, 前田めぐみ, 大江和子, 浦尾千恵, 神戸香織, 西垣智子
	日病薬病院薬学認定薬剤師	湯口朋子, 大江和子, 渡邊俊介

日本薬剤師研修センター	小児薬物療法認定薬剤師	近藤ちひろ, 義仲真理
	漢方薬・生薬認定薬剤師	小谷佐知子
	認定実務実習指導薬剤師	浅井 剛, 小谷佐知子
	研修認定薬剤師	吉村卓子, 浅井 剛, 前田めぐみ, 大江和子, 神戸香織, 近藤ちひろ
日本女性薬剤師会	認定薬剤師	小谷佐知子
日本静脈経腸栄養学会	NST 専門療法士	神戸香織
日本糖尿病療養指導士認定機構	日本糖尿病療養指導士	浅井 剛, 前田めぐみ
四病院団体協議会	感染制御スタッフ	浅井 剛, 前田めぐみ
日本医療メディエーター協会	医療メディエーター B	吉村卓子, 前田めぐみ
厚生労働省	日本 DMAT 隊員	渡邊俊介, 中嶋康陽
日本災害医学会	PhDLS プロバイダー	渡邊俊介, 濱崎拓哉
鳥取県	鳥取 DMAT 隊員	秋山恵里, 渡邊俊介, 中嶋康陽, 濱崎拓哉
日本 ACLS 協会	BLS ヘルスケアプロバイダー	渡邊俊介
日本アンチ・ドーピング機構	スポーツファーマシスト	吉村卓子, 浦尾千恵
日本くすりと糖尿病学会	糖尿病薬物療法准認定薬剤師	前田めぐみ
日本褥瘡学会	認定褥瘡薬剤師	小谷佐知子
鳥取県薬剤師会	禁煙支援薬剤師	吉村卓子

### 歯科外来

日本口腔ケア学会	認定資格 4 級	岸本真紀
鳥取県糖尿病療養指導士認定機構	鳥取県糖尿病療養指導士	岸本真紀

### 眼科外来

鳥取県糖尿病療養指導士認定機構	鳥取県糖尿病療養指導士	秋山千夏
-----------------	-------------	------

### 患者支援センター

厚生労働省	精神保健福祉士	森次奈穂美, 礒井和也, 岡本彩織, 竹森絵美
	介護支援専門員	岩見智子, 草刈美鈴, 森次奈穂美, 礒井和也, 竹森絵美, 前田亜矢
東京商工会議所	住環境コーディネーター	礒井和也 (2 級), 岡本彩織 (3 級)

### がん相談支援センター

日本看護協会	がん看護専門看護師	池田 牧
--------	-----------	------

	緩和ケア認定看護師	濱野由紀子
厚生労働省	保健師	池田 牧
文部科学省・厚生労働省	公認心理士	藤松義人
日本臨床心理士資格認定協会	臨床心理士	藤松義人
国立がん研究センター	認定がん専門相談員	池田 牧, 藤松義人
労働者健康安全機構	両立支援コーディネーター	濱野由紀子, 藤松義人

## 学会評議員ほか（2019年4月～2020年3月）

### 内科

日本内科学会	評議員	小村裕美
	中国支部評議員	宗村千潮, 岡本 勝
日本病態栄養学会	評議員	檜崎晃史
日本呼吸器学会	代議員	杉本勇二
日本プライマリ・ケア連合学会	代議員	岡本 勝

### 神経内科

日本神経学会	中国四国地方会世話人	中安弘幸
--------	------------	------

### 心臓内科

日本心血管インターベンション治療学会	代議員	那須博司
--------------------	-----	------

### 外科

日本外科学会	特別会員	池口正英
日本食道学会	特別会員	池口正英
日本消化器外科学会	特別会員	池口正英
日本PTEG研究会	世話人	池口正英
日本胃癌学会	特別会員	池口正英
	代議員	尾崎知博
日本サイトメトリー学会	名誉会員	池口正英
中国四国外科学会	名誉会員	池口正英
中国四国内視鏡外科研究会	名誉会員	池口正英
日本静脈経腸栄養学会中国支部	監事	池口正英
NPO法人小切開・鏡視外科学会	評議員	池口正英

公益社団法人全国自治体病院協議会	理事	池口正英
JSWOGORG NPO 法人 中国四国がん臨床研究支援機構	監事	池口正英
鳥取県医師会	理事	池口正英
鳥取県健康対策協議会	理事	池口正英
鳥取県肢体不自由児協会	理事	池口正英
日本臨床細胞学会	理事	廣岡保明
日本臨床外科学会	評議員	廣岡保明
Microwave Surgery 研究会	評議員	廣岡保明
日本乳癌学会中四国地方会	理事（世話人）	廣岡保明
中国四国臨床臓器移植研究会	理事	廣岡保明
日本臨床検査医学会中四国支部	理事	廣岡保明
日本超音波医学会中国地方会	運営委員	廣岡保明
鳥取県臨床細胞学会	会長	廣岡保明
鳥取県健康対策協議会	理事	廣岡保明
鳥取大学	名誉教授	廣岡保明

### 整形外科

日本脊椎インストゥルメンテーション学会	評議員	村田雅明
中部日本整形外科災害外科学会	評議員	村田雅明

### 形成外科

日本形成外科学会 中国・四国地方会	名誉会員	坂井重信
----------------------	------	------

### 脳神経外科

日本脳循環代謝学会	評議員	田淵貞治
-----------	-----	------

### 心臓血管外科／呼吸器・乳腺・内分泌外科

日本肺癌学会中国・四国支部	評議員	前田啓之
---------------	-----	------

### 泌尿器科

日本泌尿器内視鏡学会	評議員	磯山忠広, 村岡邦康
------------	-----	------------



日本排尿機能学会	代議員	村岡邦康
西日本泌尿器科学会	評議員	磯山忠広

### 小児科

日本小児科学会	代議員	宇都宮靖
中国四国小児腎臓病学会	幹事	宇都宮靖

### 放射線科

日本 IVR 学会	代議員	中村一彦
-----------	-----	------

### 救急科

日本救急医学会 中国四国地方会	評議員	岡田 稔
-----------------	-----	------

### 病理診断科・臨床検査科

日本病理学会	評議員	中本 周
--------	-----	------

### 放射線科

日本口腔ケア学会	評議員	木谷憲典
----------	-----	------

### 中央検査室

日本超音波検査学会	代議員	黒田 誠
心血管インターベンション治療学会	中国四国コメディカル委員	澤田健一郎

### がん相談支援センター

日本サイコオンコロジー学会	代議員	藤松義人
鳥取県臨床心理士会	理事	藤松義人

### 臨床工学室

日本高気圧環境・潜水医学会中国四国地方会	評議員	高野 岳
----------------------	-----	------

臨床研修医名簿  
コメント

## 令和元年度<2年次>



永澤 萌  
EIZAWA Moe

初心を忘れず、気を引き締めて頑張りますので、よろしく願いいたします。



助川 礼  
SUKEGAWA Aya

未熟者ではありますが日々成長できるよう学んでまいります。これらもご指導のほどよろしくお願い致します。



竹田 真輝  
TAKEDA Masaki

研修も2年目になり、救急外来の対応など慣れてきた部分もありますが、悪い意味で「こなす」診療にならないように去年の4月の気持ちをいつまでも持って研修します。



竹本 和弘  
TAKEMOTO Kazuhiro

2年目になってもまだまだ足りないことが多いですが、頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



中島 彩那  
NAKASHIMA Ayana

鳥取の医療に貢献できるよう、日々研修に励みます。



松本 有未  
MATSUMOTO Yumi

3年目以降につながるような研修を心がけてがんばります。



宗村 佑人  
MUNEMURA Yuuto

いつもがんばってます。よろしくおねがいします。



赤星 駿  
AKABOSHI Shun

将来的に鳥取県の小児医療に貢献できるように精進していきます。



紙谷 亮  
KAMITANI Ryo

早くも1年が経ち、ようやく研修医生活にもなれてきました。まだ未熟ですが、今年度もよろしくお願いします。



長谷川恵理  
HASEGAWA Eri

東部の医療に貢献できるよう頑張ります。



平原 拓弥  
HIRAHARA Takuya

ある程度慣れてきた研修2年目ですが、専攻医になって責任も裁量も急増しても困らないよう、去年よりも緊張感を持って研修に臨みます。



三嶋 豪志  
MIKAMO Tsuyoshi

2年次の研修では、後期研修に向けて、1年次よりも実臨床に踏み込んだ研修を心がけたいと思います。

## 令和2年度<1年次>



森下 紘司  
MORISHITA Kouji

お世話になる様々な方々への感謝を忘れず、フットワーク軽く頑張っていこうと思いますので、よろしくお願いします。



下原 輔  
SHIMOHARA Tasuku

鳥取県の地域医療に貢献できるよう尽力します。



津田 晴宜  
TSUDA Harunobu

鳥取の医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。



飯塚 貴裕  
IITSUKA Takahiro

日々進歩していけるよう努めてまいります。ご指導の程よろしくお願ひ致します。



稲垣 晃平  
INAGAKI Kouhei

一人前の医師になれるよう、県立中央病院で2年間みっちり研修したいと思います。



上平憲太郎  
UEHIRA Kentarou

一人前の医師になれるよう頑張ります！



織原 淳平  
ORIHARA Junpei

鳥取県東部の医療の中心となる病院で研修が出来ることを嬉しく思います。鳥取県立中央病院の一員として、少しでも病院に貢献できるように日々精進して参ります。



小嶋 駿介  
KOJIMA Shunsuke

地元である鳥取の医療に貢献できるように日々の診療を一生懸命させていただきます。



田邊 雅琴  
TANABE Makoto

精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



松島 萌希  
MATSUSHIMA Moegi

鳥取県の医療に貢献できるよう頑張ります。



室賀 千佳  
MUROGA Chika

一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



山根 和真  
YAMANE Kazuma

どの科を回る時もその科になるつもりで研修、勤務します。



堀江 航  
HORIE Kou

研修医としてできることを、なるべく何でもできるようにになりたいです。ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

誌上発表論文等  
研究業績目録

(2019年1月～12月)

## 誌上発表論文等一覧

### <誌上発表>

1. Obstructive cholangitis by mucus from an intraductal papillary mucinous neoplasm with pancreatobiliary fistula treated by endoscopic septotomy and direct peroral cholangioscopy : a case report  
Okamoto M<sup>1</sup>, Kamitani Y<sup>2</sup>, Iwamoto T<sup>2</sup>, Hayashi A<sup>2</sup>, Maeda K<sup>2</sup>, Yanagitani A<sup>2</sup>, Tanaka K<sup>2</sup>  
1 Department of General Internal Medicine,  
2 Department of Gastroenterology  
Clin J Gastroenterol. 12 : 495-499. 2019
2. Pre-transplant serum beta-2 microglobulin level is a potential novel prognostic marker of overall survival after allogeneic hematopoietic cell transplantation – a retrospective observational study  
Harada N, Nakane T, Nakamae M, Hashimoto Y, Okamura H, Nanno S, Nishimoto M, Hirose A, Nakashima Y, Koh H, Hino M, Nakamae H  
Transpl Int (Epub : <http://doi.org/10.1111/tri.13564>). 2019
3. Successful management of primary mediastinal large b-cell lymphoma during pregnancy  
Hashimoto Y, Omura H, Tokuyasu Y, Nakamoto S, Tanaka T  
Intern Med. 58 : 3455-3459, 2019
4. Efficacy and safety of anagrelide as a first-line drug in cytoreductive treatment-naïve essential thrombocythemia patients in a real-world setting  
Ito T, Hashimoto Y, Tanaka Y, Nakaya A, Fujita S, Satake A, Nakanishi T, Konishi A, Hotta M, Yoshimura H, Ishii K, Hashimoto A, Kondo T, Omura H, Shinzato I, Tanaka T, Nomura S  
Eur J Haematol. 103 : 116-123, 2019
5. The proportional relationship between pretransplant WT1 mRNA levels and risk of mortality after allogeneic hematopoietic cell transplantation in acute myeloid leukemia not in remission  
Ido K, Nakamae M, Koh H, Okamura H, Nanno S, Nishimoto M, Takeoka Y, Hirose A, Nakashima Y, Hashimoto Y, Nakane T, Hino M, Nakamae H  
Transplantation. 103 : 2201-2210, 2019
6. The effect of high-concentration insulin glargine on the quality of life of patients with type 2 diabetes mellitus : a pre-post study (HIGH-QOL STUDY)  
Murata T, Tone A, Kouyama R, Kamiuchi K, Narasaki K, Tsuruo M, Watanabe T, Kawashima S, Kato K, Sawaki H, Osawa K, Kimura M, Toyoda M, Sugamura A, Sakane N, and on behalf of HIGH-QOL study group  
Intern Med. 58 : 2943-2948
7. Preoperative prognostic nutritional index is a strong predictor of surgical site infection after surgery for colorectal perforation  
Ikeguchi M, Urushibara S, Endo K, Nakamura S  
Chirurgia (Bucur), 32 : 13-17. 2019
8. Treatment of seven huge retroperitoneal sarcomas: an institutional experience  
Ikeguchi M



Int J Surg Med, 5 : 198-201. 2019

9. Clinical importance of preoperative and postoperative prognostic nutritional index in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma  
Ikeguchi M, Goto K, Watanabe J, Urushibara S, Osaki T, Endo K, Tatebe S, Nakamura S  
Ann Hepatobiliary Pancreat Surg, 23 : 372-376. 2019
10. 興味ある症例 びまん性S状結腸壁肥厚を認める下腹部痛の患者  
岡本 勝<sup>1)</sup>, 紙谷 悠<sup>2)</sup>, 岩本 拓<sup>2)</sup>, 林 暁洋<sup>2)</sup>, 前田和範<sup>2)</sup>, 柳谷淳志<sup>2)</sup>, 田中 究<sup>2)</sup>, 中村誠一<sup>3)</sup>  
1) 鳥取県立中央病院 総合内科  
2) 同 消化器内科  
3) 同 外科  
鳥取医学雑誌. 47 : 1-2, 2019
11. 内視鏡室の紹介 鳥取県立中央病院 内視鏡センター  
柳谷淳志  
日本消化器内視鏡学会雑誌. 61 : 2534-2537, 2019
12. Introduce My Article  
橋本由徳  
臨床血液. 60 : 74, 2019
13. 骨髄増殖性腫瘍について 本態性血小板血症 (ET) Q&A  
橋本由徳  
骨髄増殖性腫瘍患者・家族会 MPN-JAPAN. 6, 2019
14. 鉄欠乏性貧血  
田中孝幸  
今日の治療指針 医学書院. 61 : 656-659, 2019
15. CT ガイド下肺生検 (2) CT 透視下穿刺  
中村一彦  
呼吸器領域 IVR 実践マニュアル 文光堂. 64-69, 2019
16. 新病院オープンにあたって  
池口正英  
鳥取県医師会報 19. 3, 758 : 58-60. 2019
17. 都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の理論  
=第9回ワークショップ「会員の論理・資質向上をめざして」=  
池口正英  
鳥取県医師会報 19. 6, 768 : 28-29. 2019
18. 巻頭言～医師の研鑽と労働時間に関する考え方～  
池口正英  
鳥取県医師会報 19. 7, 769 : 1-2. 2019
19. ミニ臨床講座：第16回：消化器悪性腫瘍治療における術前，術後栄養の重要性  
池口正英，遠藤財範

- 鳥取県東部医師会報. 444 : 27-28, 2019
20. 定点観測による細胞診検体に関するアンケート調査の集計報告  
古旗 淳, 荒木邦夫, 大石徹郎, 加勢宏明, 片山博徳, 河野裕夫, 川本雅司, 九島巳樹,  
小松京子, 関根浄治, 竹原和宏, 中泉明彦, 野本靖史, 畠 榮, 松下倫子, 松本慎二,  
三宅康之, 廣岡保明  
日本臨床細胞学会雑誌, 58 : 256-265. 2019
  21. 実践的 EUS-FNA アトラス  
廣岡保明・監修  
医歯薬出版社. 2019
  22. 整形外科で行われる検査と看護 造影検査  
築谷康人  
ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護 運動器. 7 : 60-61, 2019
  23. 整形外科で行われる検査と看護 関節鏡検査  
築谷康人  
ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護 運動器. 7 : 65-66, 2019
  24. 世紀絵外科で行われる検査と看護 骨密度検査  
築谷康人  
ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護 運動器. 7 : 69-70, 2019
  25. 肛門辺縁の熱傷創を大臀筋の複数の穿通枝を含む V-Y 前進皮弁で被覆した 1 例  
坂井 香, 坂井重信  
熱傷. 45 : 133-136, 2019
  26. 片側下肢の熱傷瘢痕癌のため両側下腿切断を行った 1 例  
坂井 香, 坂井重信  
鳥取医学雑誌. 47 : 74-78, 2019
  27. III. 呼吸器系「閉塞性喚起障害」  
高橋俊作  
術中合併症対策と術後管理指示 克誠堂出版. 78-83. 2019
  28. VI. 体液・止血・凝固系「危機的大量出血」  
矢部成基  
術中合併症対策と術後管理指示 克誠堂出版. 244-249. 2019
  29. VIII. 医療手技「経食道心エコープローブ挿入に伴う口腔, 咽頭, 食道損傷」  
坂本成司  
術中合併症対策と術後管理指示 克誠堂出版. 324-329. 2019
  30. 骨盤内手術における cadaver dissection の活用法  
村岡邦康, 森實修一, 本田正史, 武中 篤  
Japanese Journal of Endourology. 32 : 6-13, 2019
  31. 胎内死亡を来した臍帯フオーク状付着の一例  
中曾崇也, 竹中泰子, 木内 誠, 高橋弘幸  
現代産婦人科. 67 : 259 - 261, 2019
  32. A B C C 8 遺伝子変異による糖尿病合併妊娠の 1 例

和田郁美, 上垣 崇, 竹中泰子, 木内 誠, 高橋弘幸

現代産婦人科. 67 : 325 - 328, 2019

33. Reversed differential cyanosis をきたした上心臓型総肺静脈還流異常症の 2 例

田村明子, 大野光洋, 堂本友恒, 大谷英之, 常井幹生, 星加忠孝

周産期医学. 49 : 355-358, 2019

34. 当院における 18 トリソミーの予後に関する後方視的検討

太田健人, 堂本友恒, 木村晃一郎, 小林裕貴子, 鈴木将浩, 戸川雅美, 田村明子,  
宇都宮靖, 常井幹生, 星加忠孝

鳥取医学雑誌. 47 : 5-10, 2019

35. 顔面多発外傷による大量出血に対して両側顎動脈経カテーテル動脈塞栓術が奏功した 1 例

A case of massive hemorrhage due to multiple facial traumas treated by embolization of the  
branches of the external maxillary artery

大淵幸与, 藤井信行, 木谷憲典

日本口腔顎顔面外傷学会誌. 18 : 44-48, 2019

36. 「ER デザイン」 ER DESIGN FILE No.26

岡田 稔

救急医学 43 臨時増刊号. 11 : 1508-1512, 2019

37. 鳥取県立中央病院 新病院へ移転から完成まで

壹岐 勝

全国自治体病院協議会雑誌. 58 : 9, 2019

38. カテーテルアブレーション治療前における心臓 CT 撮影～台形クロス注入法の導入から検討～

上山忠政, 小山 亮, 澤 和宏, 壹岐 勝

RadFan6 月号. 17 : 29-33, 2019

39. がんサバイバーシップ第 2 版 - がんとともに生きる人々への看護ケア -

がんの種類からみたサバイバー体験 6 肝臓がん経験者

池田 牧

医歯薬出版株式会社. 127-133, 2019

40. がんの積極的治療を終結する時期にある患者と看護師の相互作用に現れた看護師のケアパターンの変化の探求 ～ニューマン理論に導かれた仲間との対話をもとに私自身のケアパターンを認識し看護実践を進化・発展させていったプロセス～

池田 牧

看護実践の科学. 44 : 68-73, 2019

診療科名	一覧番号
総合内科	1, 10
消化器内科	10, 11
血液内科・輸血科	2, 3, 4, 5, 12, 13, 14
糖尿病・内分泌・代謝内科	6
放射線科	15

外科／消化器外科／小児外科	7, 8, 9, 10, 16, 17, 18, 19, 20, 21
整形外科	22, 23, 24
形成外科	25, 26
麻酔科	27, 28, 29
泌尿器科	30
産婦人科	31, 32
小児科	33, 34
歯科口腔外科	35
救急科	36
中央放射線室	37, 38
がん相談支援センター	39, 40

## 研究業績目録

### 総合内科

#### <学会発表>

1. 腰椎化膿性脊椎炎との鑑別に苦慮した腰椎椎間関節偽痛風の1例  
橋本健志<sup>1)</sup>, 門脇佳名子<sup>2)</sup>, 三原 周<sup>2)</sup>, 中瀬一希<sup>2)</sup>, 遠藤功二<sup>2)</sup>, 岡本 勝<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院 臨床研修センター
  - 2) 同 総合内科  
第19回日本総合診療医学会総会. 沖縄県恩納村, 2019.2
2. Helicobacter pylori (HP) 除菌により低蛋白血症が改善した Menetrier 病の1例  
三原 周, 門脇佳名子, 中瀬一希, 遠藤功二, 岡本 勝  
第19回日本総合診療医学会総会. 沖縄県恩納村, 2019.2
3. 高齢の透析患者に発症したセフトリアキソンによる抗菌薬関連脳症が疑われた例  
川上 建<sup>1)</sup>, 遠藤功二<sup>2)</sup>, 門脇佳名子<sup>2)</sup>, 三原 周<sup>2)</sup>, 中瀬一希<sup>2)</sup>, 岡本 勝<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院 臨床研修センター
  - 2) 同 総合内科  
日本内科学会中国支部主催 第120回中国地方会. 岡山市, 2019.6
4. インフリキシマブ使用中に発症した Yersinia 敗血症の1例  
石原啓太郎<sup>1)</sup>, 遠藤功二<sup>2)</sup>, 門脇佳名子<sup>2)</sup>, 三原 周<sup>2)</sup>, 中瀬一希<sup>2)</sup>, 岡本 勝<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院 臨床研修センター
  - 2) 同 総合内科  
日本内科学会中国支部主催 第120回中国地方会. 岡山市, 2019.6
5. 自然筋肉内出血を来した腹部大動脈瘤に伴う播種性血管内凝固症候群による後天性第ⅩⅢ因子欠乏症の1例  
助川 礼<sup>1)</sup>, 岡本 亮<sup>2)</sup>, 田中宏征<sup>2)</sup>, 吉田 諒<sup>2)</sup>, 遠藤功二<sup>2)</sup>, 岡本 勝<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院 臨床研修センター
  - 2) 同 総合内科  
日本内科学会中国支部主催 第121回中国地方会. 岡山市, 2019.10
6. 片側性胸水貯留から診断に至った高齢男性初発 SLE の症例  
細田利奈<sup>1)</sup>, 岡本 亮<sup>2)</sup>, 田中宏征<sup>2)</sup>, 吉田 諒<sup>2)</sup>, 遠藤功二<sup>2)</sup>, 岡本 勝<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院 臨床研修センター
  - 2) 同 総合内科  
日本内科学会中国支部主催 第121回中国地方会. 岡山市, 2019.10

### 呼吸器内科

#### <学会発表>

1. 原発巣内への巨大肺動脈瘤の形成を認め緩和照射が止血に有効であった一例  
村田 圭, 上田康仁, 澄川 崇, 長谷川泰之, 妻鹿倫征, 杉本勇二

- 第 61 回日本呼吸器学会中四国地方会. 徳島市, 2019. 7
2. 小細胞癌に形質転換した EGFR 変異陽性肺腺癌に対して pemetrexed が著効した一例  
吉田 諒, 上田康仁, 澄川 崇, 長谷川泰之, 妻鹿倫征, 杉本勇二  
第 61 回日本呼吸器学会中国・四国地方会. 徳島市, 2019. 7
3. アスベスト暴露歴を有し, TBLB で IgG4 陽性細胞の浸潤を認めた間質性肺炎の一例  
妻鹿倫征, 上田康仁, 澄川 崇, 長谷川泰之, 杉本勇二  
第 61 回日本呼吸器学会中国・四国地方会. 徳島市, 2019. 7

<講演会・講義・研修会>

1. 2017 年当院の肺がん診療  
澄川 崇  
鳥取県東部肺がんセミナー. 鳥取市, 2019. 1
2. 免疫療法について知っておいてほしいこと  
澄川 崇  
鳥取県医師会公開健康講座. 鳥取市, 2019. 1
3. 当院での免疫チェックポイント阻害剤の使用経験  
澄川 崇  
がん公開セミナー. 鳥取市, 2019. 2
4. 間質性肺炎について  
杉本勇二  
社会保険支払基金研修会. 鳥取市, 2019. 3
5. 当院の結核診療の現状  
杉本勇二  
鳥取県東部胸部疾患研究会. 鳥取市, 2019. 5
6. 石綿による障害とその予防処置  
杉本勇二  
石綿作業主任者技能講習. 倉吉市, 2019. 8
7. 肺がんについて  
上田康仁  
八頭町健康講座. 鳥取県八頭郡八頭町, 2019. 10

## 消化器内科

<学会発表>

1. 胃に多発する潰瘍性病変を契機に診断した EB ウイルス関連リンパ増殖性疾患の 1 例  
林 暁洋, 中島由紀奈, 紙谷 悠, 岩本 拓, 岡本敏明, 前田和範, 柳谷淳志, 田中 究,  
磯本 一  
第 111 回日本消化器病学会中国支部例会. 米子市, 2019. 6
2. 肛門縁の進行大腸癌の 1 症例  
柳谷淳志

大腸がん検診従事者講習会および症例検討会. 鳥取市, 2019. 9

3. 当院における急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージ (PTGBD) の治療選択と有効性について

林 暁洋, 中島由紀奈, 紙谷 悠, 岩本 拓, 岡本敏明, 前田和範, 柳谷淳志, 田中 究, 磯本 一

JDDW2019 第 27 回日本消化器関連学会週間. 神戸市, 2019. 11

4. 検診バリウムによる上部消化管 X 線造影検査後に S 状結腸先行性腹膜炎をきたした一例  
紙谷 悠, 柳谷淳志, 中島由紀奈, 岩本 拓, 岡本敏明, 林 彰洋, 前田和範, 田中 究, 磯本 一

第 112 回日本消化器病学会中国支部例会. 広島市, 2019. 11

5. IPMN 内に仮性動脈瘤出血を来した Hemosuccus Pancreaticus の 1 例

中島由紀奈, 紙谷 悠, 岩本 拓, 岡本敏明, 林 暁洋, 前田和範, 柳谷淳志, 田中 究, 磯本 一

第 112 回日本消化器病学会中国支部例会. 広島市, 2019. 11

#### <講演会・講義・研修会>

1. 当院における大腸内視鏡的粘膜下層剥離術 (大腸 ESD) の治療成績

柳谷淳志

令和元年度鳥取県医師会会員総会 第 28 回鳥取医学賞講演. 鳥取市, 2019. 6

第 28 回鳥取医学賞 受賞

2. 大腸がん 早期発見から内視鏡治療について

柳谷淳志

日本消化器病学会中国支部 第 38 回市民公開講座. 米子市, 2019. 6

3. 胃幽門部狭窄の手術 6 年後に大腸病変が出現した Crhon 病の 1 例

林 暁洋, 中島由紀奈, 紙谷 悠, 岩本 拓, 岡本敏明, 前田和範, 柳谷淳志, 田中 究

第 8 回鳥取 IBD 研究会. 鳥取市, 2019. 6

4. 当院における急性胆嚢炎診療の現状

林 暁洋, 中島由紀奈, 紙谷 悠, 岩本 拓, 岡本敏明, 前田和範, 柳谷淳志, 田中 究

第 72 回鳥取消化器疾患研究会. 鳥取市, 2019. 9

#### <学会・研究会の主催, 座長>

1. 司会

柳谷淳志

大腸がん検診従事者講習会および症例検討会. 倉吉市, 2019. 2

2. 機器に関するディスカッション 司会

柳谷淳志

第 45 回市山陰地区消化器内視鏡懇談会. 出雲市, 2019. 9

3. 一般演題 座長

柳谷淳志

鳥取大学医学部第二内科学教室 第 72 回開講記念会. 米子市, 2019. 10

#### 4. 座長

林 暁洋

第 112 回日本消化器病学会中国支部例会. 広島市, 2019. 11

## 血液内科・輸血科

### <学会・研究会発表>

1. 縦隔原発大細胞型 B 細胞リンパ腫合併妊婦に対して化学療法を施行し無事出産し得た症例  
細田利奈, 橋本由徳, 竹中泰子, 小林裕貴子, 田村明子, 小村裕美, 田中孝幸  
第 58 回日本血液学会中国四国地方会. 広島市, 2019. 3
2. CML-BP に対して血縁者間 PBSCT 後, 微小残存病変に TKI を投与した症例  
橋本由徳  
Novartis Hematology Forum in Tottori. 鳥取市, 2019. 4
3. 真性多血症の診断と治療の最近の話題  
橋本由徳  
造血器腫瘍診断・治療カンファレンス. 大阪市, 2019. 9
4. Pregnant woman with essential thrombocythemia who were not effective with interferon alpha  
Hashimoto Y, Omura H, Tanaka T  
第 81 回日本血液学会総会. 東京都, 2019. 10
5. Surgery in patients with essential thrombocythemia  
Hashimoto Y, Omura H, Tanaka T  
第 81 回日本血液学会総会. 東京都, 2019. 10
6. 同種骨髄移植後早期に胆嚢炎, 腹膜炎を合併した急性リンパ芽球性白血病  
橋本由徳, 小村裕美, 田中孝幸  
BMT NEXT Meeting. 岡山市, 2019. 10

### <講演・講義・研修会>

1. ET 患者における生命予後, 血栓症のリスク分類について  
橋本由徳  
Tottori MPN Forum. 鳥取市, 2019. 1
2. ET 患者における生命予後, 血栓症のリスク分類について  
～若年 ET 患者におけるリスク分類の pitfall と国内外のガイドラインの現状～  
橋本由徳  
Meet the Expert 2019 for ET. 東京都, 2019. 2
3. ET 患者におけるリスク層別の臨床上の意義, 治療介入の重要性  
橋本由徳  
Shire Hematology Forum 2019 in 沖縄. 那覇市, 2019. 2
4. ET 治療の最近の動向 ～細胞減少療法を中心に～  
橋本由徳  
Takeda MPN e-Academy in August. 東京都, 2019. 8



5. 注意が必要な血算の異常 ～血球増加を呈している症例を中心に～  
橋本由徳  
日常診療における検査値異常を考える会. 鳥取県東部医師会共催. 鳥取市, 2019. 9
6. ET 患者のリスク因子とは？  
橋本由徳  
Takeda MPN e-Academy in September. 東京都, 2019. 9
7. MPN における医療連携の取り組み  
橋本由徳  
MPN WEST JAPAN 座談会. 東京都, 2019. 9
8. Differences in prognostic models of thrombosis between Japan, Europe and the United States in patients with essential thrombocythemia  
Yoshinori Hashimoto  
Meet the Expert in MPN 2019. Tokyo, 2019. 10
9. ET 患者における特殊な問題へのアプローチ  
橋本由徳  
Takeda MPN e-Academy in October. 東京都, 2019. 10
10. ET treatment ～細胞減少療法の温故知新 Anagrelide を中心に～  
橋本由徳  
5th Annivaersary Agrylin Symposium. 東京都, 2019. 11
11. ET treatment ～細胞減少療法の温故知新 Anagrelide を中心に～  
橋本由徳  
MPN Conference 2019. 大阪市, 2019. 12
12. 悪性リンパ腫の基礎知識と治療  
小村裕美  
第 11 回山陰血液疾患看護研修会. 米子市, 2019. 10

<学会・研究会座長>

1. 座長  
田中孝幸  
Tottori MPN Forum. 鳥取市, 2019. 1
2. リンパ系腫瘍セッション座長  
田中孝幸  
第 58 回日本血液学会中国四国地方会. 広島市, 2019. 3
3. 座長  
田中孝幸  
Novartis Hematology Forum in Tottori. 鳥取市, 2019. 4
4. 座長  
田中孝幸  
Multiple Myeloma Seminar in Tottori. 鳥取市, 2019. 5
5. 座長

田中孝幸

鳥取 CML Seminar. 鳥取市, 2019. 11

## 糖尿病・内分泌・代謝内科

### <学会・研究会>

1. 糖尿病民間療法の年次推移  
檜崎晃史, 安東史博, 村尾和良, 吉田泰之, 武田 倬, 塩 宏, 池田 匡  
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会. 仙台市, 2019. 5
2. 鳥取県における糖尿病腎症重症化予防のための取り組み(鳥取県糖尿病対策推進会議より)  
(シンポジウム 16: 糖尿病腎症重症化予防のための戦略)  
檜崎晃史, 谷口晋一, 池田 匡  
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会. 仙台市, 2019. 5
3. 1 型糖尿病患児の診療の移行を理想に近づけるにはー内科の意見  
(シンポジウム 20: 1 型糖尿病患児の小児科から内科への移行)  
檜崎晃史  
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会. 仙台市, 2019. 5
4. フットケアを地域の医療文化へ ~鳥フット EAST プロジェクトの取組~  
檜崎晃史, 太田匡彦, 尾崎 舞, 小坂博基, 中村勇夫, 田淵裕子, 藤田祥子, 森山好美,  
柳田智輝, 大西敦子, 竹内加代子  
第 1 回日本フットケア・足病医学会中国四国地方会. 倉吉市, 2019. 9
5. GLP-1 受容体作動薬の導入が著効した若年発症 2 型糖尿病の 1 例  
檜崎晃史, 安東史博, 村尾和良, 吉田泰之, 武田 倬  
日本糖尿病学会中国四国地方会第 57 回総会. 徳島市, 2019. 12
6. サマーキャンプ開催場所の変更に伴う問題点とその対策  
村尾和良, 檜崎晃史, 安原みずほ, 長石純一  
第 56 回日本糖尿病学会中国四国支部地方会総会. 徳島市, 2019. 12

### <講演・講義・研修会>

1. 糖尿病について学ぼう  
安東史博  
八頭町ぐんぐん! 血糖改善教室. 八頭町, 2019. 1
2. 糖尿病と認知症  
安東史博  
第 3 回鳥取県糖尿病看護研究会. 鳥取市, 2019. 5
3. 糖尿病専門医の「引き出しの中」~「糖尿病屋」は何を考えながら診療しているのか~  
檜崎晃史  
Diabetes Seminar in Iwakuni. 岩国市, 2019. 5
4. 鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの現状と課題  
檜崎晃史

鳥取県東部医師会学術講演会. 鳥取市, 2019. 9

5. 認知症患者における糖尿病との付き合い方

村尾和良

糖尿病・認知症 WEB セミナー FROM 鳥取. 鳥取市, 2019. 10

6. 鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

檜崎晃史

鳥取県国民健康保険団体連合会・糖尿病性腎症重症化予防セミナー. 倉吉市, 2019. 10

7. 糖尿病の地域連携について

檜崎晃史

鳥取県中部地区 CDE 集まれ！思い、悩みを共有しよう. 三朝町, 2019. 10

8. 糖尿病診療の基礎知識

村尾和良

鳥取県国民健康保険団体連合会審査事務研修会. 鳥取市, 2019. 11

9. 最近の血糖モニタリング ～有効に活用するには～

村尾和良

日常診療における糖尿病臨床講座. 鳥取市, 2019. 12

## 緩和ケア内科

### <講演会・講義・研修会>

1. e-learning の復習・質問

浦川 賢

平成 30 年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 1

2. 療養場所の選択と地域連携

浦川 賢

平成 30 年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 1

3. 若い子どもをもつ終末期がん患者を支える

池田 牧 (がん相談支援センター), 浦川 賢

第 24 回鳥取緩和ケア研究会. 鳥取市, 2019. 3

4. がん疼痛～オピオイドの復習ともう一工夫～

浦川 賢

院内緩和ケア勉強会. 鳥取市, 2019. 4

5. 緩和ケア概論

浦川 賢

第 28 回中央病院緩和医療研修会. 鳥取市, 2019. 5

6. 症例を通して考える

～消化管閉塞, 化学療法の中止を伝える・支える, 医療者と患者, 家族の認識に差があるとき～

浦川 賢

院内緩和ケア勉強会. 鳥取市, 2019. 5

7. 全人的苦痛に対する緩和ケア

浦川 賢

鳥取県立厚生病院緩和ケア研修会. 倉吉市, 2019. 7

8. 悪心・嘔吐

浦川 賢

院内緩和ケア勉強会. 鳥取市, 2019. 11

9. e-learning の復習・質問

浦川 賢

令和元年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 12

10. 療養場所の選択と地域連携

浦川 賢

令和元年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 12

<学会・研究会の主催, 座長>

1. 企画責任者

浦川 賢

平成 30 年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 1

2. 主催

浦川 賢

第 24 回鳥取緩和ケア研究会. 鳥取市, 2019. 3

## 腎臓内科

<学会>

1. 血液浄化療法の進歩に伴う合併症の変化

宗村千潮

第 28 回中国腎不全研究会学術集会. 広島市, 2019. 12

<講演会>

1. 腎とくすり

宗村千潮

鳥取県病院薬剤師西部支部定期研修会. 米子市, 2019. 8

2. かかりつけ医と腎専門医で行う CKD 診察

宗村千潮

鳥取県東部エリア CKD 病診連携講演会. 鳥取市, 2019. 9

3. かかりつけ医と腎専門医で行う CKD 診察

宗村千潮

倉吉 CKD フォーラム. 倉吉市, 2019. 9

## リウマチ・膠原病内科

### <講演・座長>

1. 一般診療に潜む膠原病性肺高血圧症の診断と治療  
長谷川泰之  
鳥取県東部医師会医学セミナー. 鳥取市, 2019. 1
2. 特別講演座長  
長谷川泰之  
第 64 回鳥取県東部医師会医学セミナー. 鳥取市, 2019. 1
3. 症例提示  
長谷川泰之  
鳥取県肺癌従事者講習会. 鳥取市, 2019. 3
4. 膠原病の最新治療  
長谷川泰之  
鳥取県難病医療講演会. 鳥取市, 2019. 6

## 脳神経内科

### <学会発表>

1. 片側中脳梗塞による垂直性眼球運動障害と偽性外転神経麻痺の 2 例  
種田建太<sup>1)2)</sup>, 佐栞真悠子<sup>1)3)</sup>, 周藤 豊<sup>1)</sup>, 福田弘毅<sup>1)</sup>
  - 1) 松江赤十字病院脳神経内科
  - 2) 鳥取県立中央病院脳神経内科
  - 3) 鳥取大学医学部附属病院脳神経内科第 106 回日本神経学会中国・四国地方会. 米子市, 2019. 6
2. 小脳症状の一部改善を認めた Lambert-Eaton 筋無力症候群及び傍腫瘍性小脳変性症の 2 例  
近藤紗矢<sup>1)</sup>, 下田 学<sup>1)</sup>, 竹内裕彦<sup>1)</sup>, 徳田直希<sup>1)</sup>, 中安弘幸<sup>1)</sup>, 澄川 崇<sup>2)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院脳神経内科
  - 2) 鳥取県立中央病院呼吸器内科第 106 回日本神経学会中国・四国地方会. 米子市, 2019. 6
3. 腫瘍細胞の血管内浸潤を反映した特異な画像所見を呈し, その消退により治療効果を確認し得た血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例  
竹内裕彦<sup>1)</sup>, 下田 学<sup>1)</sup>, 種田建太<sup>1)</sup>, 中安弘幸<sup>1)</sup>, 小村裕実<sup>2)</sup>, 松末英司<sup>3)</sup>, 細谷朋央<sup>4)</sup>
  - 1) 鳥取県立中央病院脳神経内科
  - 2) 鳥取県立中央病院血液内科
  - 3) 鳥取県立中央病院放射線科
  - 4) 鳥取県立中央病院脳神経外科第 107 回日本神経学会中国・四国地方会. 岡山市, 2019. 12

<発表>

1. LEMS+PCD の 1 例  
中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 1
2. 左後大脳動脈閉塞を来した若年女性の一例  
下田 学  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 1
3. 胸髄病変を生じた CIDP の 1 例  
中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 3
4. 最近のアミロイドーシスの話題  
下田 学  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 3
5. シェーグレン症候群に合併した視神経炎の 1 例  
種田建太, 竹内裕彦, 下田 学, 中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 5
6. 両側大脳半球, 小脳半球など広範に異常陰影を呈した一例  
下田 学  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 5
7. 血管炎との鑑別を要した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例  
竹内裕彦  
第 45 回東部ニューロイメージング研究会. 鳥取市, 2019. 7
8. 橋神経膠腫に心原性脳塞栓症を合併した一例  
竹内裕彦  
尾崎病院 CC カンファレンス. 鳥取市, 2019. 7
9. 内頸動脈偽閉塞の 1 例  
中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 9
10. 発作時の脳血流 SPECT で両側前頭葉のてんかん焦点が明らかにされた一例  
竹内裕彦  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 9
11. 左側頭葉内側に限局した病変  
下田 学  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 9
12. 当院における脳卒中病院前連携, 発症時刻不明例への対応  
中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 11
13. 診断・治療に難渋している脳血管炎疑いの 1 例  
種田建太, 竹内裕彦, 下田 学, 中安弘幸  
鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 11

#### 14. 神経核内封入体病の一例

下田 学

鳥取県東部臨床神経懇話会. 鳥取市, 2019. 11

## 心臓内科

### <学会発表>

1. 三尖弁下大静脈間峡部での通電で一過性の房室ブロックをきたした MAZE 手術後に発症した心房粗動の 1 症例  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二, 吉田泰之  
第 42 回阪神アブレーション電気生理研究会. 大阪市, 2019. 1
2. 強皮症関連 PAH の 1 例  
影嶋健二, 那須博司, 菅 敏光, 吉田泰之  
第 13 回中四国肺高血圧症カンファレンス. 岡山市, 2019. 1
3. アトピー性皮膚炎による植え込み後短期にデバイス感染を発症した ICD 植え込み症例  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二, 吉田泰之  
第 11 回デバイス研究会. 東京都, 2019. 2
4. 三尖弁下大静脈間峡部での通電で一過性の房室ブロックをきたした MAZE 手術後に発症した心房粗動の 1 症例その考察  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二, 吉田泰之  
第 26 回中国四国不整脈研究会. 岡山市, 2019. 4
5. HD grid catheter が電位評価に有用であった 2 症例  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二, 吉田泰之  
第 114 回日本循環器学会中国・四国地方会. 高松市, 2019. 6
6. 当院の Intra-Procedural Stent Thrombosis の検討  
影嶋健二, 那須博司, 菅 敏光, 吉田泰之  
第 114 回日本循環器学会中国・四国地方会. 高松市, 2019. 6
7. 左室肥大より診断された心 Fabry 病の一例  
井上直也, 那須博司, 菅 敏光, 影嶋健二, 吉田泰之  
第 114 回日本循環器学会中国・四国地方会. 高松市, 2019. 6
8. String-like thrombus from Cypher in-stent restenosis in myocardial infarction-case report-  
Inoue N<sup>1)</sup>, Yoshida Y<sup>2)</sup>, Nasu H<sup>2)</sup>, Suga T<sup>2)</sup>, Kageshima K<sup>2)</sup>
  - 1) Department of internal medicine, Chizu hospital
  - 2) Department of cardiology, Tottori prefectural central hospital, Tottori, Japan.TOPIC2019. 東京都, 2019. 7
9. A case of atrial tachycardia that was difficult to control the blood pressure during the catheter ablation procedure under sedation  
Suga T, Nasu T, Kageshima K  
第 66 回日本不整脈心電学会学術大会. 横浜市, 2019. 7
10. 回旋枝 CTO 病変に対する PCI にて冠動脈穿孔を起こし, カバードステントを留置した一例

国民健康保険智頭病院 内科 井上直也

鳥取県立中央病院 心臓内科 吉田泰之, 那須博司, 菅 敏光, 影嶋健二

第 27 回日本心血管インターベンション治療学会中国四国地方会. 岡山市, 2019. 9

11. In the situation where glycoprotein II b /IIIa inhibitors cannot be used, the prevalence of intra-  
Procedural Stent Thrombosis is higher than expected

Kageshima K, Nasu H, Suga T, Yoshida Y

第 28 回日本心血管インターベンション治療学会 ; CVIT2019 学術集会. 名古屋市, 2019. 9

12. The present status and problem of the cardiovascular intervention in Sanin region  
-a questionnaire survey-

Inoue N<sup>1)</sup>, Yoshida Y<sup>2)</sup>, Nasu H<sup>2)</sup>, Suga T<sup>2)</sup>, Kageshima K<sup>2)</sup>

1) Department of internal medicine, Chizu hospital

2) Department of cardiology, Tottori prefectural central hospital, Tottori, Japan.

第 28 回日本心血管インターベンション治療学会 ; CVIT2019 学術集会. 名古屋市, 2019. 9

13. HD Grid catheter による電位評価がアブレーション治療に有用であった WPW 症候群 4 症例  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二

カテーテルアブレーション関連秋季大会 2019. 金沢市, 2019. 11

14. 心房細動アブレーション治療における Wireless echo による穿刺の有用性  
菅 敏光, 那須博司, 影嶋健二, 吉田泰之

第 115 回日本循環器学会中国地方会. 広島市, 2019. 11

15. 冠攣縮と褐色細胞腫の関与が考えられた逆たこつぼ型心筋症の一例

国民健康保険智頭病院 内科 井上直也

鳥取県立中央病院 心臓内科 吉田泰之, 那須博司, 菅 敏光, 影嶋健二

第 115 回日本循環器学会中国地方会. 広島市, 2019. 11

#### <講演会・講義・研修会>

1. ACS どこまでやるか

影嶋健二

第 2 回 PCI 勉強会. 鳥取市, 2019. 3

2. 循環器系症候学Ⅱ : 視診, 打診, 聴診, 血圧測定

吉田泰之

鳥取大学医学部講義. 米子市, 2019. 6

3. closing remarks

菅 敏光

Ablation Expert Seminar in SANIN. 米子市, 2019. 6

4. スtent 血栓症

影嶋健二

第 3 回 PCI 勉強会. 鳥取市, 2019. 7

5. AED で助かる命

吉田泰之

第 38 回鳥取県東部救急医療講習会. 鳥取市, 2019. 9



6. 心房細動の診断と治療 日常診療における心房細動に関するリスク管理について  
菅 敏光  
地域で考える心房細動セミナー. 岡山市, 2019.9
7. 糖尿病の大血管障害  
吉田泰之  
鳥取県糖尿病療養指導士試験受験者資格取得のための講習会. 鳥取市, 2019.12

<学会・研究会の主催>

1. 座長  
菅 敏光  
第14回循環器疾患に関する医療連携の会. 鳥取市, 2019.3
2. 座長  
菅 敏光  
DOAC フォーラム in 鳥取. 鳥取市, 2019.4
3. 座長  
菅 敏光  
鳥取県東部医師会学術講演会. 鳥取市, 2019.5
4. 座長  
菅 敏光  
第15回循環器疾患に関する医療連携の会. 鳥取市, 2019.6
5. 座長  
菅 敏光  
鳥取県東部医師会学術講演会. 鳥取市, 2019.8
6. 座長  
菅 敏光  
第16回循環器疾患に関する医療連携の会. 鳥取市, 2019.10

## 放射線科

<研究会・学会発表>

1. 当院における原子力災害医療の取り組みについて  
中村一彦, 岡田 稔  
第24回日本災害医学会総会・学術集会. 米子市, 2019.3
2. One side internal iliac artery and another side iliolumbar artery embolization before EVAR  
中村一彦, 井上千恵, 松末英司  
第48回日本IVR学会総会. 福岡市, 2019.5
3. 肺動脈塞栓療法を含む集学的治療が奏功した肺癌の1例  
中村一彦, 井上千恵, 松末英司  
第132回日本医学放射線学会中国・四国地方会. 米子市, 2019.6
4. 当院および鳥取県における原子力災害医療の取り組みについて

- 中村一彦, 小谷 伶  
第 132 回日本医学放射線学会中国・四国地方会. 米子市, 2019. 6
5. 喀血に対する集学的治療が奏功した肺癌の 1 例  
中村一彦  
第 239 回鳥取県東部胸部疾患研究会. 鳥取市, 2019. 7
6. 当院および鳥取県における原子力災害医療の取り組みについて  
中村一彦  
第 7 回日本放射線事故・災害医学会年次学術集会. 仙台市, 2019. 9
7. Assist technique による瘤内塞栓術を行い得た脾動脈瘤の 2 症例  
中村一彦, 井上千恵, 松末英司  
第 33 回中国四国 IVR 研究会. 岡山市, 2019. 11

<講義・講演>

1. 症例提示 (炎症性脳アミロイド血管症, 脊髄サルコイドーシス, 慢性被包化頭蓋内血腫, 血管内悪性リンパ腫, 眼耳脊椎症候群)  
松末英司  
第 41 回 Neuroradiology Club. 東京都, 2019. 5
2. CSCA について, 災害派遣医療チーム (DMAT)  
中村一彦  
第 10 回 (令和元年度) 鳥取県災害医療従事者研修会. 鳥取市, 2019. 6
3. 認知症の画像診断について  
松末英司  
令和元年第 2 回認知症医療連携研修会. 米子市, 2019. 9
4. 知っておきたい高精度放射線治療  
中村一彦  
令和元年度第 2 回市民講座. 鳥取市, 2019. 9

外 科

<学会発表>

1. 膵 MCN の一例  
秋山翔太, 佐藤研吾, 青江康貴, 小川絢女, 松浦由佳, 安田菜奈子, 大栗聖由, 廣岡保明  
第 78 回消化器超音波研究会. 米子市, 2019. 1
2. Usefulness and problem of QOL assessment after gastrectomy by PGSAS  
Osaki T, Tatebe S, Endo K, Nakamura S, Ikeguchi M  
第 91 回日本胃癌学会総会. 静岡市, 2019. 2. 27-3. 1
3. 胃癌術後早期における胃術後障害の推移とリスク因子  
尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 34 回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 東京都, 2019. 2
4. 傍胆管嚢胞の 1 例

- 安田菜奈子, 杉原褒明, 秋山翔太, 佐藤研吾, 大栗聖由, 廣岡保明  
第 79 回消化器超音波研究会. 米子市, 2019. 3
5. 早期警戒スコアは消化器外科術後合併症の重症度予測に有用である  
中村誠一, 後藤圭佑, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 池口正英  
第 199 回日本外科学会定期学術集会. 大阪府, 2019. 4
6. 当科における clamp-clushing method による腹腔鏡下肝切除術症例の検討  
遠藤財範, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 建部 茂, 中村誠一, 池口正英  
第 119 回日本外科学会定期学術集会. 大阪府, 2019. 4
7. TAPP における SOLOassist II の使用経験  
尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 17 回日本ヘルニア学会学術集会. 四日市市, 2019. 5
8. Visceral sheath を意識した上縦隔郭清  
建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 73 回日本食道学会学術集会. 福岡市, 2019. 6
9. 腺様嚢胞癌における MYB/MYBL1 遺伝子異常の臨床病理学的意義に関する検討  
遠藤由香利, 桑本聡史, 松下倫子, 松重貴大, 大野千恵子, 中本 周, 林 一彦, 廣岡保明  
第 60 回日本臨床細胞学会総会. 東京都, 2019. 6
10. Risk factors and managements of bile leakage after hepatectomy in our department  
遠藤財範, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 建部 茂, 中村誠一, 池口正英  
第 31 回日本肝胆膵外科学会学術集会. 高松市, 2019. 6
11. 胸部食道癌術後合併症が長期予後に与える影響  
建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 74 回日本消化器外科学会総会. 東京都, 2019. 7
12. Judgment of support on hospitalization and home care in patients with gastric cancer surgery  
Osaki T, Saito H, Shimizu S, Murakami Y, Miyatani K, Matsunaga T, Tatebe S, Nakamura S,  
Fujiwara Y, Ikeguchi M  
第 74 回日本消化器外科学会総会. 東京都, 2019. 7
13. Frail な患者に対する消化器外科手術 3  
池口正英  
第 74 回日本消化器外科学会総会 主題関連演題 34 座長. 東京都, 2019. 7
14. 血管拡張薬を用いた肝切除術前 Dynamic CT の有用性の検討  
渡部 純, 遠藤財範, 中村誠一  
第 74 回日本消化器外科学会総会. 東京都, 2019. 7
15. 人工肛門閉鎖術の合併症の検討  
漆原正一, 後藤圭佑, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 池口正英  
第 81 回日本臨床外科学会総会, 高知市, 2019. 11
16. 地方中核病院における NST の現状と課題  
尾崎知博, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 廣岡保明,  
池口正英  
第 81 回日本臨床外科学会総会. 高知市, 2019. 11

17. 臨床医から見た体腔液洗浄細胞診の意義と課題  
 松下倫子, 遠藤由香利, 堀江 靖, 宮谷幸造, 松永知之, 福本陽二, 徳安成郎, 藤原義之, 廣岡保明  
 第 58 回日本臨床細胞学会・秋期大会. 岡山市, 2019. 11
19. 超音波検査により小腸転移性腫瘍による腸重積が確認できた 1 例  
 若松宏海, 佐藤研吾, 秋山翔太, 安田菜奈子, 黒岩駿也, 大栗聖由, 加藤雅彦, 廣岡保明  
 第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
20. 胆嚢血腫の一例  
 黒岩駿也, 藤 研吾, 秋山翔太, 安田菜奈子, 若松宏海, 大栗聖由, 加藤雅彦, 廣岡保明  
 第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
21. 大腸癌術前における深部静脈血栓症リスク要因の検討  
 山崎彩香, 佐藤研吾, 大栗聖由, 秋山翔太, 安田菜奈子, 野上 智, 福田哲也, 廣岡保明  
 第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
22. 神経超音波検査が有用であった左鎖骨上窩神経鞘腫の一例  
 岡本翔也, 佐藤研吾, 秋山翔太, 安田菜奈子, 池口拓哉, 大栗聖由, 加藤雅彦, 廣岡保明  
 第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
23. 胆汁細胞診における細胞集塊辺縁の細胞質量に関する解析  
 古旗 淳, 東井靖子, 大橋久美子, 阿部加奈子, 阿部佳之, 権田厚文, 廣岡保明  
 第 58 回日本臨床細胞学会・秋期大会. 岡山市, 2019. 11
24. SOX 術前化学療法施行後に根治切除を施行した Stage IV 胃癌の 1 例  
 津田亜由美, 尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 廣岡保明, 池口正英  
 第 81 回日本臨床外科学会総会. 高知市, 2019. 11
25. 腺様嚢胞癌における MYB/MYBL1 遺伝子異常の臨床病理学的意義に関する検討  
 遠藤由香利, 桑本聡史, 松下倫子, 松重貴大, 大野千恵子, 中本 周, 林 一彦, 廣岡保明  
 第 34 回鳥取県臨床細胞学会. 倉吉市, 2019. 11
26. 高齢者胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術  
 渡部 純, 尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
 第 32 回日本内視鏡外科学会総会. 横浜市, 2019. 12
27. 当科における腹腔鏡下再肝切除術症例の臨床学的検討  
 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 廣岡保明, 池口正英  
 第 32 回日本内視鏡外科学会総会. 横浜市, 2019. 12
28. 胸腔鏡下胸部食道亜全摘術における同一施設, 術者による左側臥位と腹臥位の比較  
 建部 茂, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
 第 32 回日本内視鏡外科学会総会. 横浜市, 2019. 12
29. High-frequency oscillation in flash visual evoked potentials in type 3 Gaucher disease  
 Oguri M<sup>1)</sup>, Saito Y<sup>2)</sup>, Akiyama S<sup>1)</sup>, Ikeguchi T<sup>1)</sup>, Narita A<sup>3)</sup>, Sato K<sup>1)</sup>, Hirooka Y<sup>1)</sup>, Maegaki Y<sup>2)</sup>  
 Tottori Univ. Faculty of Medicine, Dep. of Pathobiological Science and Technology<sup>1)</sup>  
 Tottori Univ. Faculty of Medicine, Division of Child neurology<sup>2)</sup>

15th Asian oceanian congress of child neurology in conjunction with the 41st Malaysian paediatric association annual congress 2019. Kuala Lumpur, Malaysia. 2019

<学会地方会・研究会発表等>

1. 胃切除後障害と栄養管理

尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 71 回鳥取消化器疾患研究会. 鳥取市, 2019. 2

2. 当科におけるがんゲノム医療の導入

中村誠一, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 廣岡保明,  
池口正英  
第 73 回鳥取消化器疾患研究会. 鳥取市, 2019. 2

3. 当院における LPEC の検討

後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 廣岡保明,  
池口正英  
第 16 回中四国ヘルニア手術研究会. 岡山市, 2019

4. 誘因なく発症した被包化脂肪壊死の一例

渡部 純, 尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英,  
第 143 回山陰外科集団会. 米子市, 2019. 6

5. ICG 蛍光法を用いた腹腔鏡下肝切除術

遠藤財範, 後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 建部 茂, 中村誠一, 廣岡保明,  
池口正英  
第 72 回鳥取消化器疾患研究会. 鳥取市, 2019. 9

6. 十二指腸腺腫に対する D-LECS の経験

渡部 純, 尾崎知博, 柳谷淳志, 岩本 拓, 田中 究, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範,  
建部 茂, 中村誠一, 池口正英  
第 94 回中四国外科学会総会・第 24 回中国四国内視鏡外科研究会. 宇部市, 2019. 9

7. 後腹膜脂肪肉腫の 1 例

後藤圭佑, 渡部 純, 漆原正一, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 廣岡保明,  
池口正英  
第 144 回山陰外科集談会. 出雲市, 2019. 12

<講演会・講義・研修会>

1. 特別講演

廣岡保明

平成 30 年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部 生物化学分析部門研修会. 米子市, 2019. 3

2. 進行胃癌に対する当科治療の現状

尾崎知博, 建部 茂, 後藤圭佑, 漆原正一, 遠藤財範, 中村誠一, 池口正英  
第 31 回鳥取がんカンファレンス. 鳥取市, 2019. 3

3. 横行結腸捻転の 1 例

漆原正一, 後藤圭佑, 尾崎知博, 遠藤財範, 建部 茂, 中村誠一, 池口正英

- 山陰外科集談会. 米子市, 2019. 6
4. 高齢者をいかす ラウンドテーブルディスカッション座長  
池口正英  
第 44 回日本外科系連合学会学術集会. 金沢市, 2019. 6
  5. 胃癌周術期栄養管理 フレイル・サルコペニアにどう立ち向かうか？  
尾崎知博  
鳥取県東部医師会学術講演会. 鳥取市, 2019. 7
  6. 介入効果を評価するために準実験法をやってみよう！  
杉岡 隆, 加藤大祐, 片岡裕貴, 市川周平, 峯昌 啓, 花本明子, 渡部 純  
第 17 回秋季生涯教育セミナー. 大阪府, 2019. 9
  7. 経静脈栄養法について 1) アクセス法 2) プラニングとモニタリング  
尾崎知博  
第 10 回 NST 臨床実地研修会. 鳥取市, 2019. 9
  8. 座長  
中村誠一  
第 32 回鳥取がんカンファレンス. 鳥取市, 2019. 10
  9. 高度進行症例に立ち向かう 第 1 部 : Video Session 座長  
尾崎知博  
第 20 回関西腹腔鏡下胃切除同好会. 大阪市, 2019. 10
  10. ESD 後 2  
池口正英  
ワークショップ 3 特別発言第 49 回胃外科・術後障害研究会. 鹿児島市, 2019. 11
  11. 特別講演 腹部超音波検査 Up to Date  
廣岡保明  
第 124 回鳥取県東部腹部超音波研究会. 鳥取市, 2019. 11
  12. 普段の診療からシステムティックレビューにつなげる？！  
渡部 純  
Tottori Research Workshop 2019. 米子市, 2019. 11
  13. 何処にいてもできるメタアナリシス  
片岡裕貴, 辻本 康, 阿南圭祐, 岡林慎二, 山本良平, 渡部 純  
第 1 回 PCR Connect. 京都市, 2019. 12

## 整形外科

### <学会発表>

1. 変形性膝関節症を有する脛骨近位部骨折に対して骨接合術併用一期的人工関節置換術を行った一例  
奥野 優, 川口 馨, 村岡智也, 土海敏幸, 村田雅明  
第 49 回日本人工関節学会. 東京都, 2019. 2
2. 胸髄症の臨床的特徴と画像所見 - 頸髄症との比較研究 -  
土海敏幸, 奥野 優, 川口 馨, 村岡智也, 村田雅明

第 50 回脊椎脊髄病学会術集会. 横浜市, 2019. 4

3. 当院における両側人工膝関節置換術での出血対策

奥野 優, 川口 馨

第 11 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会. 札幌市, 2019. 6

4. 当院における両側同時人工膝関節置換術での出血対策

奥野 優, 川口 馨, 築谷康人, 村岡智也, 村田雅明

第 71 回山陰外科集談会. 松江市, 2019. 6

5. 当院における両側同時 UKA の治療実績

奥野 優, 川口 馨, 築谷康人, 村岡智也, 村田雅明

第 37 回山陰膝関節研究会. 米子市, 2019. 9

6. 内側型脛骨近位端骨折に対する高位脛骨骨切り術の治療経験

築谷康人, 川口 馨, 奥野 優, 村岡智也, 村田雅明

第 37 回山陰膝関節研究会. 米子市, 2019. 9

7. 当院における新規椎体骨折の受傷機転と季節変動について

築谷康人

第 21 回日本骨粗鬆症学会. 神戸市, 2019. 10

## 形成外科

### <学会発表>

1. 虫様筋内静脈奇形の 1 例

坂井 香, 坂井重信

第 62 回日本形成外科学会. 札幌市, 2019. 5

2. 両側足の熱傷瘢痕から片足に熱傷瘢痕癌を生じたため両側下腿切断を行った 1 例

坂井重信, 坂井 香

第 45 回日本熱傷学会. 北九州市, 2019. 5

3. 初診時に顔面神経麻痺を認めなかった耳下腺に発生した悪性腫瘍の 2 例

坂井 香, 坂井重信

第 24 回山陰形成外科懇話会. 出雲市, 2019. 6

### <講演会・講義・研修会>

1. 唇裂・顎裂, 口蓋裂

坂井重信

鳥取市医療看護専門学校講義. 鳥取市, 2019. 1

2. 外傷, その他の後天性疾患

坂井重信

鳥取市医療看護専門学校. 鳥取市, 2019. 1

3. 皮膚がんを治療する

坂井重信, 坂井 香

平成 30 年度市民講座, 鳥取県立中央病院多目的ホール. 鳥取市, 2019. 2

4. 形成外科の概念, 形成外科の手術手技  
坂井重信  
鳥取市医療看護専門学校. 鳥取市, 2019. 12
5. 顔面の先天性疾患, 唇裂口蓋裂の概念  
坂井重信  
鳥取市医療看護専門学校. 鳥取市, 2019. 12
6. 唇裂・顎裂, 口蓋裂.  
坂井重信  
鳥取市医療看護専門学校. 鳥取市, 2019. 12
7. 手術後に脱毛症を発症した小耳症の1例  
坂井 香, 坂井重信  
第25回山陰形成外科懇話会. 鳥取市, 2019. 12
8. 多数指切断再接着の1例  
坂井 香, 坂井重信  
第25回山陰形成外科懇話会. 鳥取市, 2019. 12

## 心臓血管外科

### <研究会・学会発表>

1. 超高齢者に対する左小開胸下冠動脈バイパス術の経験  
徳留純平, 宮坂成人, 白谷 卓, 坂口祐紀  
第114回日本循環器学会中国四国地方会. 高松市, 2019. 6
2. Barlow 症候群に対して後尖 W 型切除による僧帽弁形成術を施行した一例  
坂口祐紀, 宮坂成人, 白谷 卓, 徳留純平  
第62回関西胸部外科学会学術集会. 徳島市, 2019. 6
3. 僧帽弁置換術後の遠隔期に左小開胸下冠動脈バイパス術を施行した一例  
徳留純平, 宮坂成人, 白谷 卓, 坂口祐紀  
第144回山陰外科集談会. 出雲市, 2019. 12

## 呼吸器・乳腺・内分泌外科

### <学会発表>

1. 最近の呼吸器外科領域内視鏡外科手術 新病院での診療紹介  
前田啓之  
第237回東部胸部疾患研究会. 鳥取市, 2019. 1
2. 術前充実成分径1cm以上3cm以下cN0完全充実性陰影を呈する肺癌の予後と特徴  
松岡佑樹, 吹野俊介, 児玉 渉  
第36回日本呼吸器外科学会学術集会. 大阪市, 2019. 5
3. 後縦隔腫瘍を疑い胸腔鏡下腫瘍核出術を施行した食道神経鞘腫の1例  
藤原和歌子, 深谷由美, 松岡佑樹, 建部 茂, 前田啓之



第 143 回山陰外科集談会. 米子市, 2019. 6

4. 入退院支援に関する働き方改革

前田啓之

第 8 回山陰医療情報研究会. 津山市, 2019. 8

5. 術前診断困難であった縦隔リンパ節転移陽性硬化性肺胞上皮腫の 1 切除例

藤原和歌子, 高木雄三, 松岡佑樹, 前田啓之

第 60 回日本肺癌学会学術集会. 大阪市, 2019. 12

6. 胸腺 MALT リンパ腫の 1 手術例

松岡佑樹, 藤原和歌子, 深谷由美, 前田啓之

第 144 回山陰外科集談会. 出雲市, 2019. 12

<講演会・講義・研修会>

1. 中部地区症例提示

松岡佑樹, 吹野俊介, 大田里香子, 児玉 渉, 西村謙吾, 浜崎尚文, 北谷 新  
平成 30 年度鳥取県肺がん検診従事者講習会. 鳥取市, 2019. 2

2. チーム医療とクリニカルパス

前田啓之

2019 年度パス研修会. 鳥取市, 2019. 7

3. 入退院支援に関する働き方改革

前田啓之

第 15 回 SS ユーザー会. 大阪市, 2019. 8

## 脳神経外科

<学会・研究会発表>

1. 当院の急性期脳梗塞治療の現状と今後の課題

細谷朋央, 田淵貞治, 徳田直希, 竹内裕彦, 下田 学, 中安弘幸  
Solitaire de night in Yonago. 米子市, 2019. 3

2. 破裂 VA-PICA 動脈瘤の課題

吉岡裕樹, 田淵貞治, 坂本 誠, 黒崎雅道

第 1 回山陰脳神経血管内治療研究会. 米子市, 2019. 10

3. The use of bare stent in small (<2.0 mm) cerebral arteries for aneurysm treatment

Yoshioka H, Sakamoto M, Tabuchi S, Kurosaki M

15th WFITN congress. Naples, 2019. 10

4. 血管径 2mm 未満のステントアシストコイル塞栓術の成績

吉岡裕樹, 坂本 誠, 田淵貞治, 黒崎雅道

第 35 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会. 福岡市, 2019. 11

## 泌尿器科

### <研究会・学会発表>

1. 低出力（30W）レーザーによる HoLEP の初期成績  
村岡邦康，川本文弥，磯山忠広  
第 90 回日本泌尿器科学会宮崎地方会．宮崎市，2019. 1
2. 男性下部尿路症状に対するタダラフィル単独療法とタダラフィル・ミラベグロン併用療法の検討  
木村有佑，本田正史，磯山忠広，山本泰久，盛谷直之，瀬島健裕，小野孝司，高橋千寛，  
小海 力，松岡 等，武中 篤  
第 107 回日本泌尿器科学会総会．名古屋市，2019. 4
3. 非機能性副腎腫瘍の検討  
川本文弥，村岡邦康，磯山忠広  
第 107 回日本泌尿器科学会総会．名古屋市，2019. 4
4. 進行性腎細胞癌に対する Nivolumab・Ipilimumab 併用療法の初期成績  
西川結梨，村岡邦康，磯山忠広  
第 129 回日本泌尿器科学会山陰地方会．米子市，2019. 6
5. 当院における経尿道的電気凝固術症例の臨床的背景の検討  
西川結梨，村岡邦康，磯山忠広  
第 7 回山陰泌尿器内視鏡研究会．米子市，2019. 7
6. 下部尿路機能障害の回復と ADL の関連性について  
北村智之，村岡邦康，川本文弥，西川結梨，田中美佐子，磯江真美，下山英津子，  
磯山忠広  
第 26 回日本排尿機能学会．東京都，2019. 9
7. 低出力レーザーを用いた en-bloc 核出法による HoLEP の短期治療成績  
村岡邦康，西川結梨，磯山忠広  
第 33 回日本泌尿器内視鏡学会総会．京都市，2019. 11
8. 生検で尿膜管腺腫と診断されたが，術後診断で尿膜管がんであった一例  
西川結梨，村岡邦康，磯山忠広  
第 130 回日本泌尿器科学会山陰地方会．出雲市，2019. 12

### <講演・講義・研修会>

1. 患者にやさしい泌尿器腹腔鏡手術  
村岡邦康  
Urology Forum in Yonago 2019. 米子市，2019. 6
2. 50 歳を超えたら知っておきたい前立腺の病気  
村岡邦康  
第 334 回鳥取県医師会公開健康講座．鳥取市，2019. 12

### <新聞，テレビ，ラジオ>

1. 健康なんでも相談室「前立腺肥大症術後の尿失禁」

村岡邦康

日本海新聞. 2019. 2

2. 50歳を超えたら知っておきたい前立腺の病気④前立腺肥大症について

村岡邦康

日本海新聞. 2019. 12

3. 50歳を超えたら知っておきたい前立腺の病気⑤前立腺癌について

村岡邦康

日本海新聞. 2019. 12

## 産婦人科

### <学会発表>

1. 縦隔原発大細胞型 B 細胞リンパ腫合併妊娠の 1 例  
和田郁美, 上垣 崇, 竹中泰子, 木内 誠, 高橋弘幸  
第 71 回日本産科婦人科学会. 名古屋市, 2019. 4
2. 胎児片側 hyper-echoic kidney の 1 例  
高橋弘幸, 上垣 崇, 野中道子, 竹中泰子, 木内 誠  
日本超音波医学会第 55 回中国地方会学術集会. 山口市, 2019. 9
3. 当院で経験した OHVIRA 症候群の一例  
上垣 崇, 竹中泰子, 野中道子, 木内 誠, 高橋弘幸  
第 72 回中国四国産科婦人科学会総会. 米子市, 2019. 9
4. 縦隔原発大細胞型 B 細胞リンパ腫合併妊娠の 1 例  
竹中泰子, 上垣 崇, 野中道子, 木内 誠, 高橋弘幸  
第 72 回中国四国産科婦人科学会総会. 米子市, 2019. 9
5. 巨大子宮筋腫の術後に posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) を発症した 1 例  
高橋弘幸, 野中道子, 上垣 崇, 竹中泰子, 木内 誠  
第 72 回中国四国産科婦人科学会総会. 米子市, 2019. 9
6. 子宮形態異常の妊娠転帰ならびに妊娠部位の左右差に関する検討  
上垣 崇, 竹中 泰子  
第 64 回日本生殖医学会学術講演会. 神戸市, 2019. 11

### <学会地方会・研究会発表等>

1. 縦隔原発大細胞型 B 細胞リンパ腫合併妊娠の 1 例  
竹中泰子, 上垣 崇, 野中道子, 木内 誠, 高橋弘幸  
平成 31 年度鳥取産科婦人科学会・鳥取県産婦人科医会学術総会. 米子市, 2019. 5
2. Lynch 症候群疑いによる遺伝カウンセリング  
高橋弘幸, 野中道子, 上垣 崇, 竹中泰子, 木内 誠  
平成 31 年度鳥取産科婦人科学会・鳥取県産婦人科医会学術総会. 米子市, 2019. 5
3. 当院で経験した OHVIRA 症候群の一例  
上垣 崇, 竹中泰子, 野中道子, 木内 誠, 高橋弘幸

平成 31 年度鳥取産科婦人科学会・鳥取県産婦人科医会学術総会. 米子市, 2019. 5

<講演会・講義・研修会>

1. 産科ショック（出血時の対応）

高橋弘幸

山口県看護協会 2018 年度山口県新人助産師研修会. 防府市, 2019. 1

2. 不妊症：一般不妊治療から生殖補助医療について

上垣 崇

鳥取県立中央病院 公開市民講座. 鳥取市, 2019. 7

3. 遺伝カウンセリングとがんゲノム

高橋弘幸

第 3 回鳥取県東部産婦人科医会集談会. 鳥取市, 2019. 9

4. 婦人科腫瘍とがんゲノム

野中道子

第 3 回鳥取県東部産婦人科医会集談会. 鳥取市, 2019. 9

5. 産科ショック（出血時の対応）

高橋弘幸

山口県看護協会 2019 年度山口県新人助産師研修会. 防府市, 2019. 10

<学会・研究会の主催, 座長>

1. 座長

高橋弘幸

第 37 回鳥取県母性衛生学会学術集会. 鳥取市, 2019. 1

2. 座長

高橋弘幸

第 1 回鳥取県東部産婦人科医会集談会, 鳥取市. 2019. 2

3. 平成 31 年度鳥取産科婦人科学会・鳥取県産婦人科医会学術総会

高橋弘幸

米子市, 2019. 5

4. 座長

高橋弘幸

鳥取県産婦人科臨床懇話会. 鳥取市, 2019. 10

5. 座長

高橋弘幸

第 4 回鳥取県東部産婦人科医会集談会. 鳥取市, 2019. 12

## 小児科

<学会・研究会発表>

1. 過去 10 年間に当院小児科で経験した腸回転異常症のまとめ

鈴木将浩, 木村昂一郎, 小林由貴子, 太田健人, 堂本友恒, 戸川雅美, 田村明子, 宇都宮靖,  
常井幹生, 星加忠孝

第 57 回山陰小児外科内科・周産期研究会. 米子市, 2019. 2

2. 可逆性脳血管攣縮症候群の一例  
木村昂一郎  
第 518 回鳥取県東部小児科医会例会. 鳥取市, 2019. 2
3. 腸回転異常症のまとめと診断の実際  
鈴木将浩  
第 518 回鳥取県東部小児科医会例会. 鳥取市, 2019. 2
4. 当院での塩酸リトドリン投与母体時における臍帯動脈血血糖の検討  
鈴木将浩, 堂本友恒, 太田健人, 木村昂一郎, 小林裕貴子, 戸川雅美, 大谷英之, 田村明子,  
宇都宮靖, 常井幹生, 星加忠孝  
第 102 回山陰小児科学会. 米子市, 2019. 3
5. メトクロプラミドによるアナフィラキシーを認めた先天性副腎皮質過形成症の 1 例  
倉信裕樹, 川場康郎, 土江宏和, 岡田隆好  
第 33 回小児救急医学会学術集会. 大宮市, 2019. 6
6. 電子カルテ内在型 NIW 部門システムの導入  
堂本友恒  
第 15 回 SS ユーザー会. 大阪市, 2019. 8
7. 小児アナフィラキシー & PEARS (小児緊急時評価認識安定化)  
倉信裕樹  
第 524 回鳥取県東部小児科医会例会. 鳥取市, 2019. 9
8. 脳梗塞による新生児発作の一例  
土江宏和, 藤森大輔, 坂口真由美, 倉信浩樹, 堂本友恒, 戸川正美, 田村明子, 宇都宮靖,  
常井幹生  
日本小児科学会鳥取地方会第 73 回例会. 米子市, 2019. 7
9. 過去 10 年間に当院で経験した侵襲性肺炎球菌感染症の抗菌薬感受性について  
藤森大輔, 土江宏和, 坂口真由美, 倉信浩樹, 堂本友恒, 戸川正美, 田村明子, 宇都宮靖,  
常井幹生  
第 103 回山陰小児科学会. 米子市, 2019. 9
10. 初発症状が嘔吐のみで診断に至った遅発性横隔膜ヘルニアの一例  
坂口真弓, 倉信裕樹, 藤森大輔, 土江宏和, 堂本友恒, 戸川雅美, 田村明子, 宇都宮靖,  
常井幹生, 黒田靖浩, 森田圭一  
第 71 回中国四国小児科学会. 出雲市, 2019. 11

## 皮膚科

### <学会発表>

1. イミキモドが有効であった外陰部乳房外 Paget 病の 1 例  
池田彩乃, 足立孝司

- 日本皮膚科学会第 136 回山陰・第 32 回島根合同開催地方会. 出雲市, 2019. 3
2. 芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍 (Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplasm : BPDCN の 1 例)  
池田彩乃, 足立孝司, 葉狩良孝, 小村裕美  
日本皮膚科学会第 137 回山陰・第 33 回島根合同開催地方会. 米子市, 2019. 8
  3. Polypoid 型基底細胞癌の臨床的特徴  
足立孝司, 吉田雄一, 後藤寛之, 野間久史, 山元 修  
第 71 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 高知市, 2019. 9

## 救急科

### <学会発表等>

1. 院の災害対応計画－オール・ハザード・アプローチの災害レベルと対応モード－  
岡田 稔  
第 24 回 日本災害医学会. 米子市, 2019. 5
2. 鳥取県の災害訓練－東日本大震災後から 8 年間の変遷－  
岡田 稔  
第 24 回 日本災害医学会. 米子市, 2019. 5
3. 幼児マムシ咬傷の抗毒素血清投与  
岡田 稔  
第 47 回 日本救急医学会. 東京都, 2019. 10

### <講演>

1. 心肺停止 CPA  
岡田 稔  
鳥取県警察学校講義. 鳥取市, 2019. 1

## 病理診断科・臨床検査科

### <学会発表>

1. A case of anomalous systemic arterial supply to the basal segments of the lung  
徳安祐輔, 小田晋輔, 中本 周  
第 109 回日本病理学会総会. 東京都, 2019. 5
2. 十二指腸乳頭病変  
徳安祐輔, 小田晋輔, 中本 周  
第 68 回山陰病理集談会. 米子市, 2019. 7
3. 子宮内膜細胞診および子宮頸部細胞診を契機として発見された肺腺癌の一例  
徳安祐輔, 小田晋輔, 中本 周  
第 58 回日本臨床細胞学会. 岡山市, 2019. 11
4. 外陰部腫瘍  
徳安祐輔, 小田晋輔, 中本 周

第 69 回山陰病理集談会. 松江市, 2019. 12

<座長>

1. Section 1

小田晋輔

第 68 回山陰病理集談会. 米子市, 2019. 7

## 歯科口腔外科

<学会・研究会発表>

1. 多発性骨髄腫患者の抜歯後治癒不全の経過観察中に同部に重複癌を認めた一例  
木谷憲典, 渡辺 総, 大淵幸与  
第 37 回日本口腔腫瘍学会. 長崎市, 2019. 1
2. 交通事故による下顎骨骨折に認めた海綿静脈洞瘻の一例  
木谷憲典, 大淵幸与  
第 64 回日本口腔外科学会総会. 札幌市, 2019. 10
3. 急激に増大する舌の腺扁平上皮癌に対してオートガイ下皮弁にて再建した一例  
木谷憲典, 大淵幸与, 山野 栞  
山陰口腔疾患研究会. 米子市, 2019. 12
4. 鳥取県立中央病院歯科口腔外科における周術期口腔機能管理の現状  
大淵幸与, 木谷憲典  
鳥取県歯科医学会. 鳥取市, 2019. 12

<講義・講演・研修会>

1. 急性期病院における歯科衛生士の役割  
岸本真紀  
一般社団法人鳥取県歯科医師会 訪問歯科衛生士養成研修会. 鳥取市, 2019. 1
2. 講話とブラッシング指導  
渡辺 総, 谷口美帆, 金尾朋子, 山野 栞  
6 歳臼歯保護事業 千代保育所. 鳥取市, 2019. 1
3. 講義  
木谷憲典  
鳥取県立鳥取看護専門学校. 1.5 時間 x 2 回 鳥取市, 2019. 1
4. 講義  
木谷憲典, 大淵幸与  
鳥取県立歯科衛生専門学校. 1.5 時間 x 20 回 鳥取市, 2019. 5 ~ 11
5. 養護学校ブラッシング指導  
口腔外科外来スタッフ全員  
鳥取県立鳥取養護学校. 鳥取市, 2019. 6
6. 講義 在宅看護援助論 I 「在宅における口腔ケア」

岸本真紀

鳥取県立鳥取看護専門学校. 鳥取市, 2019. 11, 90 分× 1 回

7. 座長

木谷憲典

第 3 回鳥取県東部顎骨壊死予防ネットワーク講演会. 鳥取市, 2019. 12

## 看護局

### <学会・研究会発表>

1. がん治療後に妊娠・出産を体験した 20 代女性のライフストーリー  
～夫婦による体験の語りから支援を考える～

橋本万住子, 池田 牧

第 64 回日本生殖医学会 学術講演会. 神戸市, 2019. 11

### <講演会・研修会>

1. 母乳育児支援に対する意識調査  
－医療者と褥婦へのアンケート結果から－  
伊井野彩子, 波多野暁子, 岡田奈津子  
第 37 回鳥取県母性衛生学会 学術集会. 鳥取市, 2019. 1
2. 直接授乳継続に向けた支援の検討  
－吸着困難を訴える母親への関わりを振り返って－  
山内柚佳  
第 37 回鳥取県母性衛生学会 学術集会. 鳥取市, 2019. 1
3. 地方における遠隔モニタリング導入の問題点～ 3G 回線エリア外での対応～  
菅 令子  
第 11 回植込みデバイス関連冬季大会. 横浜市, 2019. 2
4. 経口摂取増加を目指す患児と母親に対する関わり  
足立知咲  
第 13 回鳥取県看護研究学会, 鳥取市, 2019. 6
5. コミュニケーションに苦慮した終末期患者の思いや希望に寄り添った関わりを振り返って  
北村隆晃  
第 13 鳥取県看護研究学会, 鳥取市, 2019. 6
6. 新病院での採血室と中央処置室業務と今後の課題  
下田好子  
第 16 回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会. 米子市, 2019. 9
7. 外来における心房細動患者に対する関わり～植込み型心臓デバイスを通して～  
菅 令子  
第 66 回日本不整脈心電学会学術大会 シンポジウム. 東京都, 2019. 7
8. デバイス治療における看護師の役割～看護師だからこそできること～  
菅 令子



第 66 回日本不整脈心電学会学術大会 women in EP シンポジウム. 東京都, 2019. 7

9. 造血幹細胞移植におけるアピアランスケアについて  
川本成美  
第 11 回山陰血液疾患看護研究会. 米子市, 2019. 10
10. 術後セルフケア能力の回復を目指した看護援助  
松岡美怜  
第 12 回鳥取県実践が生きる看護診断研究会. 鳥取県, 2019. 11

<講演, 講義, 研修会>

1. いのちを考えよう！  
橋本万住子  
生涯を通じる健康授業 青翔開智中学校 1 年. 鳥取市, 2019. 1
2. いのちを考えよう！  
橋本万住子  
鳥取市立気高中学校 1 年 性教育講演会. 鳥取市, 2019. 1
3. 不妊症の基礎知識と最近の動向  
橋本万住子  
倉吉総合看護専門学校第 1 看護学科 母性看護学概論 講義. 倉吉市, 2019. 1
4. 女性のライフサイクル各期の特徴  
橋本万住子  
倉吉総合看護専門学校助産学科 講義. 倉吉市, 2019. 1
5. デバイスナースの役割と今後の展望  
菅 令子  
沖縄中部徳洲会病院循環器勉強会. 沖縄県, 2019. 2
6. 助産師出向支援事業に参加して  
波多野暁子  
平成 30 年度「鳥取県助産師出向支援事業」報告会. 鳥取市, 2019. 3
7. 助産師出向を終えて  
福田桃未  
平成 30 年度「鳥取県助産師出向支援事業」報告会. 鳥取市, 2019. 3
8. 「仕事・結婚・妊娠」学生のためのライフプラン講座  
橋本万住子  
鳥取看護専門学校 特別講義. 鳥取市, 2019. 3
9. 知ってほしい, 妊娠適齢期！  
橋本万住子  
大山乳業農業協同組合 平成 30 年度健康研修会. 鳥取県琴浦町, 2019. 3
10. 人材管理 I  
松岡真弓  
認定看護管理者ファーストレベル教育課程研修. 鳥取市, 2019. 5
11. 放射線治療中の患者指導について

橋本瑞樹

第 25 回山陰放射線治療技術研究会. 米子市, 2019. 6

12. わたしたちのからだ

橋本万住子

心や性に関する専門家派遣事業 鳥取県立白兔養護学校中学部. 鳥取市, 2019. 6

13. ステキなおトナになるために

橋本万住子

性に関する指導講演会 鳥取緑風高等学校定時制課程昼間部. 鳥取市, 2019. 6

14. ステキなおトナになるために

橋本万住子

性に関する指導講演会 鳥取緑風高等学校定時制課程夜間部. 鳥取市, 2019. 6

15. 知っておこう！今どきの思春期と性教育

橋本万住子

鳥取県高等学校「性に関する指導」研究会 教員対象. 倉吉市, 2019. 6

16. 植込み型心臓デバイス認定士指定講習会

菅 令子

植込み型心臓デバイス認定士制度指定講習会. 東京都, 2019. 7

17. 母性看護援助論 I 不妊治療を受けている対象への看護, 性感染症と不妊について

橋本万住子

鳥取県立鳥取看護専門学校 2 年 講義. 鳥取市, 2019. 7

18. 心配だからこそ知ってほしい妊娠適齢期！～不妊の現状から～

橋本万住子

令和元年度鳥取県立中央病院第 1 回市民講座. 鳥取市, 2019. 7

19. 「生命誕生」～未来に向けて～

橋本万住子

性に関する教育講演会 八頭郡八頭町立八頭中学校. 鳥取県八頭郡, 2019. 7

20. 思春期のころとからだ

橋本万住子

いのちの教育 鳥取市立気高中学校 2 年. 鳥取市, 2019. 7

21. 母性看護学概論 不妊症の基礎知識と最近の動向

橋本万住子

倉吉総合看護専門学校第 2 看護学科 2 年 講義. 倉吉市, 2019. 7

22. 看護職からみた患者心理と家族とのコミュニケーション

伊井野彩子

2019 年度 日臨技鳥取県臨床検査技師会主催 ベッドサイド実践講習会. 鳥取市, 2019. 8

23. 出生前診断きちんと知っていますか？

橋本万住子

地域公開講座 平成 30 年度不妊勉強会・相談会. 鳥取市, 2019. 9

24. 望ましい男女交際について

橋本万住子

- 性に関する指導講演会 鳥取県立米子東高等学校 1 年. 米子市, 2019. 10
25. いのちの大切さ, こころとからだの話  
橋本万住子  
生涯を通じる健康授業 青翔開智中学校 3 年. 鳥取市, 2019. 10
26. スマートテクノロジーが変える植込み型心臓デバイス患者の管理  
～新たな遠隔モニタリングの実現に向けて～  
菅 令子  
CGT2019 ランチョンセミナー. 神戸市, 2019. 10
26. 多職種連携 高齢者総合機能評価 (CGA) を活用したチーム医療への取り組み  
久野翔大  
鳥取県東部医師会学術講演会. 鳥取市, 2019. 11
27. 1 年: いのちの大切さ, こころとからだの話 3 年: 思春期の性を考えよう!  
橋本万住子  
令和元年度看護の出前授業 鳥取市立気高中学校 1 年・3 年. 鳥取市, 2019. 11
27. 望ましい男女交際について  
橋本万住子  
性に関する指導講演会 鳥取城北高校 3 年. 鳥取市, 2019. 11
28. わたしたちのからだ  
橋本万住子  
心や性に関する専門家派遣事業. 鳥取県立白兎養護学校小学部. 鳥取市, 2019. 11
29. 性感染症ってなあに?  
橋本万住子  
令和元年度看護の出前授業保健体育 青翔開智中学校 3 年. 鳥取市, 2019. 11
30. 望ましい男女交際について  
橋本万住子  
心や性に関する専門家派遣事業. 鳥取県立白兎養護学校中学部. 鳥取市, 2019. 11
31. いのちの大切さ, からだの話  
橋本万住子  
心や性に関する専門家派遣事業. 鳥取県立盲学校小学部・高校. 鳥取市, 2019. 11
32. 思春期の性ってなんだろう?  
橋本万住子  
令和元年度看護の出前授業保健体育 青翔開智高等学校 2 年. 鳥取市, 2019. 12
33. 人とのかかわり方  
橋本万住子  
心や性に関する専門家派遣事業. 鳥取県立白兎養護学校高等部 2 年, 2019. 12
34. ライフプランセミナー「キャリアプランを考えよう！」  
橋本万住子  
鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室. 鳥取市, 2019. 12
35. 認知症ケア  
岩成克浩

新しいなば幸朋苑研修会. 鳥取市, 2019. 12

36. 当院における母乳育児支援

白岩朱美

第 10 回鳥取県立中央病院糖尿病療養指導講習会. 鳥取市, 2019. 12

## 薬剤部

### <学会・研究会発表>

1. 薬剤師の救命技術習得に関する取り組み ～医療技術局 BLS 委員会の活動～  
中嶋康陽, 渡邊俊介, 吉村卓子, 高野 岳  
第 57 回全国自治体病院学会. 徳島市, 2019. 10
2. 当院における脂肪乳剤の投与速度と検査値変動に関する調査  
秋山恵里, 神戸香織, 吉村卓子  
鳥取県医療薬学セミナー. 米子市, 2019. 12

### <講演会・講義・研修会>

1. 薬理学  
大江和子, 義仲真理  
鳥取県立鳥取看護専門学校講義. 鳥取市, 2019. 5-9
2. 薬剤師の仕事について  
渡邊俊介  
鳥取西中セミナー. 鳥取市, 2019. 5
3. 薬剤師の役割 (摂食・栄養に影響を及ぼす薬剤など)  
神戸香織  
NST 臨床実地研修短期集中研修会. 鳥取市, 2019. 9
4. 薬務法  
吉村卓子  
鳥取県立鳥取看護専門学校講義. 鳥取市, 2019. 11

## 中央放射線室

### <学会・研究会発表>

1. 腹部 3 D-CTA における Low kV の検討  
前田哲生  
第 3 回東部地区研修会. 鳥取市, 2019. 3
2. 新型 3 次元水ファントムにおけるホルダーシステム精度の検証  
砂川知広, 木原康行, 木村由紀子, 小谷 怜  
第 75 回日本放射線技術学会総合学術大会. 横浜市, 2019. 4
3. 新型 3 次元走査式水ファントムにおける水面検知センサー精度の検証  
木原康行, 砂川知広, 木村由紀子, 小谷 怜

- 第 75 回日本放射線技術学会総合学術大会. 横浜市, 2019. 4
4. 造影 CT 検査でとらえた心筋梗塞の症例  
森谷恵理  
Tottori BIRT meeting. 鳥取市, 2019. 5
  5. 新病院における放射線治療環境の整備 AriaOIS とケアパスの運用について  
砂川知広  
山陰放射線治療技術研究会. 米子市, 2019. 6
  6. 新装置導入 (True Beam)  
小谷 怜  
山陰放射線治療技術研究会. 米子市, 2019. 6
  7. 肺がん術前造影 CT 検査の紹介  
上山忠政  
肺がん検診部会研修会. 倉吉市, 2019. 8
  8. 電位計一体型 3 次元水ファントムがリニアックから受けるノイズの影響  
砂川知広  
第 15 回中四国放射線医療技術フォーラム. 高知市, 2019. 9
  9. アブレーション治療前心臓 CT 検査における造影剤注入方法の検討  
上山忠政  
第 35 回日本診療放射線技師学術大会. さいたま市, 2019. 9
  10. 機械学習による IVIM イメージング画像診断  
小山 亮, 澤 和宏, 門村恵利, 上山忠政, 壹岐 勝  
第 35 回日本診療放射線技師学術大会. さいたま市, 2019. 9
  11. タスク管理ソフトによる放射線治療業務軽減化の経験  
砂川知広  
第 58 回全国自治体病院学会. 徳島市, 2019. 10
  12. 心外膜脂肪の蓄積部位と心疾患の関連性についての検討  
前田哲生, 上山忠政, 望月純二, 田中康隆, 小山 亮, 壹岐 勝  
第 47 回日本放射線技術学会秋季学術大会. 大阪市, 2019. 10
  13. BeamScan の 3 つの特徴  
砂川知広  
第 32 回日本放射線腫瘍学会. 名古屋市, 2019. 11
  14. MRI-perfusion にて検出されなかったてんかんによる灌流異常を捉えた脳血流シンチグラフィ  
の一例  
福本 晃, 竹内裕彦, 澤 和宏, 壹岐 勝  
第 59 回日本核医学会・第 59 回日本核医学技術学会. 松山市, 2019. 11
  15. 左房周囲脂肪における持続性心房細動との関連性の検討  
田中康隆, 上山忠政, 前田哲生, 小山 亮, 壹岐 勝  
第 8 回 Tottori BIRT meeting. 鳥取市, 2019. 1
  16. 当院における PCI ワーキングアングルの実情  
高橋奈菜, 木村晃史, 秋山裕之, 壹岐 勝

鳥取県放射線技師学術大会. 倉吉市, 2019. 12

17. 10cm ペンシル型線量計による kV-CBCT 被ばく線量測定

小谷 怜

第 26 回山陰治療技術研究会. 松江市, 2019. 12

<講演・講義・研修会>

18. 当院の心筋血流検査の取り組みと今後の展望

澤 和宏

第 9 回伊予 RI カンファレンス特別講演. 松山市, 2019. 2

19. 社会人大学院を修了して思うこと. そして夢・・・

澤 和宏

鳥取県診療放射線技師会第 68 回通常総会特別講演. 倉吉市, 2019. 5

20. 新病院の核医学部門の紹介と PET-CT 導入について

川上美穂

SIEMENS NM&MI ユーザーミーティング. 米子市, 2019. 6

21. 知っておきたい高精度放射線治療

小谷 怜

市民公開講座. 鳥取市, 2019. 9

## 中央検査室

<学会発表>

1. 当院における超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) と病理技師の関わり

前田和俊, 岡田早苗, 松ノ谷尚子, 川上智史, 加藤千春, 谷上和弥, 福田水貴, 中本 周, 徳安祐輔, 小田晋輔

第 68 回日本医学検査学会. 下関市, 2019. 5.

2. 日臨技 e ラーニングシステムを利用した学修方法

澤田健一郎, 岡田早苗

第 68 回日本医学検査学会. 下関市, 2019. 5.

3. 日臨技 e ラーニングシステムの全国的な利用状況に関する報告

澤田健一郎, 岡田早苗

第 58 回全国自治体病院学会. 徳島市, 2019. 10

4. 体腔液における腫瘍細胞割合濃縮の試み

前田和俊, 中本 周, 岡田早苗, 松ノ谷尚子, 川上智史, 加藤千春, 谷上和弥, 福田水貴, 徳安祐輔, 小田晋輔

第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会. 岡山市, 2019. 11

<学会地方会・研究会発表等>

1. 一般演題 コメディカル 2 座長

澤田健一郎

- 第 26 回日本心血管インターベンション治療学会中国・四国地方会. 岡山市, 2019. 9
2. 日臨技 e ラーニングシステムの全国的な利用状況に関する報告  
澤田健一郎, 岡田早苗  
第 45 回鳥取県医学検査学会. 鳥取市, 2019. 10
  3. 新病院移設時, 中央検査室の 5 日間  
前田麻衣子, 岡田早苗  
第 45 回鳥取県医学検査学会. 鳥取市, 2019. 10
  4. 当院における肺生検検体の効果的運用への取り組み  
加藤千春, 岡田早苗, 松ノ谷尚子, 前田和俊, 川上智史, 谷上和弥, 福田水貴, 田脇夏未  
第 45 回鳥取県医学検査学会. 鳥取市, 2019. 10
  5. 経皮的動脈弁バルーン形成術における検査技師の役割  
澤田健一郎  
第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
  6. Steal 症候群による手指潰瘍治療において SPP 測定が有用であった一例  
宮脇可奈子, 澤田健一郎  
第 52 回日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会. 松江市, 2019. 11
  7. 血管免疫芽球性 T 細胞性リンパ腫 5 例の細胞像  
川上智史, 前田和俊, 松ノ谷尚子, 岡田早苗, 小田晋輔, 徳安祐輔, 中本 周  
第 34 回鳥取県臨床細胞学会総会ならびに学術集会. 倉吉市, 2019. 11
  8. 尿沈渣検査における臨床推論術 座長  
岡田早苗  
中四国支部臨床一般部門研修会. 米子市, 2019. 9

#### <講演会・講義・研修会>

1. 医療法改正とその取り組み  
岡田早苗  
鳥取県臨床技師会第 3 回生物化学分析部門研修会. 米子市, 2019. 10
2. 講師  
谷口千里  
鳥取県立歯科衛生専門学校講義. 鳥取市, 2018. 4-2017. 10
3. 講師  
田中さゆり  
鳥取県立看護専門学校講義. 鳥取市, 2018. 10-2019. 2

## 臨床工学室

#### <学会発表>

1. リードレスペースメーカー植え込み時の臨床工学技士の役割  
太田 裕  
第 11 回植え込みデバイス関連冬季大会. 東京都, 2019. 2

2. 臨床工学士による人工心肺術野清潔野回線セッティングについて  
山本和毅  
第 29 回日本体外循環技術医学会中国地方会大会. 出雲市, 2019. 6
3. 臨床工学士による人工心肺術野清潔野回線セッティングについて  
山本和毅  
第 9 回中四国臨床工学技士会. 松江市, 2019. 9
4. 臨床工学技士による清潔介助がカテーテルアブレーション件数に及ぼす影響  
小谷友喜  
第 9 回中四国臨床工学士会. 松江市, 2019. 9
5. 鳥取県 Y・ボード担当が思うこれからの臨床工学技士とは？  
小谷友喜  
第 9 回中四国臨床工学技士会. 松江市, 2019. 9

#### <講演・講義・研修会>

1. AT 症例で HD Grid が有効だった 2 症例  
太田 裕  
Ensite Operarion Meeting in 中国. 岡山市, 2019. 11

#### <学会・研究会の主催, 座長>

1. 座長  
半田雅恵  
鳥取県東中部敗血症研究会. 鳥取市, 2019. 9
2. 第 8 回循環器セミナー特別講演Ⅱ 座長  
太田 裕  
鳥取県臨床工学技士会. 米子市, 2019. 11

## リハビリテーション室

#### <学会発表>

1. 下部尿路機能障害の回復と ADL の関連性について  
北村智之, 村岡邦康, 川本文弥, 磯山忠広, 西川結梨, 田中美佐子, 磯江真美, 下山英津子  
第 26 回 日本排尿機能学会. 東京都, 2019. 9
2. 膝関節前十字靭帯損傷患者における胸椎可動性の特徴について  
川淵敬太  
第 7 回日本運動器理学療法学会. 岡山市, 2019. 10
3. 当院における転倒・転落対策の現状と取り組みについて —予防ラウンドの効果—  
西本亮太  
第 14 回医療の質・安全学会学術集会. 京都市, 2019. 11

#### <講演会・講義・研修会>



1. 終末期乳がん患者の自宅退院に向けて ―ご家族の協力を得て実現出来た症例―  
尾崎麻衣子  
第 24 回鳥取緩和ケア研究会. 鳥取市, 2019. 3
2. めまい・バランス障害に対する理学療法 世話役  
川淵敬太  
第 475 回鳥取県東部医師会臨床懇話会. 鳥取市, 2019. 7
3. エコー解剖で紐解く理学療法実践 肩甲帯編  
川淵敬太  
まなびや勉強会. 鳥取市, 2019. 10
4. 世話役  
川淵敬太  
DNM 体験会. 鳥取市, 2019. 12
5. 世話役  
川淵敬太, 山根健太, 井上響平  
入谷式足底板鳥取支部研修会. 鳥取市, 2019. 12

## 栄養管理室

### <講演会・講義・研修会>

1. 栄養学Ⅱ 食事療法  
横野恵美子  
鳥取県立鳥取看護専門学校. 鳥取市, 2019. 5 ～ 15 時間
2. 栄養学Ⅰ  
岡本英津子  
鳥取県立鳥取看護専門学校. 鳥取市, 2019. 10 ～ 16 時間
3. 栄養学Ⅰ  
岸本和恵  
鳥取県立鳥取看護専門学校. 2019. 10 ～ 14 時間
4. 栄養薬剤, 栄養剤, 食品の選択  
岸本和恵  
第 10 回 NST 短期集中研修会 鳥取赤十字病院, 鳥取市, 2019. 9

## 感染防止対策室

### <講演・講義・研修会>

1. 外来における院内感染対策 ～血液・体液曝露対策  
朽本浩紀  
鳥取県保険医協会 医療安全管理研修会. 鳥取市, 2019. 3
2. 感染防止対策 ～誰が何をするのですか～  
朽本浩紀

- 令和元年度介護専門職研修会（西部）. 米子市, 2019. 8
3. 感染予防  
 朽本浩紀  
 令和元年度看護職員再就業支援研修会. 鳥取市, 2019. 9
4. 医療機関における最新の感染症対策  
 朽本浩紀  
 令和元年度実習指導者養成講習. 鳥取市, 2019. 7
5. 感染防止対策 ～誰が何をするのですか～  
 朽本浩紀  
 令和元年度介護専門職研修会（東部）. 鳥取市, 2019. 11
6. 環境整備 KYT  
 朽本浩紀  
 令和元年度鳥取県院内感染対策講習会. 米子市, 2019. 11

## がん相談支援センター

### <学会・研究会発表>

1. 幼い子どもをもつ終末期がん患者を支える  
 池田 牧  
 第 24 回鳥取緩和ケア研究会. 鳥取市, 2019. 3
2. 配偶者の療養の意思決定への参加が自身の療養の意思決定に影響を及ぼした高齢夫婦との関わり  
 藤松義人  
 第 38 回日本心理臨床学会自主企画シンポジウム. 横浜市, 2019. 6
3. がん治療後に妊娠・出産を体験した 20 代女性のライフストーリー  
 ～夫婦による体験の語りから支援を考える～  
 橋本万住子, 池田 牧  
 第 65 回日本生殖医学会学術講演会・総会. 神戸市, 2019. 11
4. 第 25 回鳥取緩和ケア研究会座長  
 藤松義人  
 第 25 回鳥取緩和ケア研究会. 鳥取市, 2019. 12

### <講演・講義・研修会>

1. 施設で取り組むがん患者等への支援  
 藤松義人  
 2018 年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 1
2. エンド・オブ・ライフ・ケア ―事例を通して考える―  
 濱野由紀子  
 ウェルフェア北園渡辺病院院内教育研修. 鳥取市, 2019. 2
3. 知ってください, 中央病院の緩和ケア  
 藤松義人

第 29 回中央病院緩和医療研修会. 鳥取市, 2019. 5

4. 終末期看護論  
池田 牧  
鳥取看護大学, 倉吉市. 2019. 5
5. コミュニケーション, グループワーク  
濱野由紀子  
鳥取市立病院 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム. 鳥取市, 2019. 7
6. ニューマン理論に導かれた仲間との対話をもとに自己のケアのありようを認識し看護実践を進化させたプロセス  
池田 牧  
がん看護地域公開講座. 鳥取市, 2019. 8
7. エンド・オブ・ライフ・ケア  
濱野由紀子  
特別養護老人ホーム いこいの杜職員研修会. 鳥取市, 2019. 8
8. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護  
池田 牧  
鳥取県看護協会 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム. 鳥取市, 2019. 9
9. エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮  
濱野由紀子  
鳥取県看護協会 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム. 鳥取市, 2019. 9
10. 心理職スタンダードコースについて  
藤松義人  
2019 年日本サイコオンコロジー学会主催心理職スタンダードコース. 江戸川区, 2019. 10
11. コンサルテーション  
池田 牧  
鳥取看護大学, 倉吉市, 2019. 11
12. よりよい介護のために・・・がんと緩和ケアの基礎知識  
濱野由紀子  
ベター介護ライフ in 鳥取 2019. 鳥取市, 2019. 11
13. 成人看護援助論Ⅳ 緩和ケア  
濱野由紀子  
鳥取県立鳥取看護専門学校. 鳥取市, 2019. 12
14. 施設で取り組むがん患者等への支援  
藤松義人  
2019 年度鳥取県立中央病院緩和ケア研修会. 鳥取市, 2019. 12

# 臨 床 統 計

(2019年1月～12月)

## 消化器内科

	2017	2018	2019
大腸ポリープ切除術	659	624	671
胃，十二指腸ポリープ切除術	3	5	5
胃，十二指腸早期悪性腫瘍切除術	54	26	62
食道早期悪性腫瘍切除術	3	2	17
経皮的胃瘻造形術	58	65	44

## 呼吸器内科

	2017	2018	2019
気管支ファイバー	244	261	174
超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法	40	33	28

## 血液内科

	2017	2018	2019
骨髄採取	2		2
造血幹細胞移植	11	7	19
同種骨髄移植	4		7
同種末梢血幹細胞移植	3	2	3
※臍帯血移植		1	
自家末梢血幹細胞移植	4	4	9

※ 2018 より追加

## 心臓内科

	2017	2018	2019
心臓カテーテル検査	641	601	671
経皮的冠動脈形成術（症例数）	216	216	256
経皮的カテーテル心筋焼灼術	134	153	184
ペースメーカー（ICD，CRT，CRTD を含む）移植術，交換術	57	78	99
植込型除細動器移植術（ICD）	8	2	7
心室再同期療法（CRT，CRTD）	4	1	3
経皮的腎動脈形成術		2	
経皮的大動脈弁拡張術	7	7	2

## 脳神経内科

### 入院統計

	2017	2018	2019
新入院患者数（件）	405	393	406
平均在院日数（日）	19.1	22.06	22.7

### 疾患別内訳

	2017	2018	2019
脳血管障害	264	250	264
脳出血	2	1	2
虚血性脳血管障害	262	249	262
rtPA 使用件数	24	27	27
一過性脳虚血発作	9	19	15
てんかん	19	11 (14)	20
髄膜炎・脳炎	8	10	17
末梢神経障害	7	7 (13)	3
変性疾患	13	1	11

※ 2018 年の（ ）内の数字は延べ人数

### 脳卒中センター（急性期血管内治療延べ件数）

	2017	2018	2019
経皮的脳血栓回収術	16	17	15
経皮的脳血管形成術	5	1	0
経皮的頸動脈ステント留置術	12	3	13

## 放射線科

		2017	2018	2019
①放射線治療				
(1)原発	脳・脊髄	2		3
	頭頸部（甲状腺を含む）	4	4	3
	食道	3	3	4
	肺・気管・縦隔	13	15	24
	うち肺	13	15	24
	乳腺	21	17	33
	肝・胆・膵	1	2	2
	胃・小腸・結腸・直腸	3	2	4
	婦人科	1		
	泌尿器系	7	11	19
	うち前立腺	5	8	19
	造血器リンパ系	8	4	8

(1)原発	皮膚・骨・軟部			2	
	その他（悪性）				5
	良性			3	
(2)転移	脳転移		15	16	19
	骨転移		42	29	53
	その他		26	28	32
(3)特殊治療	ストロンチウム内用療法			1	1
	ゼヴァリン内用療法		6	5	4
	全身照射		1	2	6
	放射性ヨウ素内用療法（アブレーション治療）		11	4	5
	ラジウム治療		1	1	5
放射線治療合計			165	149	230
②IVR 血管造影（診断のみ）					
(1)肝			1	1	
(2)その他動脈			3	6	4
(3)その他静脈				1	1
血管造影合計			4	8	5
IVR					
(1)vascular	動注療法		11	11	5
	動脈塞栓術	動脈瘤	10	2	3
		内腸骨動脈	8	7	2
		血管奇形		1	
		出血	12	20	16
		血流改変		2	
		※エンドリーク	3	6	3
	TACE		44	38	13
	リザーバ留置術				
	PSE（部分的脾動脈塞栓術）			1	
	肝内門脈枝塞栓術（PTPE）		2		
	バルーン閉塞性逆行性静脈瘤塞栓術（BRTO）			1	
	静脈瘤塞栓術			2	
	血栓溶解療法		1		
	下大静脈フィルター留置術				
	血管内異物除去術		3	2	2
	中心静脈ポート埋め込み術（四肢）		7	9	6
中心静脈ポート埋め込み術（頭頸部その他）		2	1	1	
その他		1	2		
(2)non-vascular	ステント留置術	胆道	1		
	経皮経胆道ドレナージ（PTBD）		1		1
(3)CTガイド	CTガイド下肺生検		43	40	48
	CTガイド下生検（その他）		15	16	17
	CTガイド下マーキング		1		1

	CT ガイド下ドレナージ	16	5	11
	CT ガイド下治療（その他）	1	1	
IVR 合計		182	167	129
血管造影 & IVR 合計		186	175	134
③画像診断	CT	16,372	18,391	18,712
	MRI	4,095	4,910	5,213
	RI	874	877	802
画像診断件数合計		21,341	24,178	24,727

## 外科／消化器外科

15 歳以上	2017	2018	2019
デブリードマン 2. (100 ~ 3000 cm <sup>2</sup> )		1	
ヘルニア手術 1. 腹壁癒痕ヘルニア	7	1	3
ヘルニア手術 2. 半月状線・白線ヘルニア, 腹直筋離開	2	2	
ヘルニア手術 3. 臍ヘルニア		2	
ヘルニア手術 5. 鼠径ヘルニア	55	21	11
ヘルニア手術 6. 大腿ヘルニア	1	5	
ヘルニア手術 8. 骨盤部ヘルニア	2	3	
ヘルニア手術 9. 内ヘルニア		1	
リンパ節群郭清術 7. 後腹膜	1		
リンパ節生検	2		2
リンパ節摘出術 1. 長径 3cm 未満	6	5	4
リンパ節摘出術 2. 長径 3cm 以上	1	1	1
ロボ腹腔鏡下胃切除術 2. (悪性腫瘍手術)			4
胃局所切除術	2		
胃, 十二指腸憩室 (開腹)		1	1
胃切除術 - 1. 単純切除術	2		
胃切除術 - 2. 悪性腫瘍	13	10	5
胃全摘術 1. 単純全摘			
胃全摘術 2. 悪性腫瘍	14	4	5
胃腸吻合術 (ブラウン手術を含む)	2	2	
胃縫合術 (大網充填術又は被覆術含)		1	2
胃瘻造設術 (経皮的内視鏡下造設含)	2	3	4
回腸 (結腸) 導管造設術			5
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼 (~ 2cm 腹腔鏡)	2		
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼 (2cm ~ 腹腔鏡)			
肝切除術 (1 区域切除 (外側除) (1 歳上))	7	4	4
肝切除術 (2 区域切除) (1 歳以上)	4		3
肝切除術 (3 区域切除以上) (1 歳以上)			2
肝切除術 (亜区域切除) (1 歳以上)	1		1
肝切除術 (外側区域切除) (1 歳以上)			1



肝切除術（部分切除）（1歳以上）	4	2	7
肝縫合術	2	1	
肝門部胆管悪性腫瘍術 2. 血行再建無	4		
急性汎発性腹膜炎手術		11	11
胸腔鏡下（腹腔鏡下含）横隔膜縫合術	1		
胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）			1
胸腔鏡下試験開胸術	1		
胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	9		
胸腔鏡食道悪性腫瘍術（頸・胸・腹部）		5	12
経尿道的尿管ステント留置術		1	
経皮的針生検法	1		
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1		
結腸腫瘍、結腸憩室摘出術	10		
結腸切除術 1. 小範囲切除	2	6	4
結腸切除術 2. 結腸半側切除	23	3	6
結腸切除術 3. 全切除・亜全切除・悪		17	16
結腸瘻閉鎖術 2. 腸管切除を伴う		1	
限局性腹腔膿瘍手術 3. 虫垂周囲膿瘍	2		
限局性腹腔膿瘍手術 4. その他	1		
後腹膜悪性腫瘍手術		2	1
抗悪性剤静脈注入カテーテル挿入：3頭頸部	1		36
四肢切断術（大腿）			
子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 1. 開腹		1	
子宮付属器腫瘍摘出術（両側） 2. 腹腔	4		
試験開腹術			3
痔核手術 3. 結紮焼灼，血栓摘出術	2		1
痔瘻根治手術 1. 単純なもの	1		
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術		1	1
縦隔腫瘍，胸腺摘出術	1		
小腸腫瘍，小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）	7		
小腸切除術 1. 悪性腫瘍手術以外の切除術	3	10	9
小腸切除術 2. 悪性腫瘍手術		1	
食道悪 2. 胸・腹部の操作によるもの			
食道切除再建術 1. 頸部胸部腹部操作			
食道裂孔ヘルニア手術 1. 経胸又は経腹	2		
人工肛門修整術 2. その他のもの			1
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加	29		
人工肛門造設加算（直腸切除・切断術）		3	4
人工肛門造設加算（腹腔鏡下直腸切除術）		8	8
人工肛門造設術	1	12	11
人工肛門閉鎖術 1. 腸管切除を伴わないもの	10		1
人工肛門閉鎖術 2. 腸管切除を伴うもの		17	12

腎（尿管）悪性腫瘍手術		1	
腎摘出術		1	
創傷処理 4. 筋肉達しない（5cm 未満）	2		2
創傷処理 5. 筋肉達しない（5～10cm 未満）			1
大網腸間膜	2		
大網，腸間膜，後腹膜摘出 1. 腸切除無			1
胆管切開結石摘出（胆嚢摘出含む）	3	2	1
胆管切開結石摘出 2. 胆嚢摘出含まず	1		
胆嚢悪性腫瘍手術（肝切（亜区域以上））		4	
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢限・リンパ郭清）	1		1
胆嚢外瘻造設術	9		
胆嚢摘出術	4	7	2
中心静脈栄養用植込型弁設置 1. 四肢		2	1
中心静脈栄養用植込型弁設置 2. 頭頸部	2	3	16
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍伴う）	1	1	
虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍伴わない）	6	1	3
腸管癒着症手術		6	5
腸重積症整復術 2. 観血的なもの	4		2
腸切開術			1
腸吻合術	1	2	6
腸閉鎖症手術 1. 腸管切除を伴わない		1	
直腸異物除去術 1. 切除術			
直腸狭窄形成手術			
直腸周囲膿瘍切開術	4		
直腸腫瘍摘出術 1. 経肛門			1
直腸切除・切断術 1. 切除	8	4	5
直腸切除・切断術 2. 低位前方切除	1	1	3
直腸切除・切断術 3. 超低位前方切除	3	2	
直腸切除・切断術 4. 切断		2	1
直腸脱手術（経会陰（腸管切除を伴う））	1		
摘出術 1. 腸切除を伴わないもの	1		
内視鏡胆道結石除去 2. その他	1		
乳糜胸手術	1		
破裂腸管縫合術	1	1	1
皮膚切開術 1. 長径 10cm 未満	2		
皮膚皮下腫瘍摘出露出外 3cm 未満	1		
皮膚皮下腫瘍摘出露出外 3 - 6cm 未			
皮膚皮下腫瘍摘出露出外 6cm 以上		1	2
皮膚皮下腫瘍摘出露出部 2 - 4cm 未満		2	2
皮膚皮下腫瘍摘出露出部 2cm 未満			1
皮弁作成術 2（25～100 cm <sup>2</sup> ）			
副腎腫瘍摘出術 1. 皮質腫瘍			

腹腔・静脈シャントバルブ設置術	7	2	
腹腔鏡下ヘルニア手術（臍ヘルニア）		2	
腹腔鏡下ヘルニア手術 1. 腹壁癒着ヘルニア	3	9	6
腹腔鏡下ヘルニア手術 2. 大腿ヘルニア			3
腹腔鏡下胃, 十二指腸潰瘍穿孔縫合		6	2
腹腔鏡下胃局所切除術	2		
腹腔鏡下胃局所切除術（その他）	3		1
腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡併施）		3	1
腹腔鏡下胃切除術 1.（単純切除術）	19		1
腹腔鏡下胃切除術 2.（悪性腫瘍手術）		36	36
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）	7	4	9
腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）		1	
腹腔鏡下胃腸吻合術	7	6	3
腹腔鏡下肝切除術 1. 部分切除	2	12	10
腹腔鏡下肝切除術 2. 外側区域切除	2		4
腹腔鏡下肝切除術 3. 亜区域切除			1
腹腔鏡下肝切除術 4. 1 区域切除（外側）	2	1	1
腹腔鏡下肝切除術 5. 2 区域切除		1	1
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	30	1	1
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	3	34	38
腹腔鏡下結腸切除（小範囲, 結腸半側）	1	7	6
腹腔鏡下結腸切除（全切除、亜全切除）		1	
腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術	4		1
腹腔鏡下試験開腹術	3	5	4
腹腔鏡下試験切除術	3	4	9
腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術		1	
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍以外）		3	2
腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）			1
腹腔鏡下食道アカラシア形成手術	1		
腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術	3		1
腹腔鏡下人工肛門造設術	2	7	5
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	68	17	39
腹腔鏡下胆嚢摘出術	26	61	71
腹腔鏡下虫垂切除術（周囲膿瘍なし）	9	18	22
腹腔鏡下虫垂切除術（周囲膿瘍伴う）	8	1	1
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	10	6	5
腹腔鏡下直腸切除切断術（切除術）		4	5
腹腔鏡下直腸切除切断術（切断術）	14	2	3
腹腔鏡下直腸切除切断術（低位前方切除術）		11	15
腹腔鏡下直腸脱手術		2	3
腹腔鏡下尿膜管摘出術	2	1	1
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1	6	2

腹腔鏡下副腎摘出術	2		
腹腔鏡下噴門形成術	1		
腹腔鏡下脾摘出術		2	2
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	1		
腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除（脾温存）			
腹腔鏡結石摘出 1. 胆嚢摘出含む	1		
腹腔鏡結石摘出 2. 胆嚢摘出含まず	3		
腹腔鏡噴門側胃切除術（悪性腫瘍切）		3	2
腹腔鏡腓体尾部腫瘍切除術（脾同時切）	1		1
腹壁腫瘍摘出術 1. 形成術不必要	1		
腹壁瘻手術 1. 腹壁に局限するもの			1
噴門形成術	1		
噴門側胃切除術 1. 単純切除術	2		
噴門側胃切除術 2. 悪性腫瘍切除術	1		
肛門形成術 1. 肛門狭窄形成術		1	
肛門形成術 2. 直腸粘膜脱形成手術	1		
肛門周囲膿瘍切開術			1
肛門良性腫瘍・肛門ポリープ・肛門尖圭	1		
卵管全摘除術（両側）（開腹）	1		
裂肛又は肛門潰瘍根治手術	4	1	
脾摘出術		2	
膀胱悪性腫瘍術 6. 経尿道（電解質溶）		1	
膀胱腸瘻閉鎖術	1		
膀胱壁切除術			
腓全摘術			
腓体尾部腫瘍切除術 1. 腓尾口. 脾温存			
腓体尾部腫瘍切除術 2. リンパ節・神経			1
腓頭部腫瘍切除術 1. 腓頭十二指腸切	2	1	
腓頭部腫瘍切除術 2. リンパ節・神経		5	4
腓頭部腫瘍切除術 3. 周辺臓器	2		
合 計	576	504	587

## 小児外科

15歳未満	2017	2018	2019
ヘルニア手術 2. 半月状線・白線ヘルニア, 腹壁ヘルニア			1
ヘルニア手術 3. 臍ヘルニア		4	3
ヘルニア手術 5. 鼠径ヘルニア	10		
結腸切除術 1. 小範囲切除	1		
小腸切除術 1. 悪性腫瘍手術以外の切除			
性腺摘出術 2. 腹腔鏡			1
精巣摘出術			1

舌小帯形成手術			
腸回転異常症手術	1		
腸重積症整復術 2. 観血的なもの		1	
直腸腫瘍摘出術 1. 経肛門			1
停留精巣固定術	3		7
腹腔鏡下試験開腹術		1	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	27	31	25
腹腔鏡下虫垂切除術（周囲膿瘍なし）	5	8	2
腹腔鏡下虫垂切除術（周囲膿瘍伴う）	1	3	1
腹腔鏡下腸管癒着剥離術			
腹腔鏡下尿管摘出術			
肛門良性腫瘍・肛門ポリープ・肛門尖圭			
合 計	48	48	42

## 整形外科

	2017	2018	2019
創外固定器使用加算	10	1	
複雑骨折創外固定器使用加算			
※一時的創外固定骨折治療術		5	10
アキレス腱断裂手術	7	4	4
※アキレス腱縫合術		2	3
ガングリオン摘出術（足）			
デブリードマン 1.（100 cm <sup>2</sup> 未満）	3	8	1
デブリードマン 2.（100～3000 cm <sup>2</sup> ）	2	1	
深部デブリードマン加算	1		
デュピイトレン拘縮手術 1. 1指	1		
デュピイトレン拘縮手術 2. 2指から3指	1		
デュピイトレン拘縮手術 3. 4指以上	1		
化膿性・結核関節清掃術（膝）	1	2	
化膿性・結核関節清掃術（足）	1		
黄色靭帯骨化症手術			3
観血整復固定インプラント周囲（大腿）	1	3	3
観血的関節固定術（指）[刻み計算]	4	3	
観血的関節固定術（手）			1
観血的関節固定術（足）	1		
観血的関節授動術（指）[刻み]	1		
観血的関節授動術（膝）			
観血的関節授動術（肘）			
観血的関節制動術（肩）	1		
関節滑膜切除術（関節鏡下）（肩）	1		1
関節滑膜切除術（関節鏡下）（膝）	3	4	3

関節鏡下関節滑膜切除術（肘）	1	1	6
関節滑膜切除術（膝）			
関節滑膜切除術（手）			
膝蓋骨滑液嚢切除	1		
関節鏡検査（片側）	4	3	6
関節形成手術（手）	1		
関節形成手術（膝）		2	
関節鏡下関節鼠摘出手術（足）	1	2	1
関節鼠摘出手術（関節鏡下）（膝）		1	3
関節鼠摘出手術（関節鏡下）（肘）	3	1	6
関節鼠摘出手術（肘）		3	2
関節鏡下関節内骨折観血の手術（肩）	1		
関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）	1	2	
関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）	2	1	
関節鏡下肩関節唇形成術	1		
関節鏡下肩関節唇形成術（腱断裂伴ない）	4	1	7
関節脱臼観血の整復術（肩）			
関節脱臼観血の整復術（肩鎖）		1	1
関節脱臼観血の整復術（肘）	1		
関節脱臼観血の整復術（股）	1		
関節脱臼観血の整復術 2.（足）		2	
関節脱臼非観血の整復術 1.（股）	4	1	2
関節脱臼非観血の整復術（肘）	1		
関節脱臼非観血の整復術（足）			
関節内異物（挿）除去術（鏡下 / 膝）			1
関節内異物（挿入物）除去術（肘）			
関節内骨折観血の手術（肩）		1	
関節内骨折観血の手術（指）[刻み]		1	
関節内骨折観血の手術（手）	1	2	1
関節内骨折観血の手術（足）	6	3	1
関節内骨折観血の手術（膝）			6
関節内骨折観血の手術（肘）	6	3	4
偽関節手術（下腿）		2	
偽関節手術（指）		1	1
偽関節手術（上腕）		1	2
偽関節手術（大腿）	2		
偽関節手術（前腕）	1		1
筋膜切開術		1	2
筋肉内異物摘出術		1	1
手掌異物摘出術	1	1	4
血管移植術, バイパス移植術 2. 胸腔内		1	
関節鏡下肩腱板断裂手術（簡単）	5	7	12

股関節筋群解離術		1	
骨移植術 1. 自家骨移植	6	13	12
※骨移植術（軟骨移植術を含む）		8	1
骨腫瘍切除術（指）	1		
骨腫瘍切除術（大腿）		1	1
骨髓炎・骨結核手術（足その他）			
骨髓炎・骨結核手術（大腿）	1		
骨切り術（下腿）	9	6	11
骨切り術（指）	1		
骨切り術（前腕）			
骨切り術（足）	5	4	2
※骨切り術（その他）		1	1
骨折観血的手術（その他）	3	1	
骨折観血的手術（下腿）	40	31	27
骨折観血的手術（鎖骨）	6	5	11
骨折観血的手術（指）	4	6	9
骨折観血的手術（手舟状骨を除く）	5	5	10
骨折観血的手術（手舟状骨）	1		1
骨折観血的手術（上腕）	22	28	17
骨折観血的手術（前腕）	35	43	54
骨折観血的手術（足）	10	13	19
骨折観血的手術（大腿）	85	70	67
骨折観血の整復術（頬骨）			
骨折観血的手術（膝蓋骨）	7	5	6
骨折観血の手術（寛骨臼）	5	2	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術（下腿）	1		
骨折経皮的鋼線刺入固定術（指）	12	14	9
骨折経皮的鋼線刺入固定術（手）	1	2	1
骨折経皮的鋼線刺入固定術（上腕）	11		5
骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕）	5	3	2
骨折経皮的鋼線刺入固定術（足）	4		3
骨折非観血の整復術 1.（大腿）	1		
骨折非観血の整復術 2.（下腿）	1		
※骨折非観血の整復術 3.（手）		1	
骨穿孔術			4
骨搔爬術（大腿）	1		
骨搔爬術（足その他）		2	
※異物除去		1	1
骨内異物（挿入物）除去術（その他）	1	4	2
骨内異物（挿入物）除去術（下腿）	18	21	24
骨内異物（挿入物）除去術（肩甲骨）			
骨内異物（挿入物）除去術（鎖骨）	6	6	2

骨内異物（挿入物）除去術（指）	2	4	7
骨内異物（挿入物）除去術（手）	1	3	7
骨内異物（挿入物）除去術（上腕）	5	2	3
骨内異物（挿入物）除去術（前腕）	9	10	16
骨内異物（挿入物）除去術（足）	8	4	6
骨内異物（挿入物）除去術（大腿）	10	5	6
骨内異物（挿入物）除去術（膝蓋骨）	2	3	1
骨盤骨折観血的手術（腸骨翼骨折を除く）	3		
※骨部分切除術（大腿）		1	
骨部分切除術（足）			2
骨部分切除術（その他）			
四肢ギプスシーネ（上肢（片方））		1	1
四肢ギプスシーネ（下肢（片方））	1		
四肢ギプス包帯（手指及び手）	1		
※四肢関節離断（股）		1	
四肢切断術 指（手，足）[刻み計算]	4	5	5
四肢切断術（下腿）	6	12	3
四肢切断術（大腿）	3	8	10
四肢切断術（前腕）		1	
※四肢切断術		1	
四肢軟部腫瘍摘出術 1.（下腿）			
四肢軟部腫瘍摘出術 1.（肩）	1		
四肢軟部腫瘍摘出術 2.（手）			
四肢軟部腫瘍摘出術 2.（足）			
指伸筋腱脱臼観血的整復術	1	1	
手根管開放手術	4	14	22
手根管開放手術（関節鏡下）		1	9
神経移行術	3	2	6
神経剥離術（その他）	3	5	9
人工関節再置換（股）	4	5	4
人工関節再置換（膝）	2	4	3
人工関節置換術（股）	24	27	33
人工関節置換術（膝）	68	63	53
人工関節置換術（肩）		5	2
人工関節置換術（足）		1	1
人工関節抜去術（股）	1		
人工骨頭挿入術（股）	25	44	31
人工骨頭挿入術（肘）	1		
人工骨頭挿入術（肩）	1		2
靭帯断裂形成（関節鏡）（十字靭帯）	18	17	17
靭帯断裂形成（関節鏡）（膝側副靭帯）		1	
靭帯断裂形成手術（関節鏡下）（内側膝）			



靱帯断裂形成手術（その他の靱帯）	1	1	
靱帯断裂形成手術（十字靱帯）	2	1	3
※靱帯断裂縫合術 1. 十字靱帯		1	
靱帯断裂縫合術 2. 膝側副靱帯		1	
靱帯断裂縫合術 3. 指（手，足）		1	
靱帯断裂縫合術（その他靱帯）			
靱帯断裂縫合術（関節鏡下）（十字靱帯）	1		
※靱帯断裂縫合術（関節鏡下）（その他）		1	1
※靱帯修復術		1	
髄液漏閉鎖術			
脊髄硬膜切開術		1	1
脊髄腫瘍摘出術 1. 髄外のもの		1	
脊椎・骨盤脱臼観血的手術			
脊椎・骨盤内異物（挿入用）	1	4	9
脊椎固定術（後方椎体固定）	19	30	22
脊椎固定術（後方又は後側方固定）	7	19	7
脊椎固定術（前方椎体固定）	2		
脊椎固定術，椎弓切除・形成術（形成）	3	5	2
脊椎固定術，椎弓切除・形成術（切除）	34	30	26
多椎間多椎弓加算（椎弓形成）	19	11	19
多椎間多椎弓加算（後方後側方固定）	20	29	23
多椎間多椎弓加算（椎弓切除）	24	25	36
多椎間多椎弓加算（前方椎体固定）	2		
多椎間多椎弓加算（後方椎体固定）	2	4	4
経皮的椎体形成術	1	4	1
仙腸関節脱臼観血的手術		1	
先天性股関節脱臼ギプス包帯	1		
先天性股関節脱臼観血的整復術		1	1
全層，分層植皮術 1.（25 cm <sup>2</sup> 未満）			
創傷処理 1. 筋肉達する（5cm 未満）	10	1	2
創傷処理 3. 筋肉達する（10cm 以上）	2	7	12
創傷処理. 筋肉達する（20cm～頭頸部）	1		1
創傷処理 2（5～10cm，深）	7	5	5
創傷処理 3（10cm 以上，深）			
創傷処理 4（5cm 未満，浅）		1	
第一足指外反症矯正手術		1	
断端形成術（要骨形成）（手指）			
断端形成術（骨形成）（手指）		1	
断端形成術（骨形成）（足指）			
断端形成術（要骨形成）（その他）	1		
腸骨翼骨折観血的手術	1		
椎間板摘出術 2. 後方摘出術	34	40	36

椎間板摘出術 3. 側方摘出術		1	
半月板切除術（関節鏡下）	10	1	3
半月板縫合術	1	2	
半月板縫合術（関節鏡下）	21	23	20
皮膚切開術 1. 長径 10cm 未満	2		
皮膚皮下腫瘍摘出露出外 3 - 6cm 未満	1		
皮膚皮下腫瘍摘出露出外 3cm 未満		1	3
皮膚皮下腫瘍摘出露出部 2 - 4cm 未満		1	1
皮膚皮下腫瘍摘出露出部 2cm 未満	1	3	
非観血的関節授動術（膝）			
変形治癒骨折矯正手術（前腕）	2	1	
腱移行術 1. 指（手，足）	1	3	1
腱移行術 2. その他のもの			
腱移植術 2. その他のもの	1		
腱延長術		1	3
※腱鞘切開術		6	6
腱鞘切開術（関節鏡下含む）	1	2	1
腓骨筋腱腱鞘形成術	1		
腱切離術・腱切除術（関節鏡下による）	1		1
腱縫合術	6	8	4
※腱縫合術（指）		1	1
組織試験採取切採（筋肉）			
※組織試験採取切採（骨）		1	
※造影剤使用（撮影・診断）		1	
合 計	852	911	917

2018 年より，※の術式が増えました

## 形成外科

	2017						計
	入院手術			外来手術			
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	
I. 外傷	51		20			30	101
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷で 全身管理を要する非手術例	/						
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷の手術例	19		5				24
顔面軟部組織損傷	2		2			17	21
顔面骨折	4					2	6
頭部・頸部・体幹の外傷			2			1	3
上肢の外傷	9		7			8	24
下肢の外傷	14		4			2	20
外傷後の組織欠損（2次再建）	3						3

II. 先天異常	13					1	14
唇裂・口蓋裂	1						1
頭蓋・顎・顔面の先天異常	7					1	8
頸部の先天異常							0
四肢の先天異常	4						4
体幹（その他）の先天異常	1						1
III. 腫瘍	57		18			105	180
良性腫瘍（レーザー治療を除く）	40		6			105	151
悪性腫瘍	12		12				24
腫瘍の続発症							0
腫瘍切除後の組織欠損（一次再建）	4						4
腫瘍切除後の組織欠損（二次再建）	1						1
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	8		1			5	14
V. 難治性潰瘍	16		4				20
褥瘡			2				2
その他の潰瘍	16		2				18
VI. 炎症・変性疾患	11		2			4	17
VII. 美容（手術）							0
VIII. その他	5		14				19
Extra. レーザー治療							0
良性腫瘍でのレーザー治療例							0
美容処置でのレーザー治療例							0
合計	161	0	59	0	0	145	365

	2018						計
	入院手術			外来手術			
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
I. 外傷	64		8			41	113
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷で全身管理を要する非手術例	/						
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷の手術例	13		2				15
顔面軟部組織損傷	2		1			29	32
顔面骨折	13						13
頭部・頸部・体幹の外傷						1	1
上肢の外傷	34		4			9	47
下肢の外傷	2		1			2	5
外傷後の組織欠損（2次再建）							0
II. 先天異常	22					3	25
唇裂・口蓋裂	2						2
頭蓋・顎・顔面の先天異常	7					3	10
頸部の先天異常	1						1
四肢の先天異常	8						8

	体幹（その他）の先天異常	4					4
Ⅲ．腫瘍		54	14			110	178
	良性腫瘍（レーザー治療を除く）	41	4			109	154
	悪性腫瘍	10	10			1	21
	腫瘍の続発症						0
	腫瘍切除後の組織欠損（一次再建）	3					3
	腫瘍切除後の組織欠損（二次再建）						0
Ⅳ．瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド		9				5	14
Ⅴ．難治性潰瘍		18	3			2	23
	褥瘡	5					5
	その他の潰瘍	13					13
Ⅵ．炎症・変性疾患		9	0			4	13
Ⅶ．美容（手術）							0
Ⅷ．その他			7				7
	Extra. レーザー治療						0
	良性腫瘍でのレーザー治療例						0
	美容処置でのレーザー治療例						0
	合 計	176	0	32	0	0	165
							373

	2019						計
	入院手術			外来手術			
	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	全身麻酔	腰麻・ 伝達麻酔	局所麻酔 ・その他	
Ⅰ．外傷	77		14			39	130
	熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷で 全身管理を要する非手術例						
	19		5				24
	1		3			19	23
	11					1	12
	2					2	4
	39		2			15	56
	5		4			2	11
							0
Ⅱ．先天異常	25					1	26
	3						3
	7						7
							0
	11						11
	4					1	5
Ⅲ．腫瘍	81		8			145	234
	59		3			143	205
	22		5			2	29
							0

腫瘍切除後の組織欠損（一次再建）							0
腫瘍切除後の組織欠損（二次再建）							0
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	4					4	8
V. 難治性潰瘍	16		9			3	28
褥瘡							0
その他の潰瘍	16		9			3	28
VI. 炎症・変性疾患	9		8			1	18
VII. 美容（手術）							0
VIII. その他			8				8
Extra. レーザー治療							0
良性腫瘍でのレーザー治療例							0
美容処置でのレーザー治療例							0
合 計	212	0	47	0	0	193	452

## 心臓血管外科／呼吸器・乳腺・内分泌外科

		2017	2018	2019
0) 皮膚, 皮下, その他				
1) 甲状腺, 上皮小体, 頸部	甲状腺部切除, 甲状腺腫摘出	12	16	13
	甲状腺悪性腫瘍手術	5	5	11
	上皮小体腺腫過形成手術	2	1	1
	※バセドウ甲状腺全摘術			1
	甲状腺, 上皮小体, 頸部その他	1	1	
2) 乳腺	乳腺腫瘍摘出術	3	5	6
	乳房切除術	1		
	乳腺悪性腫瘍手術	36	45	52
	乳腺その他		1	3
3) 胸壁, 胸腔, 胸膜, 縦隔, 気胸, 肺, 横隔膜, 手掌多汗症	胸壁膿瘍切開術		1	
	胸骨切除, 胸骨骨折観血手術	2	2	
	胸壁悪性腫瘍摘出術		1	1
	胸壁腫瘍摘出術	2		1
	漏斗胸手術	1	1	
	試験開胸術		3	3
	胸郭形成手術（膿胸手術）		4	2
	縦隔腫瘍, 胸腺摘出術	5	2	4
	縦隔悪性腫瘍手術	2		4
	肺切除術	2	1	
	胸腔鏡下肺切除術	26	17	14
	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	2	1
	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	2		
	胸腔鏡下肺縫縮術	1	4	
肺悪性腫瘍手術	7	7		

	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	63	69	82
	肺縫縮術		1	
	気管支形成手術			
	胸部交感神経節切除術		1	2
	胸壁, 胸腔, 胸膜, 縦隔, 気胸, 肺, 横隔膜, その他	10	10	12
4) 心・脈管	心膜縫合術	1		
	心筋縫合止血術 (外傷性)	1		2
	心膜嚢胞, 心膜腫瘍切除術			
	収縮性心膜炎手術			
	試験開心術	1	4	7
	心腫瘍, 心腔内粘液腫摘出術	1	2	
	冠動脈大動脈バイパス移植術	22	19	38
	冠大動脈バイパス人工心肺不使用	27	24	13
	左室形心室孔閉左室壁修復			
	弁形成術	18	13	10
	弁置換術	32	24	29
	大動脈弁下狭窄切除術			
	大動脈瘤切除術(吻合又は移植を含む)	42	33	36
	ステントグラフト内挿術	29	28	25
	動脈管開存症手術	1	2	
	心房中隔欠損閉鎖術		2	1
	心室中隔欠損閉鎖術		4	2
	冠動静脈瘻開胸的遮断術	2	1	
	肺動脈塞栓除去手術			
	不整脈手術 (メイズ)	10	4	6
	ペースメーカー移植術			
	心・脈管その他	1		2
5) 動脈・静脈・リンパ	上腕動脈表在化法		3	
	内シャント血栓除去術	5	7	6
	動脈血栓内膜摘出術	9	3	6
	動脈形成術, 吻合術	6	3	5
	内・外シャント設置術	42	47	46
	四肢の血管吻合術	1	2	
	血管移植術, バイパス移植術	19	20	21
	四肢の血管拡張術, 血栓除去術	37	49	59
	下肢静脈瘤手術	53	52	52
	リンパ節摘出術	8	18	11
	動脈・静脈・リンパ その他	16		9
	合 計	568	564	599

※ 2019 年より追加

## 脳神経外科

		2017	2018	2019	
従来型直達手術	頭蓋内腫瘍摘出術	18	10	19	
	頭蓋内腫瘍摘出術	3			
	脳動脈瘤頸部クリッピング	5	5	9	
	脳動静脈奇形摘出術			2	
	血管吻合術	1			
	頭蓋内血腫除去術	1. 硬膜	2		
		2. 硬膜	4	2	
		3. 脳内	2	3	3
	減圧開頭術		1	2	
	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	27	39	16	
	穿頭脳室ドレナージ術	2	1	2	
	脳室腹腔短絡術（水頭症手術）	8	8	12	
	脳膿瘍排膿術	2	4	1	
頭蓋骨形成手術		1	2		
その他	4	3	5		
小 計		78	77	73	
脳血管内手術	脳動脈瘤塞栓術	10	7	8	
	脳動静脈奇形塞栓術	1	3	4	
	頸動脈ステント留置術	16	3	15	
	経皮的脳血管形成術	4	1	2	
	経皮的脳血栓回収術	26	17	16	
	栄養血管塞栓術	3	0	2	
小 計		60	31	47	
神経内視鏡手術	内視鏡下腫瘍摘出術	3	1	1	
	内視鏡下脳内血腫除去術	8	1	5	
	脳室開窓術（水頭症手術）	2	1	3	
小 計		10(13)	2(3)	8(9)	
合 計		148	110	128	

※内視鏡下腫瘍摘出術は保険術式名上、頭蓋内腫瘍摘出術に含めて最終計算する（重複あり）

## 麻酔科

		2017	2018	2019
麻酔科管理手術	症例数	2,349	2,297	2,663
	緊急手術	297	221	261
	全身麻酔	2,160	2,146	2,535
	術後硬膜外鎮痛症例	381	286	422
術前状態分類（ASA）	1	573	529	633
	2	1,180	1,160	1,311

	3	297	365	421
	4	2	22	25
特殊な麻酔	心臓大血管麻酔	194	177	160
	分離肺換気	117	121	101
	開胸・開腹	13	5	18
	帝王切開	157	108	122
	新生児麻酔	2	2	1
	乳児麻酔	84	75	70
	85歳以上	164	201	202

## 泌尿器科

	2017	2018	2019
腹腔鏡下副腎摘除術		1	2
根治的腎摘除術（開放手術）	1	2	
腹腔鏡下根治的腎摘除術	9	12	20
腎部分切除術（開放手術）	5	5	4
腹腔鏡下腎部分切除術	1	2	1
腎尿管全摘除術（開放手術）			1
腹腔鏡下腎尿管全摘除術	9	11	10
膀胱全摘除術（開放手術）	8	3	5
腹腔鏡下膀胱全摘除術	0	2	2
経尿道の膀胱腫瘍切除術	59	64	66
腹腔鏡下尿膜管摘出術	3		2
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術			2
根治的前立腺全摘除術	20	11	19
陰茎部分切除術	1		1
高位精巣摘除術	4	5	2
経皮的尿路結石除去術		1	6
経尿道の尿路結石碎石術（レーザー）	5	35	30
経尿道の膀胱結石碎石術	1	8	4
経尿道の前立腺切除術	12	8	2
経尿道の前立腺レーザー核出術	3	25	26
経皮的腎瘻造設術	8	17	17
経尿道の尿管ステント留置術	25	35	50
精巣捻転手術	2	6	
合 計	176	253	272



# 産婦人科

## 手術統計

		2017	2018	2019
開腹手術	卵巢癌手術	10	1	10
	広汎子宮全摘術	2		
	準広汎子宮全摘術	7	1	9
	腹式子宮全摘術	31	30	52
	子宮脱手術	5	11	19
	子宮筋腫核出術	13	1	10
	附属器手術開腹手術	20	13	14
	腹腔鏡下手術	11	21	62
	帝王切開術	158	113	109
	その他 開腹手術	1		3
合 計		258	191	288
非開腹手術	子宮鏡下手術・検査	36	31	71
	円錐切除術	31	41	66
	頸管縫縮術	6	3	3
	流産手術	21	7	11
	その他 非開腹手術		4	11
合 計		94	86	162

## 生殖医療統計

		2017	2018	2019
不妊症例		18	30	38
妊娠数		3	8	10
流産数		1	2	1
ART 治療周期総数		3	27	48
	AIH（人工授精）	3	27	9
	IVF（体外受精）			15
	ICSI（顕微授精）			9
	F/T（凍結融解胚）			15
採卵周期総数		0	0	24
	IVF			15
	ICSI			9
移植周期総数		0	0	22
	IVF			3
	ICSI			4
	F/T			15
全胚凍結周期				17
余剰胚凍結周期				5
ART 妊娠総数		0	3	7

	AIH		3	3
	IVF			
	ICSI			
	F/T			4
ART 流産総数		0	2	2
	AIH		2	
	IVF			
	ICSI			
	F/T			2

## 小児科

		2017	2018	2019
食物経口負荷試験実績		44	56	58
小児内視鏡検査	上部消化管内視鏡	12	5	
	下部消化管内視鏡	5	2	
	※気管支鏡			9

※ 2019 年より気管支鏡検査の集計を追加しました

## 耳鼻いんこう科

	2017	2018	2019
皮膚皮下腫瘍摘出術		1	
外耳道異物除去術	2	3	1
先天性耳瘻管摘出術		1	1
鼓膜切開術	19	32	33
鼓膜チューブ挿入術	50	65	59
鼓膜形成手術	5	7	2
鼓室形成手術	1	1	3
鼻腔粘膜焼灼術	16	2	18
下甲介レーザー手術	1	3	1
粘膜下下鼻甲介切除術		4	1
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅱ型			4
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型	2	11	15
鼻中隔矯正術	3	1	2
咽頭後膿瘍切開術	1		
咽頭異物摘出術	4	3	2
アデノイド切除術	3	1	2
口蓋扁桃手術	10	15	8
気管切開術	10	8	7
声帯ポリープ・結節切除術	1	1	2
喉頭悪性腫瘍手術	1		2

気切口閉鎖術		1	
気管口狭窄拡大術	2		
喉頭気管分離術	2		2
舌小帯形成術	1		
耳下腺腫瘍摘出術	2	1	1
甲状腺部分切除術, 甲状腺腫摘出術	1		1
甲状腺悪性腫瘍手術	2	1	3
頸部郭清術	5	6	6
頸部悪性腫瘍摘出術	2		
頸部リンパ節摘出術	4	8	10
鼓膜鼓室肉芽切除術		1	
口腔底悪性腫瘍手術	2	2	
内視鏡下鼻中隔手術 2 型 (粘膜手術)	31	37	53
内視鏡下鼻腔手術 I 型 (下鼻甲介手術)	3		
喉頭狭窄症手術 3, T チューブ挿入術	1		
正中頸のう胞摘出術	1		
※顎下腺摘出術		1	
※顎下骨離断術		1	
※がま種摘出術		1	
◎中咽頭腫瘍摘出術			1
◎咽頭悪性腫瘍手術			1
◎内視鏡 2. 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離			1
◎頸部良性腫瘍手術			1
合 計	188	219	243

※ 2018 から集計開始

◎ 2019 から集計開始

## 眼 科

	2017	2018	2019
眼瞼内反症手術			
翼状片手術	3	1	
眼球摘出術	1		
角膜縫合術		1	1
光学的虹彩切除術			1
緑内障手術	12	3	10
網膜復位術	5	5	2
硝子体切除術	11	8	6
硝子体茎頭微鏡下離断術	87	112	100
白内障手術	233	270	272
眼内レンズ挿入術	228	264	267
増殖性硝子体網膜症手術		1	

硝子体注入術	294	315	353
その他	10	10	10
合 計	884	990	1,022

## 皮膚科

		2017	2018	2019	
入院患者	湿疹・皮膚炎群	1		3	
	尋麻疹・痒疹・皮膚そう痒症	4	1	2	
	紅斑症・紫斑・血管炎・血行障害	4	2	6	
	物理・化学的皮膚障害・壊疽	13	11	14	
	中毒疹・薬疹		2	3	
	炎症性角化症・非炎症性角化症	2			
	水疱症および膿疱症	6	6	13	
	紅皮症				
	膠原病	1	1		
	代謝異常症			1	
	上皮性良性腫瘍	5	5	1	
	上皮性悪性腫瘍	15	16	19	
	非上皮性良性腫瘍	1	4	8	
	非上皮性悪性腫瘍	1	3	2	
	毛髪・爪甲疾患	7	1	1	
	細菌性疾患	17	12	15	
	ウイルス性疾患	7	8	4	
その他			1		
合 計		84	72	93	
手術名	創傷処理	5	7	4	
	皮膚切開術	30	45	28	
	皮膚, 皮下, 粘膜下血管腫摘出術	2			
	皮膚, 皮下腫瘍摘出術	80	82	119	
	皮膚悪性腫瘍切除術	1. 広汎切除			
		2. 単純切除	27	30	22
	陥入爪手術	3	7	6	
合 計		147	171	179	

## 救急科

		2017	2018	2019
時間内 (8:30-17:00)	受診者数	2252	2325	2281
	救命センター入院	297	282	283
	一般病棟入院	762	620	900
	帰宅	1182	1420	1375

	CPAOA	18	31	27
	交通事故	34	59	67
	紹介	839	757	772
	救急車搬送数	1105	1099	1048
	ヘリコプター搬送	20	20	28
時間外 (17:00-8:30, 休日)	受診者数	11207	10738	12145
	救命センター入院	463	429	531
	一般病棟入院	1504	1144	2032
	帰宅	9232	9162	10111
	CPAOA	97	54	79
	交通事故	165	139	146
	紹介	990	906	1097
	救急車搬送数	2047	2003	2047
	ヘリコプター搬送	15	17	19
計	受診者数	13459	13063	14426
	救命センター入院	760	711	814
	一般病棟入院	2266	1764	2932
	帰宅	10414	10582	11486
	CPAOA	115	85	106
	交通事故	199	198	213
	紹介	1829	1663	1869
	救急車搬送数	3152	3102	3095
	ヘリコプター搬送	35	37	47

## 歯科・口腔外科

### 入院手術

	2017	2018	2019
外来全身麻酔	24	11	14
歯根端切除術			3
歯根嚢胞摘出術			1
顎骨内異物除去術			1
リンパ節摘出術			1
頬粘膜腫瘍摘出術	1	1	1
口底腫瘍切除術	1		
上顎洞根治手術	3		
術後性上顎嚢胞摘出術		2	1
埋伏歯抜歯術	21	18	32
抜歯術（乳歯，前歯，臼歯）			9
口唇腫瘍切除術		1	
口蓋腫瘍切除術	3	2	
舌腫瘍切除術	3	2	3

頬・口唇・舌小帯形成術	4	7	5
下顎骨観血的整復固定術	3	2	3
下顎骨非観血的整復固定術			
上顎骨観血的整復固定術	3	1	
顎関節脱臼非観血的整復術			1
歯槽骨骨折観血的整復術			1
除去・骨体固定金属板除去	3		4
唾石摘出術（深在性のもの+腺体内）	4	2	2
顎骨腫瘍摘出術	3	16	24
口腔内消炎術	1	2	
上顎洞口腔瘻閉鎖術			
顎堤形成術 3		1	3
歯肉，歯槽部腫瘍手術 2 硬組織			
萌出困難歯開窓術		1	
耳下腺腫瘍摘出術 1. 耳下腺浅葉			
舌繫痕性短縮矯正術	1		
骨移植術 1. 自家骨移植			
顎・口蓋裂形成手術（片側・顎裂）			
頬骨骨折観血的整復術			
下顎関節突起骨折観血的手術 1. 片側		1	
顎関節形成術	1		
顔面多発骨折観血的手術	1	1	
創傷処理 2（5～10cm，深）	1		
浮動歯肉切除術 3（全顎）			
歯肉，歯槽部腫瘍手術 1 軟組織	1	1	1
がま腫摘出術			
顎骨のう胞開窓術			
腐骨除去手術（顎骨 1/3 以上）	3	2	
口腔外消炎手術	2		1
下顎骨形成術 2 短縮または伸長の場合	2	1	
下顎骨形成術 3 再建の場合	1		
下顎骨形成術 4 骨移動を伴う場合			1
上顎骨形成術		1	
扁桃周囲膿瘍切開術	1		
皮弁作成術	1	1	2
皮弁離断術	1		
頬腫瘍摘出術	3		2
顎関節開放受動術	1		
顎下腺腫瘍摘出術	1		
歯牙再植術			1
広範囲顎骨支持埋入術			2
下顎隆起形成術			4

口腔前庭拡張術			1
歯槽骨整形手術・骨瘤除去術			2
その他	3	5	
小計	101	74	126
(悪性腫瘍)			
舌悪性腫瘍手術 1. 切除	4	5	5
舌悪性腫瘍手術 亜全摘	1	1	1
下顎骨悪性腫瘍手術 1. 切除	3	1	
下顎骨悪性腫瘍手術 2. 切断	1		
上顎骨悪性腫瘍手術 2. 切除	1	3	
頸部郭清術	4	4	4
口蓋悪性腫瘍切除術	2		
口底悪性腫瘍切除術	2	1	1
口腔、顎、顔面悪性腫瘍切除術			
頬粘膜悪性腫瘍切除術	1	1	
口唇悪性腫瘍切除術	1		1
小計	14	21	13
合計	115	95	139

#### 外来手術

	2017	2018	2019
(従) 歯根端切除術			
がま腫摘出術	2		1
がま腫切開術	2	4	
ヘミセクション	2	1	4
咽頭異物摘出術 1. 簡単なもの			
下顎隆起形成術		1	2
顎関節授動術 (徒手)			
顎関節授動術 (徒手授動術 (パンピングを併用した場合))	12	10	12
顎関節脱臼非観血的整復術	5	4	1
顎骨腫瘍摘出術 1 (3センチ未満)	3		2
顎骨腫瘍摘出術 1. 直径 3cm 未満			
顎骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (簡単なもの (手術範囲が全顎にわたる場合))			2
顎骨嚢胞開窓術			1
口蓋腫瘍摘出術 (口蓋粘膜に局限するもの)		1	2
口蓋腫瘍摘出術 1 (口蓋粘膜局限)	5		
口蓋隆起形成術		1	1
口腔外消炎手術 (2 ~ 5cm 未満)		2	1
口腔外消炎手術 (2cm 未満)		6	4
口腔外消炎手術 (骨膜下膿瘍, 皮下膿瘍, 蜂窩織炎等 (2cm 以上 5cm 未満))		2	

口腔底腫瘍摘出術	1		
口腔内消炎手術（智歯周囲炎の歯肉		2	
口腔内消炎術（歯肉膿瘍等）	3	4	9
口腔内消炎術（顎炎等 1/3 顎以上）	1	1	1
口腔内消炎術（顎炎等 1/3 顎未満）	2	1	
口腔内消炎術（骨膜膿瘍，口蓋膿瘍）	46	27	31
口腔内軟組織異物除去術（著しく困難なもの）	1		1
口唇腫瘍摘出術 1. 粘液嚢胞摘出術	7	13	7
口唇腫瘍摘出術 2. その他のもの	4	4	1
口唇小帯形成手術	17	7	
広範囲顎骨支持埋入術（1回）	3	2	
広範囲顎骨支持埋入術（2回1次）	1	2	2
広範囲顎骨支持埋入術（2回2次）		2	1
後出血処置	4	8	5
歯の移植手術	8	2	2
歯科インプラント摘出術（人工歯根）	2	1	
歯牙再植術	3	4	3
歯根のう胞摘出手術（歯冠大）	20	8	15
歯根のう胞摘出手術（拇指頭大）	2		10
歯根端切除術 1	11	7	13
歯槽骨骨折非観血的整復術（3歯以上）		1	
歯槽骨整形手術，骨瘤除去手術	10	1	5
歯肉，歯槽部腫瘍手術 （エプーリスを含む）（硬組織に及ぶもの）			1
歯肉，歯槽部腫瘍手術 （エプーリスを含む）（軟組織に局限するもの）	8	1	6
歯肉，歯槽部腫瘍手術 1 軟組織		1	
歯肉，歯槽部腫瘍手術 2 硬組織			
小児創傷処理（6歳未満） （筋肉，臓器に達しないもの（長径 2.5cm 未満））	1	1	
小児創傷処理 1（2.5cm 未満，深）	1	3	
小児創傷処理 2（2.5～5cm，深）		1	
小児創傷処理 6（2.5～5cm，浅）			
上顎洞陥入歯牙の抜去（犬歯窩開さくにより行う場合）	1		
上顎洞口腔瘻閉鎖術（簡単なもの）	1	1	
上顎洞口腔瘻閉鎖術 2（困難）			
静脈内鎮静法			
舌腫瘍摘出術 1（粘液のう胞）	1		
舌腫瘍摘出術 2（その他）	8	4	12
舌小帯形成手術	20	14	
創傷処理（デブリードマン加算）			
創傷処理 （筋肉，臓器に達しないもの（長径 5cm 未満））	6		2



創傷処理 (筋肉, 臓器に達するもの (長径 5cm 未満))	3		6
創傷処理 1 (5cm 未満, 深)			
創傷処理 2 (5 ~ 10cm, 深)			4
創傷処理 4 (5cm 未満, 浅)			
唾石摘出術 1 (表在性)	1		2
唾液腺膿瘍切開術	1		
乳歯抜歯	34		
前歯抜歯	230	160	127
臼歯抜歯	447	450	387
難抜歯加算	96	68	
難抜歯			
埋伏歯抜歯	276	249	350
抜歯術 5. 埋伏歯下顎完全・水平加算	215	180	310
抜歯窩再搔爬手術	1	2	1
腐骨除去手術 (顎骨 1/3 以上)	2	0	
腐骨除去手術 (顎骨 1/3 未満)	4	5	2
腐骨除去手術 (歯槽骨に限局)			7
萌出困難歯開窓術	3	2	2
頬小帯形成手術	2		8
頬腫瘍摘出術 (その他の物)			1
頬粘膜腫瘍摘出術	2	2	7
合 計	1,541	1,273	1,374

## リハビリテーション科

科別新患者数

	2017	2018	2019
整形外科	587	570	522
脳外科	225	166	202
神経内科	614	687	749
内科	795	964	1,036
呼吸器外科・心臓血管外科	188	212	247
形成外科	12	19	6
心臓内科	281	269	304
救急科	10	21	20
小児科	45	57	75
外科	192	185	174
耳鼻いんこう科	37	55	61
その他	42	60	87
合 計	3,028	3,265	3,483

科別患者数（件数 / 単位数）

	2017		2018		2019	
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
整形外科	15,511	25,106	16,768	27,053	15,169	25,076
脳神経外科	6,092	9,060	3,634	5,624	3,977	5,989
神経内科	12,781	19,480	15,938	24,608	15,709	23,925
内科	18,772	25,369	17,434	23,891	18,020	25,105
呼吸器外科・心臓血管外科	3,574	5,409	3,541	5,284	4,047	6,033
形成外科	296	471	670	1,075	333	516
心臓内科	5,663	8,823	5,678	8,737	5,796	8,632
救急科	352	466	563	842	839	1,318
小児科	614	1,114	639	901	1,049	1,522
外科	3,224	4,299	2,819	3,888	3,087	4,161
口腔外科	93	125	95	156	117	186
耳鼻いんこう科	153	226	294	469	291	423
その他	1,539	2,209	981	1,350	1,242	1,721
合 計	68,664	102,157	69,054	103,878	69,676	104,607

	2017	2018	2019
運動器リハビリテーション	27,352	28,574	26,319
脳血管等リハビリテーション	35,093	34,092	34,942
呼吸器リハビリテーション	7,586	6,507	5,558
心大血管リハビリテーション	10,091	10,341	10,808
がん患者リハビリテーション	2,984	5,190	5,323
廃用症候群リハビリテーション	14,817	16,654	20,227
摂食機能療法	3,228	2,455	1,290
心肺運動負荷試験	23	32	27

## 救命救急センター

### 疾患別

	2017	2018	2019
重篤な脱水（消化管出血など）	21	18	24
脳血管障害	156	132	149
意識障害・痙攣など	37	23	37
呼吸不全	64	69	83
急性冠症候群 ACS	125	104	165
不整脈	33	24	45
心不全（心原性ショック含む）	96	59	103
急性中毒	15	8	24
ショック	27	18	31
代謝障害（腎不全含む）	26	25	28
重症熱傷	11	5	4
多発外傷	5	4	2
その他の外傷	42	31	53
重症感染症（敗血症など）	40	35	52
緊急治療を要する疾患	43	57	106
大動脈疾患	24	14	16
院外心肺停止	118	85	106
合 計	883	711	1028

（入室患者数のすべてではない）

### 処置別

	2017	2018	2019
脳血管外科手術	16	12	18
心臓血管外科手術	0	5	4
胸部外科手術	0	0	0
腹部外科手術	17	14	29
その他の手術	10	4	8
P C I	120	94	165
アブレーション	0	0	0
人工呼吸管理	160	142	156
血液浄化療法	11	15	31
循環補助	3	8	19
低体温療法	1	6	8
TAE 等その他の治療	66	91	129
合 計	404	391	567

### 疾患分類の基準

脳血管障害；外傷以外の脳出血，脳梗塞，くも膜下出血，もやもや病，虚血性心疾患；心筋梗塞，狭心症，心不全その他；心膜炎，弁膜症，心タンポナーデ，先天性心疾患を含む，急性腹症；イレウス，虫垂炎，原因の明らかでない腹痛。

消化管出血；吐血，下血，頭部外傷；頭蓋内血腫，脳震盪，脳挫傷，頭部打撲も含む。不整脈など；心房細動，発作性頻拍等，脈に関するものをさす。

感染症；細菌，ウイルス感染，大血管障害；解離性大動脈瘤，大動脈瘤破裂（腹部，胸部），緊急手術を要する心筋梗塞，内分泌；代謝，免疫，低血糖，高血糖，CPAOA；呼吸停止も含む，喘息；薬剤投与のみ，急性呼吸不全；喘息重積発作，間質性肺炎等呼吸器装着を要する状態をさす。

呼吸不全急性増悪；慢性呼吸不全状態の悪化，腹部外傷；腹部打撲も含む，胸部外傷；胸部打撲も含む。

術後監視；予定手術の入室，予定のPTCA後入室。

その他；CAPDの腹膜炎，一般的腹膜炎，急性アルコール中毒，下肢急性動脈閉塞，アナフィラキシーショック，悪性症候群，マムシ咬傷，意識明瞭な溺水等。

### 処置別分類の基準

PTCA；緊急PTCA，PTCRをさす，開心術；胸部の解離性大動脈瘤，CABG，穿頭術；穿頭ドレナージ。

血管造影；心カテ，脳アンギオ等検査のみで治療できなかったもの，呼吸器装着；心不全，呼吸不全等で呼吸器装着の必要となったもの

蘇生；CPAOA，呼吸停止，脳挫傷，脳出血等，意識レベルⅢー200～300で救命のために手術，呼吸器装着に至ったもの。

または，救命のために何らかの処置を行うが数日後に死に至ったもの。

その他；急性アルコール中毒，薬物中毒，高血糖，低血糖などセンターに入室を要する疾患であるが，点滴，モニター監視で様子観察したもの。

および，心嚢ドレナージ，血栓除去，虫垂切除，一時ページング等。

### 救命救急入院料

	2017		2018		2019	
	延日数	人数	延日数	人数	延日数	人数
1 月	188	71	147	62	264	84
2 月	190	75	199	61	213	64
3 月	214	89	180	64	265	90
4 月	174	70	152	55	237	91
5 月	182	63	175	54	224	69
6 月	141	70	163	46	225	71
7 月	142	60	135	52	235	90
8 月	131	67	135	57	200	75
9 月	143	51	183	59	197	85
10 月	141	94	186	71	198	69
11 月	208	73	172	63	207	76
12 月	203	80	203	68	210	81
年 間	2057	863	2030	712	2675	945
月平均	171.4	71.9	169.2	59.3	222.9	78.8

### 月別患者数

	総 数	救急外来より	一般外来より
1 月	78	68	10
2 月	64	54	10
3 月	90	79	11
4 月	91	87	4
5 月	69	59	10
6 月	71	66	5

7 月	90	83	7
8 月	74	70	4
9 月	85	82	3
10 月	69	64	5
11 月	76	74	2
12 月	81	72	9
合 計	938	858	80

診療科別患者数

診 療 科	総 数	救急外来より	一般外来より
総合診療内科	90	83	7
消化器内科	31	28	3
呼吸器内科	43	33	10
血液内科	0	0	0
糖代謝・内分泌内科	8	8	0
腫瘍内科	0	0	0
心臓内科	303	258	45
神経内科	91	89	2
精神科	0	0	0
小児科	23	23	0
放射線科	0	0	0
外科（小児外科を含む）	47	42	5
心臓血管外科・呼吸器外科	34	31	3
脳神経外科	129	129	0
整形外科	20	18	2
泌尿器科	15	13	2
耳鼻咽喉科	0	0	0
形成外科	0	0	0
皮膚科	0	0	0
眼科	0	0	0
産婦人科	1	1	0
歯科・口腔外科	1	1	0
麻酔科	0	0	0
救急科	84	84	0
合 計	920	841	79

# 周産期母子センター

産科部門

		2017	2018	2019
分娩件数		338	295	335
	単胎	317	280	320
	双胎	21	15	15
分娩児数		357	310	350
	生産児数	355	304	348
	死産児数	2	6	2
(22週以上) 早産児数		73	70	72
産科手術	選択帝王切開	103	74	65
	緊急帝王切開	53	39	44
	妊娠子宮全摘術 (ポロ一手術)	2	1	0
	帝切率	46.2	38.3	32.5
	骨盤位娩出術	2	2	0
	吸引娩出術	25	10	15
	鉗子娩出術	1	2	3
	頸管縫縮術	6	3	2
	羊水穿刺術	7	7	12
中期流産 (12 ~ 21週)		5	1	10
流産手術		21	7	13

## 新生児集中治療室 (NICU)

		2017	2018	2019
入院	入院数	187	258	282
	院内出生	128	170	203
	院外出生	54	84	75
	転院入院	5	4	4
	超低出生体重児 (1000g未満)	2	2	5
	極低出生体重児 (1500g未満)	14	10	10
	多胎児	30	27	27
	分娩立会	67	131	132
	迎え搬送	1	9	5
治療	人工換気	24	28	27
	経鼻陽圧呼吸	51	66	91
	一酸化窒素吸入治療			
	手術	2	2	
	網膜光凝固	1		
転帰	転院	1	12	11
	死亡			
	剖検			

AI			
----	--	--	--

## 血液浄化室

### 術式別延患者数

	2017	2018	2019
血液透析	1383	1422	1470
LDL 吸着	27	24	14
自己血採血	64	23	10
幹細胞採取	14	1	0
白血球吸着	70	10	10
◎ PP	4		
血漿交換	5	20	13

◎ PP の数値は 2018 から血漿交換に含めます

### 新規透析導入患者

	2017	2018	2019
血液透析	16	28	18

### 合併症を有する血液透析

	2017	2018	2019
心カテ, PCI 後	13	25	3
弁置換 + CABG	4	2	2
CABG 術後	9	7	7
弁置換	4	2	4
整形手術	6	7	13
外科手術	3	3	3
眼科手術	6	4	5
脳神経外科手術	1		
ペースメーカー植え込み	4	2	
泌尿器手術	6	4	1
シャントトラブル	3		1
ESD (内科的手術)			2
AAA		2	2
アブレーション	4		6
肺炎	7	7	5
ASO バイパス	4	7	8
心不全	4	13	6
感染症	9	4	5
溢水	7	3	7
高 K	2	6	3

消化管出血	3	0	4
脳梗塞	1	2	5
※敗血症			4
※血管疾患			4
※尿毒症（導入）			9
※消化器内科			8
その他	15	24	37

※ 2019 から追加しました

#### 血漿交換症例数

	2017	2018	2019
急性肝不全		1	
血栓性血小板減少症			
血管炎性肉芽腫	1	1	
視神経脊髄炎	1	3	
重症筋無力症		3	2
その他		1	3

### 健診センター

#### 1. 年齢別受診者数，要精検者数，要治療者数

年 齢	男 性			女 性			合 計		
	受診者	要精検	要治療	受診者	要精検	要治療	受診者	要精検	要治療
- 29	2	1	0	3	1	0	5	2	0
30 - 39	68	24	2	69	26	4	137	50	6
40 - 49	222	78	2	233	93	5	455	171	7
50 - 59	351	160	8	253	126	5	604	286	13
60 -	471	229	7	365	194	7	836	423	14
合 計	1,114	492	19	923	440	21	2,037	932	40
割 合		44.2%	1.7%		47.7%	2.3%		45.8%	2.0%

### 中央検査室

#### 1. 生化学検査

		2017	2018	2019
血清	TP	63,592	64,381	68,129
	Alb (A/G)	62,488	63,330	67,764
	RF	491	636	752
	CRP	67,980	68,618	73,282
	Hp	1,291	1,309	1,369
	TTT	414	90	1
	ZTT	1,835	351	6



	T-Bil	68,745	68,851	72,248
	D-Bil	20,159	20,701	21,410
	Ch-E	19,703	18,765	19,334
	AST (GOT)	77,928	78,700	84,010
	ALT (GPT)	77,773	78,554	83,852
	ALP	64,826	67,285	71,546
	LAP	8,003	7,498	6,999
	$\gamma$ -GTP	64,326	65,418	69,891
	LDH	69,478	70,306	74,970
	CK	34,761	37,499	39,315
	CK-MB	2,252	2,237	2,817
	T-Cho	15,467	16,200	17,766
	HDL-Cho	12,325	12,844	14,338
	LDL-Cho	13,074	13,865	14,901
	TG	16,323	17,043	17,955
	AMY	21,103	21,431	22,474
	リパーゼ	2,731	3,345	3,837
	BUN	78,602	79,749	84,819
	CRE	80,604	81,786	86,926
	UA	27,823	29,343	34,202
	Ca	23,597	26,080	31,053
	IP	8,211	9,299	12,047
	Mg	7,833	8,980	10,915
	Fe	2,688	2,729	3,408
	UIBC	2,334	2,146	2,457
	Na,K,Cl	74,530	75,767	80,621
	IgG	2,617	2,850	3,147
	IgM	2,124	2,352	2,645
	IgA	1,882	2,062	2,333
	C3	731	824	1,195
	C4	730	825	1,191
	$\beta$ 2-MG	1,393	1,329	1,263
	$\alpha$ 1-AG	740	807	858
	CH50	679	770	1,148
	フェリチン	2,851	2,589	3,168
	グリコアルブミン	466	510	540
血漿	GLU	55,123	55,694	57,647
尿	尿 AMY	15	26	26
	尿 BUN	885	1,178	2,494
	尿 CRE	2,383	3,071	4,822
	尿 UA	777	885	1,556
	尿 Ca	246	294	425

	尿 IP	149	161	1,197
	尿 Mg	55	49	60
	尿 Na	371	546	2,606
	尿 K	289	353	1,406
	尿 Cl	179	239	379
	尿糖定量	99	185	266
	尿蛋白定量	1,464	1,913	3,090
	尿 $\beta$ 2-MG	397	494	1,075
	尿 Alb	737	936	1,270
	尿 NAG	315	417	905
クリアランス	CCr	58	16	35
	ICG	65	59	49
薬物血中濃度	フェノバルビタール	46	62	82
	フェニトイン	10	18	28
	カルバマゼピン	163	176	145
	バルプロ酸	310	296	290
	バンコマイシン	247	234	242
	ジゴキシン	120	104	100
	メソトレキセート	41	8	25
	タクロリムス	375	392	544
その他	HbA1c	22,884	23,163	24,594
	血液ガス	1,143	1,033	956
	血沈	3,110	2,997	2,522
	NH3	1,422	1,634	1,727
尿中薬物スクリーニング	トライエージ	18	34	37

## 2. 血清検査

		2017	2018	2019
肝炎ウイルス検査	HBs 抗原 (2017.2 まで測定)	872		
	HBs 抗原定量	7,330	8,077	8803
	HBs 抗体	1,929	1,986	1962
	HBe 抗原	215	214	182
	HBe 抗体	195	209	184
	HBc 抗体(200倍含)(2019年よりCLIA法)	743	756	809
	HCV 抗体	7,898	7,732	8502
梅毒検査	RPR	4,496	4,414	4824
	TP 抗体	4,036	3,960	4298
HIV 抗体		620	535	558
甲状腺ホルモン検査	TSH	4,881	5,057	6001
	FT4	4,801	4,993	5782
	FT3	954	1,066	1175
婦人科ホルモン検査	Prog	22	100	310

	E2	72	194	402
	HCG (2018.5.17 ~)		48	182
成長ホルモン	GH	79	148	112
腫瘍マーカーなど	CEA	10,458	10,502	10950
	AFP	3,957	3,847	4045
	CA19-9	6,960	6,746	7095
	PSA	2,485	2,538	2762
	NSE	403	375	451
	proGRP	828	864	884
	PIVKA II (2015.10.8 より実施)	2,312	1,475	1502
	KL-6 (2015.10.8 より実施)	1,667	2,070	2504
	プロカルシトニン	2,312	2,240	2128
	トロポニン T (2015.6.2 より実施)	1,143	1,203	1626
	BNP	9,108	9,413	10185
	$\beta$ -D-グルカン		630	878

### 3. 輸血検査

		2017	2018	2019
血液型検査	ABO 式血液型	6,895	6,806	7,422
	Rho (D) 式血液型	6,895	6,806	7,422
	血液型亜型検査	1	3	1
	Rh・その他の血液型	220	136	182
不規則抗体検査	(件数)	5,279	5,239	5,839
交差適合試験 (検査数)	(本数)	3,459	3,374	3,809
	内 (コンピュータークロスマッチ)	2,222	2,041	2,601
直接クームステスト (DAT)		554	532	499
間接クームステスト (IAT)		71	54	56
輸血精密検査		1,374	2,165	3,240
血液製剤使用量	赤血球製剤 (単位)	6,233	5,607	4,006
	新鮮凍結血漿 (単位)	1,950	1,594	1,598
	濃厚血小板 (単位)	14,770	11,670	14,230
	自己血 (単位)	201	80	27
	アルブミン製剤(g) (2017.11 月から輸血部門で管理)	10,337.50	16,612.50	15,350

※院内各部署設置の血液製剤専用保冷庫の毎月点検実施

### 4. 血液検査

		2017	2018	2019
血液形態・機能検査	血液一般検査 (CBC)	92,070	92,468	82,241
	末梢血液像 (機器分類)	72,775	72,562	64,350
	末梢血液像 (目視)	24,225	22,304	24,522
	網状赤血球数	4,004	4,100	5,034

骨髓検査	骨髓像	411	333	366
特殊染色		1,041	932	1,088
フローサイトメトリー	CD 合計	386	400	408
	κ λ	160	212	206
	免疫グロブリン	131	143	157
	T/B 比	384	400	408
骨髓移植	PBSCH	27	13	15
凝固・線溶検査	出血時間	1,514	1,327	293
	PT	18,002	17,339	17,946
	APTT	12,151	11,310	11,936
	フィブリノーゲン	3,026	2,013	1,999
	ヘパプラスチンテスト	109	19	0
	ATIII	1,390	1,194	1,280
	FDP	2,965	2,126	1,872
	Dダイマー	6,395	6,069	6,781
	FMテスト	1	2	3
赤血球抵抗試験		1	1	

#### 5. 一般検査

		2017	2018	2019
検尿検査	定性一般検査	30,312	30,647	33,918
	尿沈渣	15,972	16,337	18,988
妊娠反応	hCG 定性	42	43	39
	尿中 hCG 半定量	112	23	5
尿 Alb/ クレアチニン指数		72	42	81
便検査	寄生虫検査	8	8	2
	潜血	2,442	3,279	4,867
鼻汁染色		68	78	74

#### 6. 細菌検査

		2017	2018	2019
一般菌	顕微鏡検査	10,157	10,016	11,050
	培養	10,627	10,493	11,461
	同定	5,089	4,455	4,651
	嫌気性培養	4,902	4,603	5,633
	尿中菌数定量	1,717	1,733	2,015
	感受性試験	3,225	2,933	3,241
抗酸菌	顕微鏡検査（チール染色）	842	897	672
	顕微鏡検査（蛍光染色）	798	846	614
	培養	857	899	654
精液検査		10	6	14
髄液	一般検査	252	216	284

	蛋白定量	251	214	284
	糖定量	247	209	271
	クロール	126	142	62
穿刺液	一般検査	217	222	221
給食検便		360	334	358
感染症迅速検査	インフルエンザ	1,104	1,379	1,365
	RS ウイルス	344	428	377
	A群β溶連菌迅速検査	467	477	487
	アデノウイルス	508	565	557
	CD トキシン	288	301	240
	便口タ・アデノウイルス	140	155	149
	ノロウィルス	97	113	110
	尿中肺炎球菌莢膜抗原	386	348	279
	尿中レジオネラ抗原	336	319	258
	結核菌 DNA (LAMP)	81	70	48
	マイコプラズマ (LAMP)	174	127	132
	マイコプラズマ抗原	33	11	34
	マイコプラズマ IgM 抗体	144	139	103

## 7. 生理検査

		2017	2018	2019
心電図検査	心電図 12 誘導	10,943	11,014	12,131
	負荷心電図	1,104	1,100	1,049
	ホルター心電図	327	253	319
	イベントレコード	12	10	10
	トレッドミル心電図	9	8	10
	自律神経検査 (R-R 間隔)	216	210	223
	レートポテンシャル	6	5	10
	24 時間血圧測定	26	29	23
脈波検査		6	5	3
脳波検査	脳波	221	176	188
	脳波 (睡眠)	287	325	340
筋電図検査		17	47	25
神経伝導速度		927	1,253	1,190
大脳誘発電位		183	164	150
呼吸機能検査	肺活量 (VC)	2,415	2,631	2,964
	努力性肺活量 (FVC)	2,415	2,631	2,964
	最大換気量 (MVV)	15	5	16
	機能的残気量 (FRC)	144	139	149
	DLco	108	131	130
	気道可逆性試験 (メプチン)	214	307	252
超音波検査	超音波検査 (ドック)	1,995	1,925	2,004

	腹部超音波検査	1,635	1,596	1,747	
	頰部動脈超音波検査	598	641	632	
	甲状腺超音波検査	501	518	660	
	その他表在超音波検査	245	227	262	
	乳腺超音波検査	792	818	989	
	心臓超音波	4,614	4,692	5,336	
	末梢血管超音波検査	534	632	829	
一酸化窒素ガス分析 (NO) (2015.6.1 より実施)		103	145	224	
皮膚灌流圧 (SPP) (2015.2.18 より実施)		5	35	106	
眼底写真		1,821	1,837	2,037	
眼圧		450	568	548	
平衡機能		36	40	41	
音声機能		4	0	19	
重心動揺検査		16	49	42	
ABI		798	862	944	
MMEP		34	15	11	
新生児聴力検査		410	396	429	
ラジオ波		0	0	10	
心カテ		543	514	561	
アブレーション		133	147	190	
ペースメーカーチェック (2019 年～臨床工学室へ)		1,067	1,082	0	
術中モニタリング		1	1	2	
皮下連続式グルコース測定		0	0	0	
SAP 療法の CGM データ解析		50	38	37	
耳鼻科検査 (2016.10.24 より実施)	標準純音聴力検査	326	347	313	
	簡易聴力検査	196	180	173	
	標準語音検査	22	40	30	
	SISI (内耳機能検査)	3	2	1	
	ベケシー (一過性閾値変動検査)	4	3	1	
	ティンパノメトリー	283	325	294	
	SR (耳小骨筋反射)	28	21	13	
	OAE (耳音響放射検査)	29	38	25	
	遊戯聴力検査	7	10	7	
	耳鳴検査	21	27	30	
	音声機能検査	4	19	19	
	耳管機能検査	14	10	12	
	鼻腔通気度	75	64	92	
	味覚検査	ディスク法	5	4	11
		電気刺激法	5	4	11
In Body (2019 年～)		-	-	526	

## 8. 病理検査

		2017	2018	2019
組織診	件数	4,680	4,626	5,413
	検体数	26,828	23,826	33,606
	ブロック数	13,889	13,347	16,424
	迅速診断	118	89	112
	免疫染色	5,824	5,981	8,649
	特殊染色	3,786	3,798	6,235
	蛍光抗体法	51	30	55
	他機関標本診断	32	31	87
細胞診	件数	4,719	4,568	4,937
	総枚数	9,482	9,293	10,354
US 介助		371	373	522
CT 介助		58	56	55
EBUS 介助		57	42	35
大量体腔液処理		36	52	52
ESD 寒天法		80	47	100
外来介助		33	12	19
解剖		15	15	15
免疫染色 4 種類以上加算		266	355	403

## 9. その他

		2017	2018	2019
体外授精	IVF (2019 年～)	-	-	16
	AIH	2	16	13
	授精卵凍結 (2019 年～)	-	-	26
	授精卵融解 (2019 年～)	-	-	11
	顕微授精 (2019 年～)	-	-	14
採血業務 ☆		247	248	244
SMBG 指導		15	19	19

☆午前 1 名 中央処置室に採血に出た日数  
SMBG 指導 (2018 年 4 月 21 日～)

## 10. 細菌検査詳細統計

分離株件数

	2017	2018	2019
Aspergillus sp.	12	11	9
Bordetella pertussis (2019 年～)	-	-	1
Candida albicans	862	733	682
Candida sp.	523	471	413
Citrobacter freundii	24	23	33
Enterobacter aerogenes	28	60	49

Enterobacter cloacae	93	74	83
Escherichia coli	503	475	493
Escherichia coli-ESBL	121	198	210
Klebsiella oxytoca	106	91	139
Klebsiella oxytoca-ESBL	28	8	14
Klebsiella pneumoniae	253	274	217
Klebsiella pneumoniae-ESBL	20	27	48
Proteus mirabilis	63	68	97
Proteus mirabilis-ESBL	4	1	0
Proteus vulgaris	6	12	16
Serratia marcescens	70	42	47
Salmonella sp.	11	8	2
Campylobacter sp.	17	7	12
Pseudomonas aeruginosa	252	259	250
Pseudomonas aeruginosa (MDRP)	1	2	0
Stenotrophomonas maltophilia	65	52	42
Burkholderia cepacia	9	2	0
Moraxella catarrhalis	88	93	134
Neisseria gonorrhoeae	1	1	1
Haemophilus influenzae	75	62	105
Haemophilus influenzae (BLNAR)	61	55	69
Staphylococcus aureus (MSSA)	365	323	276
Staphylococcus aureus (MRSA)	508	470	398
CNS	165	159	173
MRCNS	126	125	185
Enterococcus faecalis	169	206	211
Enterococcus faecium	88	74	58
Streptococcus agalactiae	205	159	176
Streptococcus pneumoniae (PSSP)	107	91	122
Streptococcus pneumoniae (PRSP) (2019年～)	-	-	3
Streptococcus pneumoniae (PISP)		1	4
Streptococcus pyogenes	27	12	13

検体別検査件数

	2017	2018	2019
喀痰	1721	1135	1064
鼻腔	734	884	883
咽頭分泌物	213	184	301
気管支洗浄液	347	193	113
胃液	26	2	2
尿	1717	1733	2015
糞便	470	477	411



膿（開放性）	301	245	179
膿（非開放性）	169	130	165
静脈血	3629	3748	4316
動脈血	393	325	365
腔分泌物	723	578	658
子宮分泌物	18	16	35
耳漏	26	30	32
口腔内	8	10	14
眼脂	15	30	25
髄液	94	89	158
胆汁	43	44	25
胸水	218	156	117
腹水	77	60	72
関節液	41	26	36
カテ先端	37	41	28
IVH 先端	18	28	18
大腸生検	19	13	30
その他	601	292	399
合 計	11658	10469	11461

#### 11. 病理診断科・臨床検査科

	2017	2018	2019
超音波検査	194	206	255
穿刺吸引細胞診	257	254	362
針生検	6	20	27
その他検体採取	0	0	0

## 薬剤部

### 処方箋枚数

	2017	2018	2019
院外（外来）	86,289	83,660	82,563
院内（外来）	10,747	9,589	10,189
入院	76,554	75,196	80,162

### 麻薬使用量

	2017	2018	2019
フェンタニル注 0.1mg2ml (アンプル)	7,583	7,667	8,538
フェンタニル注 0.25mg5ml (アンプル)	1,264	—	—
フェンタニル注 0.5mg10ml (アンプル)	2,747	3,056	4,222
アルチバ静注用 2mg (後発含む) (バイアル)	1,475	1,553	1,981
アルチバ静注用 5mg (後発含む) (バイアル)	349	282	192

ケタラール静注用 50mg	(バイアル)	2	19	21
ケタラール静注用 200mg	(バイアル)	—	10	1
ケタラール筋注用 500mg	(バイアル)	8	0	11
アンペック坐剤 10mg	(個)	92	120	65
アンペック坐剤 20mg	(個)	44	—	—
アンペック坐剤 30mg	(個)	23	—	—
塩酸モルヒネ注射液 1% 1ml	(アンプル)	1,276	1,296	1,109
塩酸モルヒネ注射液 1% 5ml	(アンプル)	379	449	635
塩酸モルヒネ注射液 4% 5ml	(アンプル)	211	97	164
MS コンチン錠 10mg	(錠)	1,918	1,083	1,768
MS コンチン錠 30mg	(錠)	401	208	105
MS コンチン錠 60mg	(錠)	126	44	220
オキファスト注 10mg	(アンプル)	100	68	75
オキファスト注 50mg	(アンプル)	219	532	369
デュロテップMTパッチ 2.1mg	(枚)	7	36	39
デュロテップMTパッチ 4.2mg	(枚)	30	15	12
デュロテップMTパッチ 8.4mg	(枚)	51	0	6
オキシコンチン錠 5mg (後発含む)	(錠)	3,432	2,837	4,917
オキシコンチン錠 10mg (後発含む)	(錠)	3,607	2,613	5,333
オキシコンチン錠 20mg (後発含む)	(錠)	2,120	1,848	848
オキシコンチン錠 40mg (後発含む)	(錠)	1,818	1,218	1,088
オキノーム散 2.5mg	(包)	1,572	1,741	3,021
オキノーム散 5mg	(包)	1,548	1,542	2,179
オキノーム散 10mg	(包)	1,811	1,358	1,713
オキノーム散 20mg	(包)	2,170	611	1,025
オプソ内服液 5mg	(包)	1,364	849	1,213
オプソ内服液 10mg	(包)	1,497	610	816
フェントステープ 1mg	(枚)	764	1,085	917
フェントステープ 2mg	(枚)	1,053	1,375	889
フェントステープ 4mg	(枚)	523	179	506
フェントステープ 6mg	(枚)	93	79	21
フェントステープ 8mg	(枚)	111	75	452
イーフェンバッカル錠 50 $\mu$ g	(錠)	543	167	151
イーフェンバッカル錠 100 $\mu$ g	(錠)	635	204	144
イーフェンバッカル錠 200 $\mu$ g	(錠)	131	84	236
イーフェンバッカル錠 400 $\mu$ g	(錠)	173	52	43

## 2017 - 2019 月別

## 処方箋枚数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
院外	6,857	6,518	7,126	6,917	6,994	6,482	7,118	7,093	6,502	7,123	6,678	7,155	82,563
院内	946	737	700	842	882	799	831	941	787	930	779	1,015	10,189
入院	6,187	6,242	6,963	6,892	6,567	6,352	6,775	6,567	6,140	7,131	6,965	7,381	80,162

## 院外処方箋発行率 (%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
2017	88.4	87.6	88.0	89.4	88.6	90.3	88.5	88.9	89.1	89.2	90.1	89.4	89.0
2018	88.2	88.2	89.6	89.7	89.5	90.6	89.9	90.0	89.8	90.3	90.5	90.2	89.7
2019	87.9	89.8	91.1	89.1	88.8	89.0	89.5	88.3	89.2	88.5	89.6	87.6	89.0

## 薬剤管理指導（入院服薬指導）件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2017	77	79	78	70	90	105	64	84	67	96	101	64	975
2018	88	79	125	126	134	178	333	297	203	298	323	106	2,290
2019	227	406	373	147	94	76	118	109	108	151	223	161	2,193

## 無菌製剤処理件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2017	563	688	642	591	641	640	705	582	583	617	588	431	7,271
2018	519	514	530	559	646	611	531	612	610	606	627	552	6,917
2019	639	563	508	597	710	679	807	837	676	790	693	687	8,186

## 在宅中心静脈栄養管理料

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2017	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
2018	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
2019	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

## 薬剤情報提供件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
2017	514	653	636	515	605	489	651	651	570	549	489	550	6,872
2018	636	423	475	498	543	437	515	573	474	498	481	468	6,021
2019	636	503	475	498	543	437	515	573	474	498	481	468	6,101

## 栄養管理室

### 個別栄養指導

	2017	2018	2019
糖尿病	1,083	1,129	1,243
腎臓病	59	43	68
血液透析	24	7	26
その他	781	839	1,160
合 計	1,947	2,018	2,497

### 集団栄養指導

	2017	2018	2019
糖尿病教室	126	147	114
両親学級	60	47	70

### NST 介入者数

	2017	2018	2019
延べ人数	707	664	593

## 地域連携センター・がん相談支援センター

### 相談事項

		2017	2018	2019
医療関連	高額療養費申請	919	682	397
	医療費支払いに関すること	299	379	245
	健康保険に関すること	26	42	46
	傷病手当金に関すること	33	8	35
	公費制度に関すること	216	160	175
	障害年金に関すること	125	92	59
	医療に関するその他の相談	127	74	211
小 計		1,745	1,437	1,168
福祉関連	退院援助（施設入所・転院）	9,491	9,513	9,085
	“ （在宅介護・社会復帰）	4,525	4,553	4,863
	介護保険に関すること	2,113	2,043	1,803
	生活保護に関すること	364	269	370
	身体障害者に関すること	575	418	341
	精神障害者に関すること	256	232	197
	外来患者に関すること	331	386	371
	入院患者・入院中の援助	108	124	101
	独居患者に関すること	921	575	540
	福祉に関するその他の相談	1,484	1,526	2,262
小 計		20,168	19,639	19,933

合 計	21,913	21,076	21,101
-----	--------	--------	--------

患者紹介予約申込件数

	2017	2018	2019
予約件数	5,455	5,724	8,548

がん相談内容別相談件数

大項目	小項目	2017	2018	2019
一般医療情報	がんの治療	369	496	436
	がんの検査	43	88	115
	症状・副作用・後遺症	1,135	1,035	969
小 計		1,547	1,619	1,520
医療機関の情報	セカンドオピニオン（一般）	38	43	49
	セカンドオピニオン（受入）	11	24	25
	セカンドオピニオン（他へ紹介）	22	25	63
	治療実績	12	17	9
	臨床試験・先進医療*	4	22	25
	受診方法・入院	146	184	140
	転院	1,632	1,381	1,505
	医療機関の紹介	58	60	41
	がんの予防・検診	3	4	4
	在宅医療	1,545	1,370	1,680
	ホスピス・緩和ケア	468	209	126
小 計		3,939	3,339	3,667
日常生活	食事・服薬・入浴・運動・外出など	59	56	72
	介護・看護・養育	703	550	623
	社会生活（仕事・就労・学業）	39	95	62
	医療費・生活費・社会保障制度	793	660	467
	補完代替療法	26	17	20
	生きがい・価値観*	46	95	92
	不安・精神的苦痛	456	344	443
小 計		2,122	1,817	1,779
関係性	告知	158	21	19
	医療者との関係	109	107	167
	患者－家族間関係	168	238	286
	友人・知人・職場の人間関係	4	13	13
小 計		439	379	485
ピア情報	患者会・家族会（ピア情報）	52	81	82
不明	不明*		1	2
その他	その他	641	474	531
合 計		8,740	7,710	8,066

\* 2017年10月より統計項目変更によって追加した項目

## 患者支援センター 医事（公的医療の状況）

国の治療研究事業

旧番号	番号	疾患名	2017	2018	新規	削除*	2019
48	001	球脊髄性筋萎縮症					
8	002	筋萎縮性側索硬化症	1		1		1
47	003	脊髄性筋萎縮症	1	2			2
	004	原発性側索硬化症					
	005	進行性核上性麻痺			1		1
20	006	パーキンソン病	31	27	13	4	36
	007	大脳皮質基底核変性症	2	1			1
23	008	ハンチントン病					
	009	神経有棘赤血球症					
	010	シャルコー・マリー・トゥース病					
3	011	重症筋無力症	20	22	3	3	22
	012	先天性筋無力症候群					
2	013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	15	17	2	1	18
49	014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8	5	1		6
	015	封入体筋炎		1	2		3
	016	クロウ・深瀬症候群	1	2		2	
27	017	多系統萎縮症	3	1	1		2
16	018	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	1	1	1		2
44	019	ライソゾーム病		1			1
45	020	副腎白質ジストロフィー					
52	021	ミトコンドリア病					
24	022	もやもや病	6	6		2	4
38	023	プリオン病	1				
41	024	亜急性硬化性全脳炎					
	025	進行性多巣性白質脳症					
	026	HTLV-1 関連脊髄症					
	027	特発性基底核石灰化症					
21	028	全身性アミロイドーシス	1	1	2		3
	029	ウルリッヒ病					
	030	遠位型ミオパチー					
	031	ベスレムミオパチー					
	032	自己貪食空胞性ミオパチー					
	033	シュワルツ・ヤンペル症候群					
40	034	神経線維腫症	2	2		1	1
15	035	天疱瘡	4	7	8	3	12
28	036	表皮水疱症			1		1
29	037	膿疱性乾癬（汎発型）	3	4			4
54	038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	1		1	

	039	中毒性表皮壊死症					
13	040	高安動脈炎	1	1		1	
	041	巨細胞性動脈炎	1	1			1
11	042	結節性多発動脈炎	1	1	1		2
	043	顕微鏡的多発血管炎	8	8	3		11
25	044	多発血管炎性肉芽腫症	2	2	1	2	1
	045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	3		1	2
19	046	悪性関節リウマチ					
14	047	バージャー病	2	2		1	1
	048	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	3			3
4	049	全身性エリテマトーデス	21	21	6		27
9	050	皮膚筋炎／多発性筋炎	15	18	4	4	18
9	051	全身性強皮症	7	15	8		23
34	052	混合性結合組織病	2	2			2
	053	シェーグレン症候群	14	15	4		19
	054	成人スチル病	2	4	2	1	5
	055	再発性多発軟骨炎	1	1	2		3
1	056	ベーチェット病	7	7		1	6
26	057	特発性拡張型心筋症	19	23	2	3	22
50	058	肥大型心筋症	5	4	3		7
51	059	拘束型心筋症					
6	060	再生不良性貧血	20	13		1	12
	061	自己免疫性溶血性貧血	2	2		2	
	062	発作性夜間ヘモグロビン尿症					
10	063	特発性血小板減少性紫斑病	25	21	10	7	24
	064	血栓性血小板減少性紫斑病					
35	065	原発性免疫不全症候群	1	1			1
	066	Ig A 腎症	1	1	6		7
	067	多発性嚢胞腎	3	1			1
55	068	黄色靱帯骨化症	6	5	4	2	7
22	069	後縦靱帯骨化症	8	10	5	5	10
30	070	広範脊柱管狭窄症	2	2	5		7
33	071	特発性大腿骨頭壊死症	4	3		1	2
56	072	下垂体性 ADH 分泌異常症			1		1
56	073	下垂体性 TSH 分泌亢進症					
56	074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	1				
56	075	クッシング病					
56	076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症					
56	077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症					
56	078	下垂体前葉機能低下症	7	9	3		12
46	079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）					
	080	甲状腺ホルモン不応症					

	081	先天性副腎皮質酵素欠損症					
	082	先天性副腎低形成症					
	083	アジソン病					
7	084	サルコイドーシス	24	21	4	1	24
36	085	特発性間質性肺炎	7	11	10	2	19
39	086	肺動脈性肺高血圧症	5	5	1	1	5
	087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症					
43	088	慢性血栓性肺高血圧症	1	1			1
53	089	リンパ管筋腫症	1	1			1
37	090	網膜色素変性症	1	1	1		2
42	091	バッド・キアリ症候群					
	092	特発性門脈圧亢進症					
31	093	原発性胆汁性肝硬変	3	5	1	3	3
	094	原発性硬化性胆管炎	2	1			1
	095	自己免疫性肝炎	1	2			2
17	096	クローン病	20	21			21
12	097	潰瘍性大腸炎	37	33	13	6	40
	098	好酸球性消化管疾患					
	099	慢性特発性偽性腸閉塞症					
	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症					
	101	腸管神経節細胞僅少症					
	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群					
	103	CFC 症候群					
	104	コストロ症候群					
	105	チャージ症候群					
	106	クリオピリン関連周期熱症候群			2		2
	107	全身型若年性特発性関節炎					
	108	TNF 受容体関連周期性症候群					
	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1	1		1	
	110	ブラウ症候群					
	111	先天性ミオパチー					
	112	マリネスコ・シェーグレン症候群					
	113	筋ジストロフィー	1	2	1		3
	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群					
	115	遺伝性周期性四肢麻痺					
	116	アトピー性脊髄炎					
	117	脊髄空洞症					
	118	脊髄髄膜瘤					
	119	アイザックス症候群					
	120	遺伝性ジストニア					
	121	神経フェリチン症					
	122	脳表ヘモジデリン沈着症					



123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症					
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症					
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症					
126	ペリー症候群					
127	前頭側頭葉変性症					
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎					
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症			1		1
130	先天性無痛無汗症					
131	アレキサンダー病					
132	先天性核上性球麻痺					
133	メビウス症候群					
134	中隔視神経形成異常症 / ドモルシア症候群					
135	アイカルディ症候群					
136	片側巨脳症					
137	限局性皮質異形成					
138	神経細胞移動異常症					
139	先天性大脳白質形成不全症					
140	ドラベ症候群					
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん					
142	ミオクロニー欠神てんかん					
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん					
144	レノックス・ガストー症候群					
145	ウエスト症候群					
146	大田原症候群					
147	早期ミオクロニー脳症					
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん					
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群					
150	環状 20 番染色体症候群					
151	ラスムッセン脳炎					
152	PCDH19 関連症候群					
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎					
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症					
155	ランドウ・クレフナー症候群					
156	レット症候群					
157	スタージ・ウェーバー症候群					
158	結節性硬化症			1		1
159	色素性乾皮症					
160	先天性魚鱗癬					
161	家族性良性慢性天疱瘡					
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱瘡を含む。）	8	8	1	4	5
163	特発性後天性全身性無汗症					
164	眼皮膚白皮症					

165	肥厚性皮膚骨膜炎					
166	弾性線維性仮性黄色腫					
167	マルファン症候群					
168	エーラス・ダンロス症候群					
169	メンケス病					
170	オクシピタル・ホーン症候群					
171	ウィルソン病					
172	低ホスファターゼ症					
173	VATER 症候群					
174	那須・ハコラ病					
175	ウィーバー症候群					
176	コフィン・ローリー症候群					
177	有馬症候群					
178	モワット・ウィルソン症候群					
179	ウィリアムズ症候群					
180	A T R-X 症候群					
181	クルーゾン症候群					
182	アペール症候群					
183	ファイファー症候群					
184	アントレー・ビクスラー症候群					
185	コフィン・シリス症候群					
186	ロスムンド・トムソン症候群					
187	歌舞伎症候群					
188	多脾症候群					
189	無脾症候群					
190	鰓耳腎症候群					
191	ウェルナー症候群					
192	コケイン症候群					
193	プラダー・ウィリ症候群					
194	ソトス症候群					
195	ヌーナン症候群					
196	ヤング・シンプソン症候群					
197	1p36 欠失症候群					
198	4p 欠失症候群					
199	5p 欠失症候群					
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群					
201	アンジェルマン症候群					
202	スミス・マギニス症候群					
203	22q11.2 欠失症候群					
204	エマヌエル症候群					
205	脆弱 X 症候群関連疾患					
206	脆弱 X 症候群					

207	総動脈幹遺残症					
208	修正大血管転位症					
209	完全大血管転位症					
210	単心室症					
211	左心低形成症候群					
212	三尖弁閉鎖症					
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症					
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症					
215	ファロー四徴症					
216	両大血管右室起始症			1		1
217	エプスタイン病					
218	アルポート症候群	1	1			1
219	ギャロウェイ・モワト症候群					
220	急速進行性糸球体腎炎			5		5
221	抗糸球体基底膜腎炎					
222	一次性ネフローゼ症候群	1	1	6		7
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎					
224	紫斑病性腎炎					
225	先天性腎性尿崩症					
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）					
227	オスラー病					
228	閉塞性細気管支炎					
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）					
230	肺胞低換気症候群					
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症					
232	カーニー複合					
233	ウォルフラム症候群					
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）					
235	副甲状腺機能低下症					
236	偽性副甲状腺機能低下症					
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症					
238	ビタミンD抵抗性くる病 / 骨軟化症					
239	ビタミンD依存性くる病 / 骨軟化症					
240	フェニルケトン尿症					
241	高チロシン血症 1 型					
242	高チロシン血症 2 型					
243	高チロシン血症 3 型					
244	メープルシロップ尿症					
245	プロピオン酸血症					
246	メチルマロン酸血症					
247	イソ吉草酸血症					
248	グルコーストランスポーター 1 欠損症					

249	グルタル酸血症 1 型				
250	グルタル酸血症 2 型				
251	尿素サイクル異常症				
252	リジン尿性蛋白不耐症				
253	先天性葉酸吸収不全				
254	ポルフィリン症				
255	複合カルボキシラーゼ欠損症				
256	筋型糖原病				
257	肝型糖原病				
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症				
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症				
260	シトステロール血症				
261	タンジール病				
262	原発性高カイロミクロン血症				
263	脳腱黄色腫症				
264	無 $\beta$ リポタンパク血症				
265	脂肪萎縮症				
266	家族性地中海熱				
267	高IgD症候群				
268	中條・西村症候群				
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群				
270	慢性再発性多発性骨髄炎				
271	強直性脊椎炎	1	1	1	2
272	進行性骨化性線維異形成症				
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症				
274	骨形成不全症				
275	タナトフォリック骨異形成症				
276	軟骨無形成症				
277	リンパ管腫症 / ゴーハム病				
278	巨大リンパ管奇形 (頸部顔面病変)				
279	巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)				
280	巨大動静脈奇形 (頸部顔面又は四肢病変)				
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群				
282	先天性赤血球形成異常性貧血				
283	後天性赤芽球癆				
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血				
285	ファンコニ貧血				
286	遺伝性鉄芽球性貧血				
287	エプスタイン症候群				
288	自己免疫性出血病 XIII				
289	クロンカイト・カナダ症候群				
290	非特異性多発性小腸潰瘍症				

	291	ヒルシスプルング病（全結腸型又は小腸型）				
	292	総排泄腔外反症				
	293	総排泄腔遺残				
	294	先天性横隔膜ヘルニア				
	295	乳幼児肝巨大血管腫				
	296	胆道閉鎖症		1		1
	297	アラジール症候群				
	298	遺伝性膀胱炎				
	299	嚢胞性線維症				
0	300	IgG4 関連疾患		1		1
	301	黄斑ジストロフィー				
	302	レーベル遺伝性視神経症				
	303	アッシャー症候群				
	304	若年発症型両側性感音難聴				
	305	遅発性内リンパ水腫				
	306	好酸球性副鼻腔炎				
	307	カナバン病				
	308	進行性白質脳症				
	309	進行性ミオクローヌステんかん				
	310	先天性異常症候群				
	311	先天性三尖弁狭窄症				
	312	先天性僧帽弁狭窄症				
	313	先天性肺静脈狭窄症				
	314	左肺動脈右肺動脈起始症				
	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX1B 関連腎症				
	316	カルニチン回路異常症				
	317	三頭酵素欠損症				
	318	シトリン欠損症				
	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症				
	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症				
	321	非ケトーシス型高グリシン血症				
	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症				
	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症				
	324	メチルグルタコン酸尿症				
	325	遺伝性自己炎症疾患				
	326	大理石骨病				
	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性要因によるものに限る）				
	328	前眼部形成異常				
	329	無虹彩症				
	330	先天性気管狭窄症 / 先天性声門下狭窄症				
	331	特発性多中心性キャッスルマン病				
	332	膠様敵状角膜ジストロフィー				

333	ハッチンソン・ギルフォード症候群					
合 計		410	416	157	67	506

\* 死亡を含む

小児慢性特定疾患治療研究事業

番号	疾 患 名	2017	2018	新規	削除*	2019
1	悪性新生物	9	8		1	7
2	慢性腎疾患	7	10	2	4	8
3	慢性呼吸器疾患	4	4		1	3
4	慢性心疾患	36	38	3		41
5	内分泌疾患	13	20	2	6	16
6	膠原病	4	3	5		8
7	糖尿病	5	9		4	5
8	先天性代謝異常	4	4			4
9	血液疾患	1	1	2		3
10	免疫疾患					
11	神経・筋疾患	18	26	3	6	23
12	慢性消化器疾患	9	9	1		10
13	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	9	15		3	12
14	皮膚疾患					
合 計		119	147	18	25	140

\* 死亡を含む

医療費公費負担申請状況

疾 患 名	2017	2018	新規	削除*	2019
特定疾患	410	416	157	67	506
小児慢性特定疾患	119	147	18	25	140
更生医療 心臓・透析等	268	311	202	184	329
育成医療	6	5	3	5	3
養育医療	3	4	7	4	7
精神保健福祉法	382	425	22	352	95
結核予防法	15	10	10	16	4
合 計	1203	1318	419	653	1084

\* 死亡を含む

## 病理診断科

院内死亡数及び剖検率の推移

年	2017	2018	2019
解剖数	14 (院内13/院外1)	15	13 (院内12/院外1)
死亡患者数	484	467	495
入院患者死亡数	405	389	425
外来死亡患者数		78	70
剖検率	2.7	3.2	2.6
死亡退院 剖検率	3.2	2.6	1.9
外来死亡 剖検率		6.4	5.7

2017年,2019年の剖検率は院内症例数で計算

【言葉の定義】解剖数：当院で実施した病理解剖数

死亡患者数：死亡退院患者数および外来死亡患者数の合計

入院患者死亡数：死亡退院された患者数

外来死亡患者数：救命救急入院料を算定した外来死亡患者数  
(CPA患者の死亡患者数)

剖検率：解剖数/死亡患者数×100(%)

死亡退院 剖検率：死亡退院の解剖数/入院患者死亡数×100(%)

外来死亡 剖検率：外来死亡の解剖数/外来死亡患者数×100(%)

2019年診療科別剖検数

診療科	総合内科	血液内科	消化器内科	小児科	救急科	院外	合計
剖検数	4	1	1	1	5	1	13

病理解剖症例一覧(2018年1月～12月)

剖検番号	年齢	性	診療科	臨床診断	病理解剖診断
950	87	男性	心臓内科	心室細動	右冠動脈PCI後(ステント留置後)+左冠動脈前下行枝高度狭窄+左室壁亜急性期心筋梗塞(360g) 1. 両側陳旧性胸膜炎(左肺380g/右肺300g) 2. 大腸憩室症
951	81	男性	呼吸器内科	左鼻腔悪性黒色腫, 多臓器不全	鼻腔の悪性黒色腫 転: なし ①広範出血性腸炎および腸管壊死(十二指腸～下行結腸) 2. 陳旧性胸膜炎(除結核) 3. 急性尿管細管障害
952	81	男性	救急科	左上葉肺癌, 誤嚥性肺炎	二重癌 1) 左上葉肺癌(扁平上皮癌+LCNEC)リンパ節転移 2) 甲状腺右葉乳頭癌 転: なし 1. 誤嚥性肺炎(左450g:右530g) 2. 出血性腸炎+腹膜炎, 大腸憩室症 3. 胆汁鬱滞(肝, 1200g) 4. 舌潰瘍 5. 糖尿病性腎症(150g:160g) 6. 動脈硬化症(大動脈, 細小動脈) 8. 骨髓過形成 9. 腔水症(左胸水(600mL), 腹水(200mL))
953	92	女性	救急科	心タンポナーデ	急性心筋梗塞(左室前壁, 第一対角枝完全閉塞)(250g) ①. 左室自由壁破裂・心タンポナーデ(血性心嚢水60ml+血腫60g) 2. 肺水腫・肺鬱血(左350g:右240g) 3. 右水腎症・慢性腎盂腎炎(左90g:右120g) 4. 膀胱炎 5. 腺腫様甲状腺腫(10g) 6. 粥状動脈硬化症 7. 腔水症(左血胸70ml:右血胸100ml)

954	74	男性	消化器内科	総胆管結石	食道癌(扁平上皮癌, 進行癌, 術後, 中分化) 転:なし 1. 肺水腫・肺うっ血(左 620g/右 550g) 2. 急性胆管炎・総胆管結石症 3. 透析腎(左 70g/右 66g) 4. 橋本甲状腺炎 5. 脳浮腫 6. 胸水(左 70ml/右 200ml) 7. 刺激伝導系異常(不整脈)
955	74	女性	総合内科	PBC 敗血症	原発性胆汁性胆管炎による肝硬変とショック肝(500g) ②. 真菌性膀胱炎と敗血症 3. サイトメガロウイルス感染症 4. 肥大型心筋症(500g) 6. 急性細尿管障害(左 120g/右 110g) 7. 血球貧食症候群の疑い
956	68	男性	救急科	症候性てんかん悪化による痙攣重積での心停止(疑)	肺水腫・肺うっ血 1. 左側頭部の動静脈奇形術後 2. 術後てんかん 3. 小腸炎
957	96	女性	救急科	CPA	心臓性突然死 1. アミロイドーシス 2. 肝多発嚢胞 3. 胆嚢結石 3. 食道平滑筋腫 4. 軽度無気肺と肺出血 5. 両側胸水
958	71	女性	消化器内科	感染症(誤嚥性肺炎), 逆流性食道炎, 慢性腎不全の悪化による高K血症	二重癌 1) 甲状腺乳頭癌(apT1a,NX,MX,stage I) 転:なし 2) 多発肺上皮内肺腺癌(apTis,NX,MX,stage0) 転:なし ①. 非閉塞性腸管壊死(回腸~横行結腸) 2. DIC(全身性出血)
959	62	男性	救急科	頸部深層の軟部組織感染症(NSTI)による多臓器不全	頸部壊死性軟部組織感染症 1. 扁桃膿瘍 2. 細菌性肺炎・肺水腫(左 380g:右 370g) 3. 鬱血肝 4. 鬱血腎(左 150g:右 150g) 5. 副脾 6. 右大動脈弓
960	92	男性	救急科	非閉塞性腸管虚血, 多臓器不全	壊死性腸炎 ①. 急性尿細管壊死 ②. 肝不全 3. 肺炎(左 280g/右 440g) 4. 多発性胃潰瘍 5. 腔水症; 腹水(800ml) 胸水(左 200ml/右 400ml)
961	89	女性	総合内科	非閉塞性腸管虚血	乳腺癌(癌(腫), 術後) 転移なし ①. 壊死性腸炎 2. パーキンソン病 3. 器質化肺炎(放射線照射による) 4. 胃潰瘍
962	75	女性	呼吸器内科	急性腎不全	1. 急性+器質化肺炎, 原発性および二次性肺高血圧症(左 450g/右 460g) 2. 大動脈弁置換術+僧帽弁形成術後の肥大心(720g) 3. 血管奇形(右側大動脈弓, 左鎖骨下動脈の起始異常, Kommerell 憩室, 肺動脈瘤) 4. 肝細胞小葉中心性壊死(920g) 5. ショック腎(左 180g/右 171g) 6. 腔水症
963	80	男性	血液内科	敗血症, 肝硬変, 慢性炎症	二重癌 1) 血管内大細胞型B細胞性悪性リンパ腫 転移あり, 血球貧食症候群とDIC併発 2) 盲腸癌(早期癌, 術後) 転移なし 1. アミロイドーシス(高度:心臓, 軽度:舌・胃) 2. 肝硬変~肝線維症(HCV) 3. 多発腺腫(10個以上, „lps/lp, 最大7mm) 4. 胃GIST(4mm) 5. 胆管黒色結石(8mm) 6. 慢性膵炎+急性膵炎
964	84	男性	総合内科	肺胞出血, 急性腎障害	びまん性肺胞出血 ①. 肺水腫 ②. 増殖性糸球体腎炎(20%の半月体形成) 3. 陳旧性心筋梗塞(中隔) 4. 鬱血肝 5. 慢性胆嚢炎 6. 膀胱炎(急性+濾胞性) 7. 前立腺肥大 8. 腔水症:左胸水(800ml), 腹水(300ml)



# 医療安全対策室

## インシデントアクシデントレポート（医療安全対策室）

### レベル別

事故レベル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ヒヤリ・ハット	21	23	15	24	18	25	27	11	28	32	25	20	269
レベル 1	93	78	113	90	89	88	106	107	85	107	118	109	1,183
レベル 2	58	58	57	60	58	56	66	69	55	47	54	79	717
小 計	172	159	185	174	165	169	199	187	168	186	197	208	2,169
レベル 3	1	4	4	1	5	8	1	7	7	3	7	2	50
レベル 4			1	1			1						3
レベル 5									1				1
小 計	1	4	5	2	5	8	2	7	8	3	7	2	54
合 計	173	163	190	176	170	177	201	194	176	189	204	210	2,223

### 職種別

職 種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
医師（歯科医含む）	7	10	10	10	8	12	7	8	9	8	12	6	107
医療アシスタント	1		6	4	8	3	2	3	1	5	1		34
小 計	8	10	16	14	16	15	9	11	10	13	13	6	141
助産師・看護師	153	133	152	134	136	137	162	162	140	148	172	182	1,811
看護助手	1	1	1	1									4
小 計	154	134	153	135	136	137	162	162	140	148	172	182	1,815
薬剤師	5	4	12	9	4	4	10	6	12	10	10	10	96
栄養士					1	1	1	1	1				5
調理従事者													0
診療放射線技師	1	1	1		1	1	3		4	1	1	4	18
臨床検査技師	5	8	6	10	7	12	12	9	6	7	3	6	91
理学療法士		1	1		1	1			1	6	3		14
歯科衛生士				1				1					2
診療情報管理士													0
MSW						1							1
臨床工学技士		3		3	2	2	1	2	2	1	2	1	19
医療助手					1								1
小 計	11	17	20	23	17	22	27	19	26	25	19	21	247
事務職員								1		1			2
小 計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
合 計	173	161	189	172	169	174	198	192	176	186	204	209	2,205
その他		2	1	4	1	3	3	1		2		1	18

### 発生場面別

発生場面		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
指示・情報伝達	1 オーダー・指示出し													0
	2 情報伝達課程	8	7	6		3	7	7	4	1	10	5	11	69
	小 計	8	7	6	0	3	7	7	4	1	10	5	11	69
薬剤・輸液	3 与薬準備	5	5	7	3	3	2	2	4	4	3	6	4	48
	4 処方・与薬	38	37	48	59	50	48	71	66	68	55	71	54	665
	5 調剤・製剤管理等	14	8	15	11	9	7	15	5	17	13	16	17	147
	6 輸血	1	3	3	1	2		1	2	3	4	3	2	25
	小 計	58	53	73	74	64	57	89	77	92	75	96	77	885
治療・処置	7 手術	6	2	6	5	5	7	4	8	6	6	9	3	67

	8	麻酔					2			1	1	2	2		8
	9	出産・人工流産													0
	10	その他の治療		2		2	1	2	1	1		3	1	1	14
	11	処置	3	8	4	2	4	4	3	4	6	8	5	2	53
	12	診察	1	2		2	1			1		1	1		9
		小計	10	14	10	11	13	13	8	15	13	20	18	6	151
医療用具、チューブ類の使用管理	13	医療用具（機器）の使用・管理	4	4	2	5	3	3	3	1	6	8	4	3	46
	14	ドレーン・チューブ類の使用・管理	29	22	29	26	25	26	14	21	10	20	28	26	276
		小計	33	26	31	31	28	29	17	22	16	28	32	29	322
検査	15	検査	18	15	18	18	14	23	31	20	17	13	17	25	229
		小計	18	15	18	18	14	23	31	20	17	13	17	25	229
療養上の場面	16	療養上の世話	22	25	18	18	22	18	16	27	15	11	11	27	230
	17	給食・栄養	5	3	7	3	6	3	6	3	1	3	3	8	51
	18	その他の療養生活の場面	4	3	2	4	6	1	5	6	4	3	6	9	53
		小計	31	31	27	25	34	22	27	36	20	17	20	44	334
その他の場面	19	物品搬送							1		1	1			3
	20	放射線管理								1					1
	21	診療情報管理	1	1	1	4		3	1	4	6	6	1	2	30
	22	患者・家族への説明	2	2		1	2	4	5	4		4	1	2	27
	23	施設・設備	1			1				1					3
	24	その他	11	14	24	11	12	19	15	10	10	15	14	14	169
		小計	15	17	25	17	14	26	22	20	17	26	16	18	233
合計			173	163	190	176	170	177	201	194	176	189	204	210	2,223

## 感染防止対策室

### 針刺し件数

		2017	2018	2019
職種	医師	9	4	9
	研修医	4	0	1
	看護師	22	12	17
	検査技師	0	0	0
	その他	1	4	1
経験年数	1年未満	11	4	11
	1～5年	7	7	8
	6～10年	7	2	3
	11年以上	11	7	6
発生場所	病室	7	4	6
	スタッフステーション	8	3	7
	ICU・NICU	4	1	1
	手術室	6	3	4
	救急外来	3	2	3
	中央処置室	1	0	0
	検査室	0	0	1
	中央放射線室	5	2	2
その他	2	5	4	

創傷部位	左手・指	23	13	22
	右手・指	11	7	6
	その他	2	0	0
使用器材	採血針	5	0	3
	注射針	7	5	5
	インスリン針	9	3	5
	留置針	1	1	2
	CVポート針	0	1	0
	縫合針	7	1	4
	メス	1	2	1
	電気メス	0	0	0
	ワイヤー	0	0	0
	その他	6	7	8
	発生場面・理由等	患者使用中	5	2
縫合時・介助時		1	2	0
リキャップ時		4	2	3
抜針時		1	1	0
安全機能作動時		0	0	0
廃棄時		3	3	3
他者が持っていた針等		3	1	0
分注時		0	0	0
その他		16	7	15
☆未使用		3	2	2
感染症	HBV	1	0	2
	HCV	0	0	3
	HIV	0	0	0
	不明	4	4	2
	なし	31	16	21
手袋	あり	26	17	22
	なし	10	3	6
針刺し発生率	4.8%	2.3%	※ 2.7%	

※ (針刺し 22 件 ÷ 2019 年常勤換算職員数 971.8) × 100

## 化学療法室

疾患別	2017	2018	2019
肺がん	737	880	918
乳がん	358	513	585
食道がん	81	48	53
胃がん	310	235	241
大腸がん	444	500	459
肝がん		5	

胆管・胆のうがん	42	65	130
膵がん	141	155	92
上咽頭がん	21	24	51
前立腺がん	8	2	36
卵巣・卵管がん	104	20	23
子宮（体・頸）がん	6	1	26
慢性骨髄性白血病			
急性リンパ性白血病	1	1	1
骨髄腫	178	166	225
悪性リンパ腫	232	139	172
肺がん・膵がん	5		2
ランゲルハンス組織球症		3	
骨髄異型性症候群	293	227	159
がん以外の治療	6	40	25
その他	237	294	418
合 計	3,204	3,318	3,616

2019 月別

疾患別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
肺がん	74	81	74	69	81	79	77	94	71	80	70	68	918
乳がん	57	49	43	46	51	54	56	53	44	49	46	37	585
食道がん	2	2	2	4	5	6	4	5	8	7	3	5	53
胃がん	21	14	13	18	22	16	29	21	19	24	21	23	241
大腸がん	35	36	40	37	31	37	37	43	41	43	37	42	459
肝がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胆管・胆のうがん	9	9	7	10	10	12	11	15	12	15	10	10	130
膵がん	9	10	7	6	7	9	6	7	5	9	7	10	92
上咽頭がん	3	0	3	6	3	6	6	5	7	6	3	3	51
1	1	2	0	3	2	4	4	6	4	5	3	2	36
卵巣・卵管がん	0	0	4	1	4	0	1	0	3	3	5	2	23
子宮（体・頸）がん	2	1	1	1	1	4	4	4	2	3	2	1	26
慢性骨髄性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性リンパ性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
骨髄腫	20	17	18	17	18	17	14	15	20	25	22	22	225
悪性リンパ腫	9	14	19	9	9	11	11	18	16	21	15	20	172
肺がん・膵がん	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
ランゲルハンス組織球症	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
骨髄異型性症候群	10	10	15	15	13	16	15	15	1	18	15	16	159
がん以外の治療	3	2	1	3	2	1	1	2	2	3	4	1	25
その他	37	47	38	33	34	34	32	41	30	34	27	31	418
合 計	292	294	285	278	293	306	310	344	285	345	291	293	3,616

## 院内がん登録

### 1. 経年変化（部位別）

部 位	2017	2018	2019
1 頭	4	9	11
2 眼			
3 耳, 鼻, 副鼻腔		4	2
4 口唇, 口腔, 舌	9	14	8
5 咽頭, 喉頭	4	6	11
6 甲状腺	9	9	19
7 気管, 気管支, 肺	183	191	192
8 胸腺	3	5	2
9 縦隔		2	
10 乳房	37	70	60
11 食道	26	19	24
12 胃	124	124	111
13 小腸, 十二指腸	2	1	1
14 大腸, 虫垂, 肛門	140	144	153
15 肝, 肝内胆管	26	22	23
16 胆嚢, 肝外胆管	16	10	16
17 膵	25	28	28
18 腎, 副腎	19	19	22
19 腎盂, 尿管	4	12	17
20 膀胱	35	44	47
21 前立腺	71	63	81
22 その他男性生殖器	3	4	7
23 子宮（頸部, 体部）	60	54	84
24 卵巣, 卵管	15	2	13
25 その他女性生殖器	2	1	1
26 皮膚	47	51	45
27 結合織, 軟部組織	5	4	6
28 骨, 関節, 軟骨			
29 リンパ, 造血組織（白血病を除く）	55	44	37
30 白血病	66	61	74
31 神経（頭蓋外）			
32 その他の部位	1		
33 分類不能	6	5	7
合 計	997	1,022	1,102

2. 性・年齢・住所別（2018年1月～12月）院内がん登録集計

疾病分類（ICD-O 第3版）	総数	性別		年 齢								登録時住所						
		男	女	0 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 以上	鳥 取 市	八 頭 郡	岩 美 郡	東 伯 郡	倉 吉 市	米 子 市	兵 庫 県
C00 口唇																		
C01 舌根部	3	2	1					1		2		1			1		1	
C02 その他および部位不明の舌	4	2	2					1	2	1		3						1
C03 歯肉	4	1	3			1					3	3	1					
C04 口腔底																		
C05 口蓋																		
C06 その他及び部位不明の口腔																		
C07 耳下腺	2	1	1				1			1		2						
C08 その他及び詳細不明の大唾液腺																		
C09 扁桃	2	1	1								2	1			1			
C10 中咽頭																		
C11 鼻咽頭	1	1								1								1
C12 梨状陥凹	1	1							1			1						
C13 下咽頭	2	2							1	1		2						
C14 その他及び部位不明の口唇、 口腔及び咽頭																		
C15 食道	24	15	9					2	10	5	7	15	5	3				1
C16 胃	111	77	34	1			3	6	30	38	33	76	7	7	1	1	18	1
C17 小腸	1	1									1		1					
C18 結腸	108	60	48			1	5	10	33	35	24	72	10	12		1	12	1
C19 直腸S状結腸移行部	10	5	5			1	1	1	5		2	6	2				2	
C20 直腸	34	24	10				1	9	7	8	9	24	3	2			5	
C21 肛門および肛門管	1		1					1									1	
C22 肝および肝内胆管	23	18	5	1				1	5	10	6	15	3	4			1	
C23 胆のう（嚢）	6	4	2						2	3	1	2		2			2	
C24 その他及び部位不明の胆道	10	8	2						2	3	5	7	1		1		1	
C25 膵	28	15	13					3	5	11	9	19	2	1			6	
C26 その他及び部位不明の消化器																		
C30 鼻腔及び中耳																		
C31 副鼻腔																		
C32 喉頭	2	2							1		1	1					1	
C33 気管																		
C34 気管支および肺	192	136	56			1	3	16	56	78	38	130	18	14	4	3	22	1
C37 胸腺	1		1								1					1		
C38 心臓、縦隔および胸膜	1	1							1				1					
C39 その他及び部位不明の呼吸器 系、胸腔内臓器																		
C40 (四) 肢の骨および関節軟骨																		
C41 その他及び部位不明の骨及び関 節軟骨																		
C42 造血系及び細網内皮系	74	50	24		1	2	5	6	21	15	24	40	7	8	6	7	4	2
C44 皮膚	45	21	24			1	1	1	9	15	18	37	3	1	1		3	
C47 末梢神経及び自律神経系																		
C48 後腹膜および腹膜	5	1	4						2	2	1	4					1	

C49	結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	1	1				1						1							
C50	乳房	60		60			5	8	8	19	13	7	41	4	6	1			7	1
C51	外陰	1		1						1			1							
C52	膣																			
C53	子宮頸（部）	66		66		7	25	17	8	4	2	3	60	2	1	1			2	
C54	子宮体部	18		18				1	7	7	2	1	13	2	1				2	
C55	子宮，N O S																			
C56	卵巣	11		11			2	4	2	1	2	9	1						1	
C57	その他及び部位不明の女性性器	2		2						1	1		2							
C58	胎盤																			
C60	陰茎	1	1							1			1							
C61	前立腺	81	81					1	1	27	33	19	52	7	4	5	4		9	
C62	精巣（睾丸）	4	4				2	1			1		3						1	
C63	その他及び部位不明の男性性器	2	2								1	1			2					
C64	腎（腎盂を除く）	22	16	6				2	2	4	7	7	14	1	2	1	3		1	
C65	腎盂	9	4	5							3	6	4		1	2	2			
C66	尿管	8	5	3				1		2	3	2	4		1	1			2	
C67	膀胱	47	40	7						14	17	16	28	4	3	2	6		4	
C68	その他及び部位不明の泌尿器																			
C69	眼および付属器																			
C70	髄膜	2	1	1							1	1		1					1	
C71	脳	9	2	7	2		2	1			2	2	6	2	1					
C72	脊椎、脳神経系のその他の中枢神経系																			
C73	甲状腺	19	7	12		1	1	5	4	3	4	1	16	1	1				1	
C74	副腎																			
C75	その他の内分泌腺及び関連組織																			
C76	その他および不明確な部位																			
C77	リンパ節	37	17	20				5	12	12	8	19	3	4	3	4			4	
C80	分類不能	7	5	2				1		3	2	1	5			1			1	
合 計		1,102	635	467	4	9	43	60	97	293	336	260	739	93	81	30	33	1	118	7

# 院内研究会・C P C

(2019年1月～12月)



## 総合内科

### 院内救命講習会

2019. 2. 2	第 4 回鳥取県立中央病院 JMECC
2019. 2. 9	第 11 回すなば ICLS
2019. 5. 25	第 12 回すなば ICLS
2019. 7. 6	第 13 回すなば ICLS
2019. 9. 28	第 14 回すなば ICLS

### 2019.10.12-10.13 第 2 回 EBM workshop in 鳥取県立中央病院



## 小児科

### <院内研究会>

月 日	講演・研究・勉強会	講 師	対 象	場 所	参加人数
1 月 12 日	第 61 回新生児蘇生法講習会 (A コース)	田村	助産学生	当院	8 人
1 月 26 日	第 62 回新生児蘇生法講習会 (A コース)	田村	助産学生	当院	7 人
3 月 2 日	第 4 回新生児蘇生法講習会 (S コース)	田村	助産師 看護師	当院	6 人
4 月 20 日	第 63 回新生児蘇生法講習会 (A コース)	田村	助産師 看護師	当院	7 人

5月18日	第64回新生児蘇生法講習会 (Aコース)	田村	助産師 看護師	当院	7人
6月1日	第5回新生児蘇生法講習会 (Sコース)	田村	助産師 看護師	当院	6人
6月15日	第5回新生児蘇生法講習会 (Sコース)	田村	助産師 看護師	当院	6人
7月6日	第5回新生児蘇生法講習会 (Sコース)	田村	助産師 看護師	当院	6人
8月17日	第5回新生児蘇生法講習会 (Sコース)	田村	助産師 看護師	当院	6人

## 中央放射線室

### 1. 中央放射線室 月例勉強会

月		講師	対象
6月	心臓CTについて	寺岡 恵利	診療放射線技師
7月	個人情報の取り扱いについて	赤島 啓介	診療放射線技師
8月	心外膜脂肪の蓄積部位と心疾患の関連性についての検討	前田 哲生	診療放射線技師
11月	骨盤計測について	永尾 結奈	診療放射線技師
11月	冬に知っておきたい感染症	森谷 恵利	診療放射線技師
12月	肺がん検診認定技師について	田中 康隆	診療放射線技師
12月	業務で使える Excel VBA	木村 晃史	診療放射線技師

## 中央検査室

### 1. 中央検査室

月 日	講演・研修・勉強会	講師	対象	場所	参加人数
1月16日	人工知能(AI)と医療 (AIの仕組みと医療分野 への応用・課題)	前田和俊	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	26名
1月23日	ゾフルーザについて (インフルエンザの新薬: ゾフルーザの作用機序と 特徴)	綾木	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	24名
1月30日	出張報告会	五百川 黒田 谷口 悟	臨床検査技師	中央検査室技師 控室	24名
2月13日	リーキーガット症候群に ついて(症状と腸のバリ ア機能について)	丸山	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	21名
2月27日	大動脈弁狭窄症の治療 TAVIについて(TAVIの 概要と現状)	黒田	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	19名
3月13日	PFAS花粉・食物アレルギー 症候群 (機序・症状・検査・治療)	松ノ谷	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	18名

3月20日	早期乳癌の非切除治療(RFA)の臨床研究の現状	中本先生	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	22名
3月27日	出張報告会	綾木 田中恭子 遠藤 岡田早苗	臨床検査技師	中央検査室技師 控室	19名
4月3日	風疹について (国立感染症研究所による最新の風疹感染情報)	本庄	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	25名
4月16日	新規採用(転入)職員の研修オリエンテーション(ISO15189の説明と取り組みについて)	岡田早苗	臨床検査技師	中央検査室技師 控室	4名
4月17日	脊髄損傷の再生医療(脊髄損傷・脳梗塞の治療に「ステミラック」が実用化されました)	谷口 悟	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	27名
4月18日	ISO15189 セミナー(マネジメントレビューについての説明)	佐野道孝	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	26名
4月24日	テープの取り扱いについて(皮膚環境と粘着テープによる皮膚障害, 貼付け・固定・はがし方のポイント)	田中美佐子 (皮膚・排泄ケア認定看護師)	臨床検査技師	中央検査室技師 控室	25名
5月8日	着床前診断について(着床前診断の概要)	澤田	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	28名
5月16日	新規採用(転入)職員の採血研修(看護局教育担当者より看護職員と同じ採血手技, 手順を学ぶ)	坂口純子師長	臨床検査技師	トレーニングラボ室	6名
5月20日	新規採用(転入)職員のBLS研修(患者や職員などの急変時に対応できるようにする)		臨床検査技師	トレーニングラボ室	7名
5月21日	ISO15189申請の留意点(申請書類の入手・作成・準備方法・注意点について)	佐野道孝	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	11名
5月22日	多発性骨髄腫(診断と治療について)	川上	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	25名
5月29日	出張報告会	澤田 加藤	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	19名
6月12日	マダニについて(その生態や対処・予防策など)	有田	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	27名

6月19日	マイクロプラスチック問題について（自然界・人体への影響・対策など）	河上	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	26名
6月25日	新規採用（転入）職員の研修オリエンテーション（ISO15189の説明と取り組みについて）	岡田早苗	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	3名
6月26日	不正薬物について（種類・製造方法・薬理作用など）	徳安先生	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	27名
8月30日	検査室急変時シュミレーション（心電図室で急変が起きた時の対処法を学ぶ）	高野（臨床工学技士）	臨床検査技師	生理機能検査室	11名
9月24日	ISO15189セミナー（初回審査の留意点）	佐野道孝	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	33名
11月27日	出張報告会	山本・佐々木・加藤・福田	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	24名
12月4日	ISO15189 予備訪問指摘事項是正に関する研修会（自家調整試薬の管理・内部監査・マネジメントレビュー・機能的組織図）	岡田早苗	臨床検査技師	中央検査室技師 控室	39名
12月9日	毒劇物などの試薬の管理について（取扱・保管・表示・その他）	前田和俊	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	39名
12月18日	倫理・個人情報保護・LISについて	五百川	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	21名
12月25日	LIS・HIS 障害時の対応	五百川	臨床検査技師 病理診断科	中央検査室技師 控室	22名

## 薬剤部

### 研修・勉強会

開催日	研修・勉強会名	講師等	対象	場所	参加人数
2019/5/10	新人看護職員研修	伊藤薬剤師	新人看護師	多目的ホール	54名
2019/8/23	がん薬物療法の看護	湯口薬剤師	新人看護師	多目的ホール	53名
2019/11/26	静脈栄養の特徴と合併症（院内NST勉強会）	神戸薬剤師	NSTスタッフ	多目的ホール	22名
2019/12/3	がん薬物療法認定薬剤師研修事業 報告会	渡邊薬剤師	薬剤師	カンファレンス室2	10名
2019/12/19	コース別研修会 糖尿病	浅井薬剤師	看護師	カンファレンス室2	18名

## 院内勉強会

月 日	サマリ	講師	場 所	参加人数
2019/10/31	慢性便秘薬と排便のケアについて	持田製薬株式会社 MR	多目的ホール	35 名

## がん相談支援センター

### 1. がん相談支援センタースタッフ主催 院内研修会

月 日	講演・研修・勉強会	講 師	対 象	場 所
8 月	緩和ケア病棟勉強会 ※看取りの看護	濱野	緩和ケア病棟看護師	病棟ラウンジ
8 月	緩和ケア病棟勉強会 ※ STAS-J について	濱野	緩和ケア病棟看護師	病棟ラウンジ
8 月	緩和ケア病棟勉強会 ※エンゼルケア	濱野	緩和ケア病棟看護師	病棟ラウンジ
12 月	第 2 回ニューマン理論 実践学習会	池田	看護師	カンファレンス室 2
12 月	リンパ浮腫勉強会	濱野	5 階南病棟	

### 2. がん関連コース研修

月 日	内 容	講 師	対 象	場 所
8 月 3 日	がん看護基礎コース研修 ※がん看護概論, 化学療法, 放射線治療, 手術療法, 事例検討	池田, 濱野, 中村, 松岡, 橋本, 安達, 樹下	看護師	多目的ホール
12 月 14 日	緩和ケアコース研修会	濱野, 池田, 藤松		

### 3. 他部局主催 院内研修会

月 日	内 容	講 師	対 象	場 所
4 月	新入職員オリエンテーション ※がん相談支援センターについて	藤松	新入職員	多目的ホール
4 月	看護局看護研究事前研修会	池田	看護師	
6 月	看護局新人研修 ※麻薬と看護	池田 濱野	看護師	多目的ホール
6 月	看護局新人研修 ※スピリチュアルと看護	池田 濱野	看護師	多目的ホール
9 月	看護局新人研修 看取りの 看護	濱野	看護師	多目的ホール
10 月	看護局ラダー研修Ⅲ 看護 倫理研修	池田	看護師	
12 月	看護局ラダー研修Ⅱ 看護 倫理	池田	看護師	多目的ホール

## 医療安全対策室

	日程	研修の題名	担当者	対象者	場所	参加者数
1	1/15	中途採用者研修	牧野	補助者	カンファレンス室 3	1 名
2	2/1	中途採用者研修	水根	看護師	カンファレンス室 3	1 名
3	4/1	新採用者オリエンテーション	牧野	補助者, NA, 看護師	カンファレンス室 2	6 名
4	4/2	新採用者オリエンテーション	水根	新採用者	多目的ホール	多数
5	4/3	研修医オリエンテーション	牧野	新規研修医	会議室 2	13 名
6	4/12	新人看護職員研修	水根・中西・茗荷・村口・牧野	新人看護師	多目的ホール	54 名
7	4/15	中途採用者オリエンテーション	牧野	補助者	カンファレンス室 5	1 名
8	5/7	中途採用者オリエンテーション	牧野	補助者	カンファレンス室 5	1 名
9	5/10	新人看護職員研修 医療安全 I -1	水根	新人看護師	多目的ホール	54 名
10	6/3	中途採用者オリエンテーション	牧野	既卒看護師	カンファレンス室 5	1 名
11	6/14	新人看護職員研修 医療安全 I -2	水根・坂尻・井上・牧野	新人看護師	多目的ホール 9 南病室など	52 名
12	7/19	第 1 回医療安全研修会 ヒューマンエラーと医療安全	SONPO リスクマネジメント 北村 渉先生	全職員	多目的ホール	1000 名※
13	7/31	ラダーⅢ研修 医療安全研修Ⅲ	水根	ラダーⅢ申請者	多目的ホール	29 名
14	8/5	中途採用者オリエンテーション	牧野	既卒看護師 補助者	カンファレンス室 5	2 名
15	9/10	NA 研修	水根	NA	カンファレンス室 2	14 名
16	10/7	中途採用者オリエンテーション	牧野	補助者 NA	カンファレンス室 5	3 名
17	10/8	新人看護職員研修 医療安全 I -3	水根・皆川・山田・竹内・牧野	新人看護師	多目的ホール	51 名
18	11/11	中途採用者オリエンテーション	牧野	医療助手	カンファレンス室 5	1 名
19	11/11 ～ 11/22	第 2 回医療安全研修会 ヒューマンエラーを防ぐ！	水根	全職員	多目的ホール カンファレンス室 5	1001 名※
20	12/2	中途採用者オリエンテーション	牧野	既卒看護師	カンファレンス室 5	1 名

21	12/16	中途採用者オリエンテーション	牧野	補助者 NA	カンファレンス 室 5	2 名
----	-------	----------------	----	-----------	----------------	-----

※研修会，研修会後の e-learning，資料送付など含む

## 感染防止対策室

### 1. 感染対策チーム・感染防止管理委員会主催 院内研修会

月日	講演・研修・勉強会	講師	対象	場所	参加人数
1月15日	中途（看護補助者）追加研修 ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	看護師・ 看護補助者	カンファレン ス室 3	1 名
1月21日	5 東感染対策勉強会 産婦人科領域における注意す べき感染症	鳥取赤十字 鈴木 ICN	専門・認定看護 師	5 南カンファ レンス室	16 名
2月1日	中途（看護師）追加研修 ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	看護補助者	カンファレン ス室 3	1 名
4月1日	転入看護師・看護補助者・NA・ 保育士オリエンテーション ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	転入看護師・ NA・看護補助 者・保育士	カンファレン ス室 3	6 名
4月2日	新規採用（転入・既卒看護職 員）職員研修 オリエンテーション ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	新規採用・転入 職員	多目的ホール	98 名
4月10日	8 北感染対策勉強会 環境清掃について	モレーン	看護師	8 北スタッ フステー ション	20 名
4月10日	研修医オリエンテーション ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	研修医	会議室 2	13 名
4月11日	新人看護師研修 感染対策研修（基本編）	朽本	新人看護師 うち院外の新人 看護師 3 名	多目的ホール	57 名
4月15日	中途（看護補助者）追加研修 ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	看護補助者	カンファレン ス室 5	1 名
5月7日	中途（看護補助者）追加研修 ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	看護補助者	カンファレン ス室 5	1 名
5月21日	新人看護師研修 感染対策研修（実践編）	朽本	新人看護師	多目的ホール	54 名

6月3日	中途（看護師）追加研修 ※当院の感染管理体制・標準 予防策・職業感染対策につ いて	朽本	看護師	カンファレン ス室 5	3名
6月4日, 5日, 6日, 7日, 10日, 11日, 12日, 13日, 17日, 18日, 19日, 24日, 28日	令和元年度第1回全職員対象 感染対策研修会 ※環境清掃 「キレイ≠安全」	感染対策推 進担当者	全職員 ※委託業者含む	大会議室 e-learning	943名 70名 委託 67名
7月23日	ラダーⅡ	朽本	ラダーⅡ 受講者	多目的ホール	56名
8月5日	中途（看護師・看護補助者） 追加研修	朽本	看護師・ 看護補助者	カンファレン ス室 5	2名
10月4日 ※専門医共 通講習に 該当	令和元年度第2回全職員対象 感染対策研修会 ※チームで高める感染対策 teamSTEPS を活用した感 染管理	東京慈恵会 医科大学附 属病院感染 症科診療医 長感染対策 室長 中澤 靖先 生	全職員 ※委託業者含む	多目的ホール e-learning	140名 854名
10月7日	中途（看護補助者・NA）追加 研修	朽本	看護補助者・ NA	カンファレン ス室 5	3名
10月8日	新人看護師研修 感染対策研修（応用編）	朽本	新人看護師	多目的ホール	51名
10月16日	リハビリ時の感染対策	朽本	リハビリ 職員	リハビリ室	25名
10月17日	吸引時の感染対策	朽本	医療技術局 ST, CE	リハビリ室	5名
10月29日	N95 マスクフィットテスト 定量的	モレーン 朽本	10北看護師 看護補助者	感染症病床	16名
10月7日	中途（看護補助者）追加研修	朽本	看護補助者	カンファレン ス室 5	1名
11月21日 ※専門医共 通講習に 該当	令和元年度抗菌薬適正使用支 援チーム主催 院内研修会 ※抗菌薬適正使用について	神戸市立医 療センター 中央市民病 院感染症科 医長総合内 科医長感染 症センター 長感染管理 室長 土井朝子先 生	医師・薬剤師・ 看護師・検査技 師など	多目的ホール	82名
12月2日	中途（看護師）追加研修	朽本	看護師	カンファレン ス室 5	1名
12月16日	中途（看護補助者・NA）追 加研修	朽本	看護補助者・ NA	カンファレン ス室 5	2名



## 2. 感染管理コース研修

月日	内 容	講師	参加人数
7月17日	標準予防策と感染経路別予防策について①	朽本	27名
8月21日	標準予防策と感染経路別予防策について②	朽本	24名
10月16日	医療関連感染対策について	朽本	26名
11月20日	微生物検査検体について	朽本	22名
12月18日	抗菌薬適正使用について	朽本	25名

## 研修医カンファレンス

	日付	講師名	講師所属	内 容
1	4月11日	山根太地	看護局(救命救急センター)	救急外来診療における看護師との連携について
2	4月18日	遠藤功二	総合内科	救急外来のさばき方
3	4月25日	影嶋健二	心臓内科	救急外来でのACS対応
4	5月9日	岡本 勝	総合内科	輸液の基本
5	5月16日	小村裕美	血液内科	血算の読み方
6	5月23日	菅 敏光	心臓内科	widwQRS, 頻拍をみたら
7	5月30日	漆原正一	外科	急性腹症
8	6月13日	足立孝司	皮膚科	急性発疹症のみかた
9	6月20日	奥野 優	整形外科	整形外科ABC
10	6月27日	竹内裕彦	脳神経内科	めまいの診療
11	7月4日	松末英司	放射線科	頭蓋内出血について これだけは知っておこう
12	7月11日	紙谷 悠	消化器内科	救急外来における腹部エコーの活用
13	7月18日	西川結梨	泌尿器科	泌尿器科特急
14	7月25日	渡部 純	外科	情報管理術～疑問を解決する, 情報を集める～
15	8月1日	澄川 崇	呼吸器内科	喘息の対応～救急外来を中心に～
16	8月13日	植田俊幸	医療センター 精神科	せん妄について
17	8月29日	中井 翼	救急科	ライフハック
18	9月12日	森尾倫子	眼科	眼科救急
19	9月26日	中村一彦	放射線科	動脈系 IVR ①
20	10月3日	中村一彦	放射線科	動脈系 IVR ②
21	10月17日	中村一彦	放射線科	放射線治療①

22	10月24日	中村一彦	放射線科	放射線治療②
23	10月31日	宗村千潮	腎臓内科	腎臓病を診た時に～自分で診るか？紹介するか？～
24	11月7日	上田康仁	呼吸器内科	オンコロジーエマージェンシー
25	11月14日	渡部 純	外科	見本市
26	12月5日	坂本成司	麻酔科	臨床に生かす生理学
27	12月12日	吉岡裕樹	脳神経外科	急性期脳梗塞に対する脳血管内治療
28	12月19日	吉岡裕樹	脳神経外科	急性期脳梗塞に対する脳血管内治療, 前回の続き
29	1月16日	涌波 優	総合内科	ケースカンファレンス：みんな当たるよナトリウム
30	1月23日	岡本敏明	消化器内科	救急外来で診る肝硬変
31	1月30日	澤田真由美	産婦人科	救外でであう妊娠のあれこれ

CPC レポート（第 132 回鳥取県立中央病院）

研修医氏名：有田和正 吉岡俊樹

CPC 年月日：2019 年 1 月 29 日 提出年月日：2020 年 1 月 29 日 解剖番号：963

診療科：血液内科 主治医・臨床指導医氏名：小村裕美 病理解剖医：中本周

1. 臨床経過および検査所見のまとめと臨床診断

【症例】80 歳男性

【主訴】発熱，倦怠感，浮腫

【既往歴】慢性 C 型肝炎，気管支喘息，COPD，胆嚢摘出後，盲腸癌術後，2 型糖尿病

【アレルギー歴】

【内服薬】アドエア 250 ディスカス 1 日 2 回 1 回 1 吸入，モンテルカスト 10mg1T 就寝前，ジャヌビア 50mg1T 朝食後，ミカムロ配合錠 Ap1T 朝食後，ランソプラゾール 15mg1T 朝食後，カルボシステイン 500mg3T 分 3 毎食後，メトグルコ 250mg2T 分 2 朝夕食後，フェロ・グラデュメット 105mg1T 夕食後，マグミット 330mg3T 分 3 毎食前，センノシド 12mg2T 分 1 就寝前，リーバクト配合顆粒 3 包分 3 毎食後，フロセミド 20mg1T 朝食後，スピロラクトン 25mg 1T 朝食後

【現病歴】

前述既往により鳥取県立厚生病院消化器内科・消化器外科・呼吸器内科に通院中であった。Day-5 発熱・倦怠感・浮腫を主訴に厚生病院救急外来を受診した。カロナール処方経過観察となっていたが、症状改善を認めなかった。Day-4 症状持続するため厚生病院再度受診した。血液検査では貧血，血小板低下の進行や炎症上昇がみられていたが，CT では明らかな熱源がみられず，抗生剤点滴（CPZ/SBT）で経過観察となった。Day-1 血液検査にて貧血，血小板低下の進行や異型細胞の検出を認め，血液疾患が疑われたため，同日 MAP4 単位投与された。Day1，加療目的に当院紹介受診となった。搬送の時点で呼吸困難感があり，NC2L で搬送された。

【主な入院時現症】

BT：37.4°C，SpO<sub>2</sub>：99%（カニューラ 2L），PR：74/min，BP：120/61mmHg，RR：19/min  
結膜：貧血・黄染なし 頸部：リンパ節触知なし 腋窩：リンパ節触知なし  
胸部：心音整 明らかな雑音なし 呼吸音清 左右差なし 明らかなラ音なし  
腹部：膨満 左上腹部に圧痛あり 腫瘤触知無し  
体幹：全体的にむくみあり 四肢：下腿浮腫なし

【主な検査所見】

[血液検査] TP 6.1g/dL ALB 2.0g/dL CRP 9.70mg/dL T-Bil 1.25mg/dL D-Bil 0.59mg/dL Ch-E 42U/L AST 55U/L ALT 19U/L ALP 389U/L  $\gamma$ -GTP 27U/L LDH 968U/L 尿素窒素 15.4mg/dL クレアチニン 0.61mg/dL eGFR 94.72mL/min/1.73 m<sup>2</sup> 尿酸 3.6mg/dL カルシウム 7.5mg/dL Na 133.3mEq/L K 4.45mEq/L Cl 100.9mEq/L 血糖 162mg/dL HbA1c 5.7% WBC 51.9 10<sup>2</sup>/ $\mu$ L RBC 316 10<sup>4</sup>/ $\mu$ L PLT 3.3 10<sup>4</sup>/ $\mu$ L Reticulocyte 13.7 10<sup>4</sup>/ $\mu$ L 好中球桿状核球 1.0% 好中球分葉核球 69.0% リンパ球 16.0% 単球 13.0% プロトロンビン 46.7% プロトロンビン 17.6 秒 PT-INR 1.53 APTT 47.6 秒 フィブリノーゲン 250.7mg/dL Dダイマー 41.6  $\mu$ g/mL FDP 48.9  $\mu$ g/mL

[心電図]レギュラー，サイナス，低電位，ST 変化なし

[頸部～骨盤部単純 CT]

両側鎖骨上窩，胃噴門部に短径 8mm までの小リンパ節の散在を認める．両側少量胸水貯留があり，軽度の心拡大，肺動脈拡張，肺血管影増強を認める．両下葉背側に圧排性無気肺を疑う所見を認める．肝は慢性肝障害，肝硬変様で占拠性病変は認めない．脾腫あり．胆摘後，臍尾部は萎縮している疑い．水腎症なし．副腎腫大なし．盲腸癌術後．局所再発を疑う腫瘤はなし．膀胱壁肥厚なし．前立腺腫大なし．少量腹水あり．腹腔内脂肪織混濁あり，肝硬変に伴う変化や腹膜炎が鑑別に挙がる．皮下浮腫あり，傍椎体膿瘍や明らかな骨破壊は指摘されない．その他，炎症の focus は指摘されない．

#### 【入院時プロブレムリスト】

- # 1. 発熱 # 2. 炎症反応高値 # 3. 血球減少（貧血，血小板減少）
- # 4. 呼吸困難 # 5. 浮腫・胸腹水貯留 # 6. 低アルブミン血症

#### 【入院後経過】

- # 1. 発熱 # 2. 炎症反応高値

入院時より 37°C 台の発熱が持続し，CRP も 10.5mg/dL と炎症反応高値であった．前医で CPZ/SBT が投与されており，細菌感染を考慮し抗菌薬は MEPM に変更した．骨髓穿刺・CT で熱源の検索が行われたが熱源は明らかとならなかった．LDH，フェリチン高値が持続するため細菌感染よりは別の原因による慢性炎症，サイトカインストームを想定しステロイドを開始した．ステロイド内服後より発熱・炎症反応は改善し PSL40mg → 20mg と減量した．しかし Day68 に再度発熱を認め，細菌感染の合併が疑われたため CPZ/SBT で治療を開始した．血液培養では E.coli が生え CTRX に変更した．経過中，造影 CT・骨髓穿刺を繰り返すも熱源は不明であった．なお CT で腹腔内の脂肪織混濁は指摘されたが，腹痛の訴えなく，腹膜炎は疑わなかった．

- # 3. 血球減少（貧血，血小板減少）

血液検査の結果は正球形貧血で，網状赤血球は正常であった．LDH 高値，軽度の間接 Bil 有意の上昇，ハプトグロビン低下から溶血あるいは無効造血の存在が疑われた．機械で行ったクームス試験は，直接クームス試験 (+)，間接クームス試験 (-) であったが，赤血球解離液中に不規則抗体は認めず，自己免疫性溶血性貧血の診断には至らなかった．血小板数は低下していたが，IPF は初診時正常で，その後は高値を示したため血小板産生能は亢進していると考えられた．抗血小板抗体は陰性で自己抗体による血小板減少は否定的であった．A/G 比低下，IgG・IgA 高値を認めたが， $\kappa / \lambda$  比 1.61 と M 蛋白は検出されず，多発性骨髄腫も否定的であった．

- # 4. 呼吸困難

以前より COPD・気管支喘息に対し内服治療中であったが，入院前より呼吸困難の訴えがあった．入院期間中は酸素カニューラ 0.5 ~ 3L で SpO<sub>2</sub>90 台後半を維持していた．Day20 に心エコーを施行するも Asynergy は指摘できず，収縮能は保たれており有意な弁膜症も指摘されなかった．経過中胸水は徐々に増加したが，原因の特定には至らなかった．

- # 5. 浮腫・胸腹水貯留 # 6. 低アルブミン血症

入院時 Alb2.0g/dL であり入院期間中，徐々に低 Alb 血症が進行したためアルブミンの投与を行った．入院時は下肢の浮腫を認めなかったが，入院期間中，体幹部皮下に浮腫が出現した．Day60 より四肢の著明な浮腫を認め，水疱・多量の滲出液が出現した．

Day74，ギャッジアップ座位になり内服薬内服の介助を行う際，JCS III -300 となり眼球上転 顔色不良となり呼吸停止した．臥位に戻すと一旦 JCS I 桁になり声かけにて返事はするが，その後

すぐに JCS Ⅲ析となり再度呼吸停止した。その後 CPR を開始し蘇生を試みるも蘇生せず、家族と連絡し蘇生を中止した。

## 2. 臨床上の疑問点

- ①慢性炎症の原因
- ②血球減少の原因
- ③低アルブミン血症・浮腫の原因
- ④呼吸困難の原因
- ⑤最終的な死因

## 3. 病理解剖診断と主な所見

骨髄生検（生前）：NCC=14.0 万，M/E=0.7，リンパ球 =2.8%，形質細胞 =8.8%，m φ =6.2%，芽球 =1.6%，PGM1+ 泡沫 m φ の増加より HPS の所見（> 3%）を認める。CD38+，CD19+。モノクローナルな増加なく悪性リンパ腫は否定的。

### ① IVL：

高度浸潤臓器：皮膚，肺，腸骨骨髓，心臓，  
後腹膜脂肪織，消化管，膀胱

腸骨穿刺物：3 系統造血，リンパ球，形質細胞に加え，大型の未熟単核球を認める。

腫瘍性の細胞は CD20++，MUM1+，bcl2+，CD5 ±，CD3-。

PGM1 染色にて血球貪食 m φ 散在。形質の所見は Non-GCB 型 DLBCL 相当。

### ②心臓アミロイドーシス（ATTR 型）

心筋細胞の横紋消失，懸濁化を巣状に認める。PAS 染色：Glycogen はほぼ消失し，懸濁部が赤染。  
AZAN 染色：心筋の赤色が失われ，懸濁部が青染。

→横紋筋の消失部に線維化を認める（EV 染色，鍍銀染色も同様所見）。

国立循環器病研究センターにて組織内に Congo-red 染色で橙色，偏光顕微鏡にて apple green を認める。→アミロイドのびまん性の沈着。

### ③肝線維症～肝硬変 C 型

### ④胃 GIST（φ 4mm，Modified Fletcher 超低リスク）

### ⑤胆管結石症（直径 8mm の黒色石）

### ⑥慢性膵炎 + 急性膵炎

### ⑦盲腸癌術後，結腸多発腺腫（10 個以上，Isp/Ip，最大 7mm）

## 4. 臨床上の疑問点についての考察

# 1. 発熱 # 2. 炎症反応高値 # 3. 血球減少（貧血，血小板減少）

# 4. 呼吸困難 # 5. 浮腫・胸腹水貯留 # 6. 低アルブミン血症

上記症状は血管内大細胞性 B 細胞リンパ腫（IVL）で一元的に説明がつくと考えられた。IVL は全身の細小血管内に腫瘍細胞が増殖する節外性大細胞型 B 細胞リンパ腫の一型である。症状は不明熱（体重減少，寝汗，倦怠感），神経症状，呼吸障害，食欲不振，浮腫，皮疹，血球減少があり上記問題点は IVL によるものと考えて矛盾はない。IVL では呼吸不全も多い合併症であり，肺の毛細血管内の腫瘍細胞浸潤が原因と考えられている。本症例も肺毛細血管内の腫瘍細胞浸潤が指摘

された。慢性肝硬変は指摘されていたが臨床的にも低 Alb を来すほどの肝機能低下はなく、病理像としても門脈圧亢進を来すほどの線維化ではなく、細小血管への腫瘍細胞浸潤が浮腫の原因と考えられた。IVL の診断は病変部位からの生検が唯一の診断法であり皮膚生検・肺生検で診断される。本症例は浮腫が強くランダム皮膚生検をためらう原因となった。また骨髓所見で血液疾患を疑う所見が得られず、鑑別としての IVL の優先順位が低くなってしまったため診断に至らなかった。

#### 5. 本症例の考察とまとめ

剖検まで診断のつかなかった血管内大細胞性 B 細胞リンパ腫 (IVL) を経験した。IVL は全身の細小血管内に腫瘍細胞が増殖する節外性大細胞型 B 細胞リンパ腫の一型である。発生頻度や臨床像に地理的な差異が存在し、西欧に多い古典型、極東に多い血球貪食症候群関連型 (AIVL) に分類される。古典型の主座は皮膚・神経に対し、AIVL は肝脾腫や血球減少を主な徴候とし、多臓器不全を来す。本症例の症状は発熱、呼吸障害、貧血、血小板低下などを認めたがいずれも血球貪食症候群を合併した IVL として合致する。診断方法は病変部位からの生検が唯一の診断法である。本症例は浮腫が強く、ランダム皮膚生検をためらう原因となった。また骨髓所見で血液疾患を疑う所見が得られず鑑別としての IVL の優先順位が低くなってしまったことが生前の診断に至らなかった原因である。

#### 【参考文献】

『リンパ腫アトラス第 5 版』, 中村栄男編

『当院において過去 7 年間に経験した血管内リンパ腫 8 例の臨床的検討』, 谷口将邦ら, 鳥取医誌第 45 巻, 第 2 号 (69 ~ 74), 2017

『剖検にて診断し得た血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例』, 橋本由徳ら, 鳥取医誌第 37 巻, 第 3・4 号 (84 ~ 88), 2009

『血球貪食症候群の診断と治療』, 渡邊栄三, 日集中医誌 2011 ; 18 : 13 ~ 16

『An Asian variant of intravascular lymphomatosis : an updated review of malignant histiocytosis-like B-cell lymphoma』, Murase T, Leukemia and Lymphoma, 01 May 1999, 33 (5-6) : 459-473

CPC レポート (第 133 回 中央病院 CPC)

研修医氏名 : 川上建, 近藤紗矢

CPC 年月日 : 2019 年 4 月 23 日

解剖番号 : A939 診療科 : 呼吸器内科

主治医・臨床指導医氏名 : 澄川崇 病理解剖医・病理指導医氏名 : 徳安祐輔

#### 1. 臨床経過および検査所見と臨床診断

【症例】 75 歳 女性

【主訴】 喘鳴

【既往歴】

連合弁膜症術後 (大動脈弁狭窄症 + 僧帽弁閉鎖不全症, 2007 年に当院で手術), 肺高血圧症, 持続性心房細動,

洞不全症候群ペースメーカー植込み後 (2007 年), 慢性心不全, 左上肺野浸潤影 (器質化肺炎の疑い)

【生活歴】 喫煙 : なし, 飲酒 : なし, アレルギー : なし

## 【常用薬】

フロセミド錠 40mg 1T 分1 朝食後, スピロラクトン錠 25mg 2T 分1 朝食後, トルバプタン錠 7.5mg 1T 分1 朝食後, ベプリジル塩酸塩水和物錠 50mg 2T 分2 朝夕食後, メチルジゴキシン錠 0.1mg 1T 分1 朝食後, ベラプロストナトリウム錠 20  $\mu$ g 3T 分3 毎食後, アンブリセンタン錠 2.5mg, 1T 分1 朝食後, ワルファリンカリウム錠 1mg 1T 分1 朝食後, ファモチジン錠 10mg 2T 分2 朝夕食後, プロチゾラム錠 0.25mg 2T 分1 眠前

## 【現病歴】

20XX-1 年 11 月 9 日 ペースメーカーチェックのため来院, 胸部単純 X 線で左上肺野に新規の浸潤影を認め, 精査目的に呼吸器内科に紹介となった。肺癌や器質化肺炎が疑われたが組織検査までは行わず, 画像検査で経過観察となっていた。20XX 年に入ってから服薬アドヒアランスが悪く, 慢性心不全に対して外来での治療強化が必要になっていた。20XX 年 6 月 1 日より咳, 痰, 喘鳴, 呼吸困難感が出現した。6 月 2 日より体温 38.5°C の発熱が出現した。6 月 4 日, 朝から喘鳴が悪化し, 経口摂取も困難となったため近医を受診した。炎症反応の上昇, 胸部単純 X 線で左肺野に異常陰影を認め, 急性肺炎の疑いで当院救急搬送となった。

【入院時現症】 BT : 38.4°C, BP : 113/50mmHg, HR : 93/min, RR : 30/min, SpO<sub>2</sub> : 97% (酸素 10L/min)

頸部 : 頸静脈怒張あり, 胸部 : 呼吸音 両側 coarse crackle あり, 努力呼吸あり, 四肢 : 下腿浮腫あり

## 【検査所見】

### <血液検査>

TP 7.6g/dL, ALB 4.4g/dL, CRP 8.09mg/dL, T-Bil 2.08mg/dL, AST 39U/L, ALT 18U/L, ALP 473U/L,  $\gamma$ -GTP 217U/L, LDH 327U/L, BUN 16.1mg/dL, CRE 0.77mg/dL, eGFR 55.27mL/min/1.73 m<sup>2</sup>, Ca 8.6mg/dL, Na 134.2mEq/L, K 4.45mEq/L, Cl 97.4mEq/L, 血糖 92mg/dL, WBC 7440/ $\mu$ L, NEUT 75.5%, LYM 15.2%, MONO 8.5%, EO 0.0%, BA 0.8%, HGB 11.9g/dL, HCT 39.2%, PLT 16.6  $\times$  10<sup>4</sup>/ $\mu$ L, PT-INR 1.97, APTT 53.8 秒, D-dimer 1.8  $\mu$ g/mL, BNP 1601.6pg/mL, KL-6 324U/mL, PCT 0.49ng/mL

### <動脈血液ガス分析>

pH 7.145, pCO<sub>2</sub> 38.7, pO<sub>2</sub> 87.1, HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 12.9, BE -15.3, Glu 94, Lac 9.1

<12 誘導心電図> HR : 99/min, 心房細動, ST-T 変化なし

<胸部単純 X 線> CTR=70%, 両側 CPangle=dull, 肺血管陰影増強あり, 右上肺野・左中下肺野の透過性低下

## 【入院後経過】

搬送時, 発熱, 頻呼吸, SpO<sub>2</sub> 低下, 喘鳴, 努力呼吸, 頸静脈怒張, 下腿浮腫を認めた。血液検査では炎症反応, BNP の上昇, 胸部単純 X 線では心拡大, 肺血管陰影の増強, 右上肺野, 左中下肺野の透過性低下を認めた。肺炎を契機にした慢性心不全の急性増悪と判断した。早期のうっ血解除と細菌性肺炎治療を目的に, NPPV 装着, フロセミド 20mg 静注, メロペネム 1g q8h, メチルプレドニゾロン 125mg, 酢酸化リンゲル液 100ml/h で治療を開始した。NPPV 装着し酸素化は改善した。輸液と利尿薬投与後も利尿が得られなかったため, 循環不全に対してドパミン投与を開始した。その後も無尿が持続し経過より腎性腎不全が疑われた。第 2 病日には急速な肝腎機能の悪化を認めしたが, 家族の意向で血液透析は施行しない方針となった。第 3 病日 11 時 33 分に死亡確認した。

## 2. 臨床的疑問点

- ①発熱の原因について
- ②急性腎不全の原因について
- ③外来でフォローされていた肺浸潤影について
- ④血管奇形について

## 3. 病理解剖診断と主な所見

### 【主病理診断】

- ①急性＋器質化肺炎，原発性肺高血圧症
- ②大動脈弁置換術＋僧帽弁形成術後の肥大大心
- ③血管奇形
- ④肝細胞小葉中心性壊死
- ⑤ショック腎
- ⑥腔水症

## 4. CPC における討議内容のまとめ

肺高血圧症の分類，入院前より認めていた肺病変の診断について議論が及んだ。

病理所見では小葉間隔壁肺静脈，隔壁前肺静脈の壁肥厚，ヘモジデロシスを認めたと，肺動脈の蔓状変化や中・内膜の壁肥厚を認めなかったため，第1‘群 PVOD/PCH または第2 群左心不全に伴う肺高血圧症が考えられた。また高度な弁膜症とそれに伴う左心不全を合併しており，第2 群である妥当性を補強する要素であった。しかしながら PVOD/PCH の診断基準の主項目①～③を検討すると，

- ①右心カテーテルで肺動脈性肺高血圧症の基準を満たすこと；

安静時の肺動脈平均圧は 28mmHg，肺血管抵抗は 7 (> 3) Wood Uint，肺動脈楔入圧は 13mmHg であり満たす。

- ② PVOD/PCH を思わせる胸部高解像度 CT (HRCT) 所見があること；

HRCT が撮影されておらず十分に検討できないが，胸部単純 CT では両側肺野にびまん性のスリガラス影を認めている。ただし肺うっ血の所見としても矛盾ない。

- ③選択的肺血管拡張薬の使用で肺うっ血の誘発があること；

患者は選択的肺血管拡張薬を常用し TRPG の改善を認めた。薬物使用による明らかなうっ血の増強は認めていない。

少なくとも①は満たしており，左心不全による二次性の機序よりも肺動脈性の機序の可能性が考慮される結果となった。また病理所見で全肺静脈の 30-90% の閉塞所見を認めることも重要な所見であるため，やや証拠不十分であるが第1‘群である可能性も十分にあり得ると考えられる。さらに患者は胸部の血管奇形を多数有しており，一部に鎖骨下静脈－肺静脈シャントを認めた。この奇形が肺循環にどの程度の影響を及ぼしていたか検討が十分にできておらず，分類困難となっている一因である。

血管奇形を合併していたことから左肺の浸潤影の鑑別に肺分画症も鑑別にあげるべきであった。しかし病理所見は器質化肺炎として矛盾ないものであった。



## 5. 臨床的疑問点についての考察

### ①発熱の原因について

感染性肺炎の診断は正しかったか、血管炎などの可能性はなかったかと言った点について検証を要した。病理所見は感染性肺炎の像であり、他臓器の感染の所見は認めず。喀痰培養、血液培養結果は陰性であり、起炎菌は不明であるが病理所見より、感染性肺炎の診断は妥当であったと考えられた。

### ②急性腎不全の原因について

入院後、輸液・昇圧薬投与後も腎不全が持続し、腎性腎不全が疑われた。病理所見はショック腎(髄質のうっ血+皮質の虚血)+急性尿細管壊死であった。病理所見からは腎虚血による腎前性腎不全から腎性腎不全への移行が考えられた。腎前性腎不全では早期に一定以上の腎灌流圧が確保できない場合、不可逆的な尿細管壊死を生じ腎性腎不全に至る。本症例では元々の右心不全かつ肺炎による左心不全の悪化を認め両心不全を来していた。家族の積極的治療への拒否があり、侵襲的なデバイスを用いることなく心不全治療を行わざるを得ず早期の腎血流確保がかなわなかったことが腎性腎不全への移行を許容してしまった。しかしながら患者の経過を考慮すると、終末期心不全の像を呈しており家族・医療者の判断は妥当であったと考えられる。また、左上肺野の浸潤影と急性腎不全を認めたことより、血管炎の可能性も考慮されたが病理検査で血管炎・腎炎を示唆する所見は認めなかった。

腎血流流量に関する考察を加える。元来、組織灌流圧は測定困難であり、平均血圧が目安として用いられてきた。一般に腎血流は心臓や脳と比較してもより高い平均血圧(80mmHg)の段階で減少するが通常は平均血圧が65mmHgを超えていれば糸球体の自己調整能により糸球体濾過量は保たれるとされている。しかしながら高齢者(動脈硬化による輸入細動脈の器質化やCKD)、薬剤(造影剤やNSAIDs, RAS抑制薬)による輸出細動脈の拡張・収縮と言った変化により、平均血圧65mmHg以上でも急性腎障害を来すことがある。この概念を正常血圧性虚血性急性腎障害と呼ぶ。この病態を回避するためには腎灌流量をより実際の値に近く推し量る必要があり、灌流圧がより優れた指標となると考えられた。灌流圧は動脈圧から静脈圧を引いた値であり、「静脈圧」は中心静脈圧(CVP)のことである。平均組織灌流圧=平均動脈圧-CVP、拡張期灌流圧=拡張期動脈圧-CVPと表すことができる。この式からは組織の灌流圧を保つためにはより高い動脈血圧かつ、CVPの上昇を防ぐことが必要であると考察でき、本症例では肺高血圧、左心不全によるうっ血によりCVPは明らかに上昇しており、心拍出量の低下かつCVPの上昇も急性腎不全を来した一因となったと考えられる。

### ③外来でフォローされていた肺浸潤影について

20XX-1/11/8に左上肺野に新規の浸潤影が出現した。胸部単純CTではCOP/EPが考慮された。他に血管炎に関連した肺病変・悪性腫瘍などが鑑別に上がった。血管炎関連抗体はPR3-ANCAが高値であったが経過とともに陰性化し、腫瘍マーカーはCEA,ProGRPが軽度高値であった。しかし重症心不全であるため気管支鏡検査への耐容性が考慮され病変部の生検は実施されなかった。剖検に際し得られた病理所見では器質化肺炎として矛盾ない所見が得られ、血管炎・悪性腫瘍等は否定的であった。

### ④血管奇形について

右側大動脈弓、左鎖骨下動脈起始異常および狭窄、Kommerell憩室、左肺動脈狭窄、冠動脈肺動

脈瘤，左鎖骨下動脈肺動脈瘤を認めた。Knight & Edwards 分類ではⅡ - ②型と考えられ，Ⅱ - ①とⅡ - ③の 75-85%に，Ⅱ - ②の 5-10%に先天性心血管奇形を合併することが知られている。本症例では右側大動脈弓，左鎖骨下動脈起始異常および狭窄，Kommerell 憩室が先天性の心血管奇形であり，左肺動脈狭窄，冠動脈肺動脈瘤，左鎖骨下動脈肺動脈瘤が側副路として後天的に発達した可能性もあると考えた。

## 6. 本症例の考察とまとめ

慢性心不全加療中に感染性肺炎を契機に急性腎不全を来した一例を経験した。肺病変は器質化肺炎で矛盾なく，死因は両心不全による循環不全，主に急性腎不全によるものであった。

## 7. 参考文献

- 1) 診断病理 2016,33 (4) 肺高血圧症の病理診断 - 病理医に求められていること -
- 2) Pulmonary Hypertension Update Vol.3 No.2 難治性肺高血圧症診療の経験から学ぶ 肺静脈閉塞症 / 肺毛細血管腫症の治療
- 3) JNET Vol.7 No.5 2013 右側大動脈弓を有する破裂脳動脈瘤症例に対して脳血管内治療を行った 1 例
- 4) 呼と循 62 巻 6 号 2014 肺炎と心不全の接点
- 5) 呼と循 62 巻 6 号 2014 特発性肺線維症
- 6) Bellomo R, Wan L, May C : Vasoactive drugs and acute Kidney injury. Crit Care Med 36 : S179-S183, 2008
- 7) Legrand M, Dupuis C, Simon C et al : Association between systemic hemodynamics and septic and acute kidney injury. Crit Care Med 36 : S179-S186

CPC レポート (第 134 回中央病院 CPC)

研修医氏名 : 宗村佑人 松本有未

CPC 年月日 : 2019 年 7 月 23 日 提出年月日 : 2019 年 8 月 1 日 解剖番号 : A961

診療科 : 総合内科 主治医・臨床指導医氏名 : 三原周 (智頭病院) 病理解剖医 : 徳安裕輔

### 1. 臨床系および検査所見まとめと臨床診断

【症例】 89 歳女性

【主訴】 発熱，意識障害

【現病歴】 パーキンソン病 (Hoehn & Yahr 分類 5 度) で近医通院中だった。20XX 年 4 月 27 日，暗赤色の嘔吐を繰り返すため，当院消化器内科を受診した。上部内視鏡検査で軽度の逆流性食道炎を指摘され，ボノプラザンフマル酸塩錠を処方され帰宅となった。その後，食欲はあったが，食事や水分が飲み込みにくくなった。

5 月 2 日から 4 日にかけて徐々に意識レベルが低下し，5 日に反応が悪くなったため救急要請し，当院へ搬送された。

【既往歴】 パーキンソン病 (2014 年 当院神経内科で診断)，  
左乳癌 (1999 年 鳥取赤十字病院で手術，放射線治療)

【家族歴】 特記事項なし

【生活歴】喫煙：なし，飲酒：なし，アレルギー：なし

【常用薬】ミルタザピン錠 15mg1T 分 1 朝食後，スボレキサント錠 15mg1T 分 1 就寝前，レボドパ・カルビドパ水和物 5.5T 分 3 毎食後（2-1.5-2），ドロキシドパ錠 200mg3T 分 3 毎食後，イストラデフィリン錠 20mg2T 分 1 昼食後，ペルゴリドメシル酸塩錠 250 μg3T 分 3 毎食後，酸化マグネシウム 330mg3T 分 3 毎食後，アマンタジン塩酸塩錠 50mg2T 分 2 朝夕食後，イミダフェナシン錠 0.1mg 2T 分 2 朝夕食後

【主な入院時現症】

体温：37.5℃，脈拍：120 回 / 分，呼吸数：36 回 / 分，血圧：114/78mmHg，SpO2：84%（room air）

意識：JCS II -10，general appearance：sick

頭部：眼瞼結膜蒼白なし，舌乾燥あり

頸部：リンパ節腫脹なし

胸部：心音整，明らかな雑音なし 呼吸音左右差なし，明らかなラ音聴取せず

腹部：平坦，軟，圧痛なし CVA 叩打痛なし

四肢：下腿浮腫なし，末梢冷感あり，CRT > 2s

【検査所見】

〈血液検査〉

TP 6.9g/dL，ALB 3.8g/dL，A/G 1.23，CRP 0.13mg/dL，T-Bil 1.36mg/dL，AST 63U/L，ALT 25U/L，ALP 227U/L，LAP 64U/L，LDH 347U/L，CK 576U/L，AMY 89U/L，BUN 103.6mg/dL，CRE 1.84mg/dL

eGFR 20.29mL/min/1.73 m<sup>2</sup>，Ca 9.3mg/dL，Na 142.0mEq/L，K 4.45mEq/L，Cl 101.5mEq/L，血糖 167mg/dL

WBC 183.8 10<sup>2</sup>/ μ L，RBC 504 10<sup>4</sup>/ μ L，HGB 15.2g/dL，HCT 46.9%，PLT 16.5 10<sup>4</sup>/ μ L，Seg 94.0%，

Lympho 2.0%，Mono 4.0%，PT 12.3 秒，PT-INR 1.05，APTT 26.6 秒，D-dimer 23.9 μg/mL

〈動脈血ガス検査〉

pH 7.516，pCO2 31.4 mmHg，pO2 289.0 mmHg，HCO3<sup>-</sup> 27.4 mmol/L，SBE c 2.3 mmol/L

〈尿検査〉

色調 黄色，混濁 (+)，比重 1.025，PH 8.0，尿蛋白 70 (1+) mg/dL，尿糖 (-) mg/dL，ケトン体 (-) mg/dL，

尿潜血 0.06 (1+) mg/dL，ウレリノーゲン NORMAL mg/dL，ヒールン 0.5 (1+) mg/dL，亜硝酸塩 (-)，白血球反応 250 (2+) 個 / μ g，尿中肺炎球菌莢膜抗原 (-)，尿中ロタウイルス (-)

〈頭部～骨盤部単純 CT〉

頭蓋内に急性期出血，梗塞を疑う浮腫性変化は認めない。縦隔気腫を認める。縦隔炎を疑うような脂肪織混濁，膿瘍を思わすような所見は認めない。左舌区，上葉腹側胸膜下に網状影を認め，放射線肺臓炎を疑う。膀胱内結石多発，膀胱壁肥厚を認め，膀胱炎を疑う。

【入院時プロブレムリスト】

- # 1. 意識障害
- # 2. 発熱
- # 3. 縦隔気腫

# 4. 腎機能障害

# 5. パーキンソン病

#### 【入院後経過①】 第 1 病日～第 10 病日

5月5日の午後に救急搬送され、一般病棟に入院となった。誤嚥性肺炎による意識障害として各種培養提出後にスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム (SBT/ABPC) 3g/日 で開始した。縦隔気腫に関しては、画像検査上は縦隔炎を疑わないため、経過観察とした。第5病日では、意識レベル I -3 まで回復し、血液培養 1/2 セットから coagulase-negative staphylococcus (CNS)、尿培養からクラブシエラ・ニューモニエ、痰培養からシトロバクター・コセリが検出され、SBT/ABPC 投与を継続した。第10病日解熱し、バイタル安定で、血液検査で白血球数 7990/μL と改善を認めたため、SBT/ABPC の投与を終了とした。また、胸部単純 CT で縦隔気腫の消失を認めた。

#### 【入院後経過②】 第 11 病日～第 16 病日

第11病日に経鼻胃管を挿入し、経管栄養を開始した。第10病日の胸部単純 CT にて両側胸水、心拡大、浮腫の増悪を認めていたため、溢水を考え、第12病日より経鼻胃管からフロセミド 20mg/day を開始した。第14病日には、さらに意識レベル JCS I -2 へと改善した。

#### 【入院後経過③】 第 17 病日～第 19 病日

第17病日の午前4時に少量の鮮血を含む嘔吐を認めた。バイタルの変化はなかったため、経過観察とした。第18病日、口腔内に痰の貯留を認め吸引したところ嘔吐を認めた。バイタルの変化なく経過観察とした。16時頃、経鼻胃管からの栄養注入後に血性嘔吐を認めた。苦悶様表情で酸素化不良、顔面蒼白、発汗多量のため、酸素投与 (マスク 5L) と補液を開始した。左上の呼吸音低下と胸部 Xp にて左上葉無気肺を認めたことから、誤嚥に伴う化学性肺炎を疑い、メロペナム水和物 0.5g/day を開始した。21時30分頃に腹痛を認め、腹部は板状硬で腸蠕動音は消失していた。腹部造影 CT を行い、広範囲の腸管造影不良、胃壁内気腫、腸管壁内気腫、門脈ガス血症を認め、消化器外科にコンサルトした。年齢や ADL なども考慮すると手術の適応外と判断され、家族との相談の結果、看取りの方針となった。第19病日の 18:02 に死亡が確認された。

## 2. 臨床上の疑問点

- ①腸管虚血の原因
- ②胃壁内気腫、腸管気腫、門脈ガス血症の原因
- ③パーキンソン病と消化管の関係性

## 3. 病理解剖診断と主な所見

- ①非閉塞性腸管虚血 (NOMI : non-occlusive mesenteric ischemia)
- ②レビー小体病 / パーキンソン病
- ③器質化肺炎
- ④胃潰瘍
- ⑤逆流性食道炎
- ⑥子宮留水腫
- ⑦膀胱炎

## 4. CPC における討議のまとめ

### ①意識障害の原因について

繰り返し嘔吐による誤嚥性肺炎もしくは尿検査から白血球反応を認め、尿培養からはクレブシエラ・ニューモニエが検出されたことから尿感染症による意識障害、敗血症を来したと考えていた。しかし、血液検査ではCRPの上昇はなく、静脈血培養からは1セットから coagulase-negative staphylococcus (CNS) のみ検出されたことから、感染症が原因で意識障害を起こしたとは積極的に考えにくい。嘔吐を繰り返していたが、水分摂取はできていなかった背景からも脱水による意識障害であったとも考えられる。入院後は抗生剤投与、絶食、補液で意識レベルやバイタルは改善したが、補液による脱水の是正によるものでも矛盾はないと思われる。

### ②腸管虚血が始まったのはいつか

臨床上的疑問点①の考察で後述するが、今回の腸管虚血の原因はNOMIであると考えている。NOMIの初期症状は腹痛などの症状が乏しく、進行してから急激な腹痛や嘔吐をきたす。そのため、NOMIの早期診断は難しいといわれている。腸管壊死の早期には乳酸値が5~10mmol/Lを認めること多いとの報告がある。今回の症例では、腹痛を確認したのは、第18病日の21時頃だが、この日の16時頃の動脈血ガス検査で乳酸値が5.2mmol/Lであったので、この時にはすでに腸管壊死が始まっていたと考えていた。しかし、今回の議論の中で、経験的な知識ではあるが、血管攣縮が始まり腸管壊死に至るまで時間を要することが多いと指摘された。その意見から、NOMIの始まりは入院前の嘔吐による脱水が契機で始まった可能性もあると考えられるが、はっきりとした開始は判明しなかった。

## 5. 臨床上的疑問点についての考察

### ①腸管虚血の原因

腸管虚血をきたす疾患として上腸間膜動脈塞栓症、上腸間膜動脈血栓症、上腸間膜静脈血栓症、NOMI、壊死型虚血性腸炎などが鑑別に挙がる。本症例では、画像検査で上腸間膜動脈、上腸間膜静脈の本幹、末梢枝の描出は保たれていた。病理解剖では、腸管の出血・壊死を非連続性に認めており、上腸間膜動脈を閉塞させるような動脈硬化や血栓は認めていない。以上のことから、腸管虚血の原因はNOMIであったと考えられる。また、NOMIを引き起こす誘因としてうっ血性心不全、心筋梗塞、肝障害、腎障害、ショック状態、敗血症、脱水状態、透析、血管作用薬使用などがある。今回の症例では、嘔吐や利尿剤使用による体液喪失によるものが一因であると思われる。

### ②胃壁内気腫、腸管気腫、門脈ガス血症の原因

胃壁内気腫は気腫性胃炎と胃気腫症に大別される。気腫性胃炎は胃壁内で繁殖したガス産生菌により発症する感染症である。気腫性胃炎は胃粘膜の損傷に伴うガスの流入、幽門部や十二指腸などの閉塞による内圧の上昇などによりおこる。今回の症例では、頻回の嘔吐による胃内圧の上昇が原因であったと考えられる。門脈ガス血症・腸管気腫は腸管虚血や腸管全層壊死を示唆する予後不良の所見と考えられている。その原因としては、腸管拡張や腸管粘膜に損傷が起こることによる内圧の上昇により、腸管粘膜損傷部を經由して腸管壁内の腸管細静脈へガスが流入する場合と腸管感染により粘膜下層や漿膜下層に侵入したガス産生菌が増殖することにより生じる場合がある。今回の症例では、腸管粘膜に損傷があること、ガスの貯留により内圧は亢進していたこと、解剖時の血液培養ではガス産性菌は検出されなかったことから、腸管損傷や内圧亢進による腸管気腫、門脈ガス血症だと考えられる。

### ③パーキンソン病と消化管の関係性

近年、パーキンソン病は自律神経障害を含む全身性の疾患であると言われている。Lewy 小体の集積は延髄の迷走神経背側核に早期から認められ、それらが中枢神経系へ上行的に進展していくという Braak の仮説があり、消化管は迷走神経の支配を受けるため、早期から消化器症状が出現することが示唆されている。実際に臨床的事実として、便秘や食欲低下といった消化管運動機能異常がパーキンソニズムなどのパーキンソン病の運動症状よりも先行しているとの報告があり、仮説を裏付けている。本症例では、パーキンソン病診断時に酸化マグネシウム 330mg を 3錠分 3 で処方されているが、L-dopa の副作用にある便秘への対策程度の処方量であった。入院時での処方量の増加や下剤の追加投与はなく、処方内容からの推測になるが、パーキンソン病の自律神経障害として便秘ははっきりしないと考えられた。

### 6. 本症例における考察のまとめ

基礎疾患にパーキンソン病のある患者の肺炎、尿路感染、脱水の治療で軽快した後に嘔吐や腹痛を認め、腸管虚血に至った一例を経験した。腹部症状が出現し、画像検査をした時にはすでに腸管虚血がおこり壊死に陥っていたと考えられる。腸管壊死の場合の治療は原則的には手術となるが、腸管の壊死範囲に加えて、年齢や ADL も手術適応に影響してくる。今回の症例では、89 歳と高齢であり、パーキンソン病（Hoehn & Yahr 分類 5 度）であったことから手術適応外となった。経過の中で腸管壊死がおこる前に NOMI の診断ができていたら、薬による治療もできたかもしれない。

NOMI は早期診断が難しいと言われている疾患であるが心不全、心筋梗塞、ショック状態、敗血症、脱水状態、透析などのリスク因子をもった患者に腹部症状が出現した場合は、NOMI を初めとした腸管虚血を起こす疾患を念頭におき、造影 CT や血管造影検査を検討する必要があると考えられる。

### 【参考文献】

末梢閉塞性動脈疾患の治療ガイドライン

非閉塞性腸管虚血の診断と治療 日本腹部救急医学会雑誌 2015 年 35 巻 3 号

非閉塞性腸管虚血の病態と治療 日集中医誌 2007 ; 14 : 10 ~ 13

血流障害と消化管疾患の疾患概念 臨床消化器内科 Vol.34 No.1 2019

パーキンソン病と消化管運動機能障害（L-DOPA 血中濃度との関連性）. 臨床神経学 53 巻 11 号（2013 : 11）

パーキンソン病における消化管生検および皮膚生検. 日本臨牀 76 巻 増刊号 4（2018）

CPC レポート（第 135 回 中央病院 CPC）

研修医氏名：助川礼，長谷川恵理

CPC 年月日：2019 年 9 月 24 日

解剖番号：A965 診療科：血液内科

主治医・臨床指導医氏名：小村裕美 病理解剖医・病理指導医氏名：小田晋輔

## 1. 臨床経過および検査所見と臨床診断

【症例】58歳 男性

【主訴】なし（非血縁者間末梢血幹細胞移植目的）

【既往歴】高血圧，脂質異常症，2型糖尿病

【生活歴】喫煙：なし，飲酒：なし，アレルギー：なし

【常用薬】ビソプロロールフマル酸塩錠 5mg 1錠 1日1回朝食後，ジルチアゼム塩酸塩徐放カプセル 1Cp 1日1回朝食後，アトルバスタチンカルシウム水和物錠 10mg 1錠 1日1回朝食後，ポラプレジック錠 75mg 2錠 1日2回朝食後・寝る前，ボノプラザンフマル酸塩錠 20mg 1錠 1日1回朝食後，ビルダグリプチン錠 50mg 2錠 1日2回朝・夕食後，デラシクロス顆粒 360mg 2包 1日1回朝食後

【現病歴】20XX年4月12日，倦怠感を主訴に近医を受診した血液検査でWBC 19100/ $\mu$ L，Hb 11.9g/dL，Plt 3.9/ $\mu$ Lを認めた。4月13日，精査加療目的に当科紹介となった。血液検査でWBC 14420/ $\mu$ L（Myelo 7%，Meta 6%，St 3%，Seg 33%，Lympho 24%，Mono 2%，Eosino 1%，Other 24%），Hb 11.4g/dL，PLT 4.1万/ $\mu$ Lであった。骨髄穿刺でNCC 21.1万，Blast 49.8%，PCRでAML1/MTG8=810000であり，Gバンドよりt(8;21)(q22;q22)AMLと診断した。4月16日，寛解導入療法（AraC+IDR）を開始した。5月15日，骨髄穿刺でNCC 3.5万，Blast 66.6%であり，CRに至らなかった。5月22日，再寛解導入療法としてMECを施行した。6月25日，骨髄穿刺で1st CRに至り，MRDも疑われAML1/MTG8 3000であった。7月5日，寛解後療法を開始した。8月8日，骨髄穿刺でAML1/MTG8 730であった。8月28日，非血縁者間末梢血幹細胞移植目的に当科入院となった。

### 【入院時現症】

身長：175cm，体重：77.4kg，BMI：25.3，PS：0，体温：36.8℃，血圧：111/65 mmHg，脈拍 68回/min，呼吸数 18回/min，SpO2 97%

意識清明，頭部：眼瞼結膜蒼白，頸部：リンパ節腫大なし，胸部：呼吸音清，ラ音なし，心音整，明らかな心雑音なし，腹部：平坦，軟，圧痛なし，四肢：下腿浮腫なし

### 【検査所見】

<血液検査> TP 6.3g/dL，Alb 3.6g/dL，A/G 1.33，CRP 0.64mg/dL，T-Bil 0.90mg/dL，AST 12U/L，ALT 11U/L，ALP 171U/L， $\gamma$ -GTP 27U/L，LDH 197U/L，BUN 16.1mg/dL，Cre 1.11mg/dL，eGFR 54.24mL/min/1.73m<sup>2</sup>，Na 141.5mEq/L，K 3.24mEq/L，Cl 101.7mEq/L，血糖 123mg/dL，WBC 6100/ $\mu$ L，RBC 274万/ $\mu$ L，Hb 8.5g/dL，Plt 20.2万/ $\mu$ L，Ret 18.2万/ $\mu$ L，NEUT 3890/ $\mu$ L，LYMP 1080/ $\mu$ L，MONO 1000/ $\mu$ L，EO 80/ $\mu$ L，BA 50/ $\mu$ L

<頸部～骨盤部CT画像>左上葉S3，右中葉に帯状影，不整形陰影が出現している。両下葉背側に胸膜に並行する線状影を認める。左腎嚢胞あり。

### 【入院後経過】

第7病日にフルダラビン，ブスルファン，全身放射線照射で前処置を施行した。また，GVHD予防のために第13病日にタクロリムス，第16，18，21病日にメトトレキサート（MTX）を投与した。第26病日にもMTXを投与する予定だったが，口腔粘膜障害が強く中止した。

第15病日に非血縁者間末梢血幹細胞移植を行い，第28病日に生着した。

第38病日に，顔，頸部に掻痒感を伴う紅斑，紅色丘疹が出現した。GVHDの皮膚のStageは1で，Grade Iであった。同日皮膚生検を行ったが，GVHD，薬疹どちらの可能性も考えられたため生検

結果を待たずに、翌日被疑薬であるST合剤を中止した。しかし第41病日には皮疹が全身に拡大し、GVHDの皮膚stageは3、Grade2だった。メチルプレドニゾロン（mPSL）75mgを開始し、その後皮疹の状態をみながら漸減した。

第51病日に血液検査でCMVアンチゲネミアが76900分の2であり、先制治療としてガンシクロビル（GCV）100mg/日で開始し陰性化するまで継続した。

第61病日に排尿時痛が出現し、病理所見、miniQの所見からBKウイルス膀胱炎と診断し、対症療法を行った。

第66病日、mPSLを40mgに漸減中に皮疹が増悪し、ステロイド抵抗性GVHDと診断した。ステロイドを増量し症状は一旦改善したが、その後もステロイドを減量すると皮疹が増悪し減量することが困難だったため、二次治療としてATG投与を行った。

第93病日にCMVアンチゲネミアが72200分の6と再度陽性になり、GCVを開始し、第114病日にCMV判定で陰性となった。

第121病日に血便が出現し、下部消化管内視鏡で回盲部に多発潰瘍を認めた。同日のCMVアンチゲネミアは陰性だったが、CMV腸炎の可能性も考えられるためGCVは継続した。生検結果からCMVは検出されずGVHDのみを示唆する所見を認めたため、第134病日にGCVを中止した。

第138、139病日に再度血便を認めたが、絶食で自然に軽快した。

第146、147病日にも血便をみとめ、下部消化管内視鏡で盲腸～上行結腸に多発潰瘍を認めた。生検結果からはGVHD、CMVの併発が主病態と考えられた。

また、第147病日の血液検査でβ-Dグルカン、アスペルギルス抗原陽性であり、翌日撮ったCTでは左舌区に空洞性陰影を認め、侵襲性肺アスペルギルス症と診断し、ポリコナゾールを開始した。

第153病日に腹部全体、特に右上腹部の痛みが出現し、CTでfree airを確認した。盲腸から横行結腸に血腫や血液を伴う残渣の貯留を疑う淡い高吸収域が見られ、回盲部の潰瘍部からの出血が考えられた。潰瘍穿孔による汎発性腹膜炎が疑われ、右結腸半側切除、人工肛門造設術を緊急で施行した。手術翌日、左片麻痺が出現し、頭部MRIで急性期脳梗塞が疑われた。その後、状態は徐々に安定してきたが、第158病日に呼吸困難が出現した。胸部X線で左肺野の透過性低下が認められ、徐々に増強した。肺炎、肺出血、肺水腫などが疑われたが、利尿剤への反応不良で、徐々に酸素化も低下していき、第161病日、15時51分に死亡を確認した。

## 2. 臨床的疑問点

- ①肺炎について
- ②腸管の状態（GVHD・CMV感染）
- ③腸管以外にGVHDの所見があったか（肺、肝臓など）
- ④骨髄の状態

## 3. 病理解剖診断と主な所見

### 【主病理診断】

- ①アスペルギルス感染症（肺、腎、心臓、甲状腺、脾臓）
- ②ウイルス感染症（CMV - 肺、腸管、副腎；BK - 膀胱）
- ③皮膚&腸管GVHD
- ④播種性血管内凝固症候群（腎臓、副腎、心臓）



⑤多形性移植後リンパ増殖異常症（多形性 PTLD）（胃，大腸）

⑥ AML with RUNX1-RUNX1T1, in CR, 低形成骨髄

#### 4. CPC における討議内容

- ・本症例の AML の予後層別化因子はどうであったか？ 本症例の予後良好となる因子として、PS2 以下、発症様式が de novo である点、染色体核型が t (8 ; 21) (q22 ; q22) が挙げられ、予後良好であったと考えられた。
- ・入院までに肺炎は見られたか？ 明らかに肺炎と思われるものはなかったが、発熱、腹部症状など疑わしい経過はあった。
- ・元々の  $\beta$ -D グルカン・アスペルギルス抗原の推移は？  $\beta$ -D グルカン・アスペルギルス抗原は 10 月以降測定しておらず、1 月 21 日より測定し陽性であった。
- ・CMV 腸炎で穿孔を生じる割合は？ いくつかの症例報告がなされており稀と考えられるものの、具体的な割合までは記載は見つからなかった。
- ・生検は消化管穿孔の原因になっていたか？ 生検から穿孔まで 6 日間ほど空いており、穿孔の原因にはなっていないと考えられる。
- ・アンチゲネミアの量から CMV 肺炎の可能性は低いのではないか？ 経過の中では積極的に疑っていなかったが、剖検所見より CMV 陽性細胞が見つかったため、CMV 肺炎を起こしていたと考えた。
- ・CMV リスク因子について ドナー、レシピエントともに CMV 抗体陽性であった。その他の因子については考察で言及する。
- ・直接死因については呼吸不全と考えてよいか？ 直接死因は呼吸不全であり、その原因として侵襲性肺アスペルギルス症、CMV 肺炎、DIC、心不全があると考えた。
- ・骨髄低形成の理由は GCV によるものと考えているか？ 免疫抑制剤や GCV の副作用により骨髄抑制が起こっていたものとする。

#### 5. 臨床的疑問点についての考察

##### ①肺炎について

第 142 病日より呼吸苦が徐々に増悪し、38°C 台の発熱、SpO<sub>2</sub> の低下を認めた。肺野でう音を聴取し、胸部 X 線画像で左肺野優位の透過性低下を認め、血液検査でアスペルギルス感染、CMV 感染が疑われた。胸部 CT 画像では、第 117 病日から第 133 病日にかけて舌区に空洞を伴う浸潤影が出現、増悪し、真菌感染の可能性が疑われた。剖検所見より、アスペルギルスの菌糸や CMV 感染細胞を認め、周囲に好中球浸潤もあり細菌性肺炎を合併していたことが考えられた。病理所見や、CMV に感染している肺はアスペルギルス感染症のリスクとなるという報告から、本症例は CMV 感染で壊死や出血を起こした肺に真菌感染を重複したと考える。以上より、肺炎は CMV、アスペルギルス、細菌による重複感染によるものと推察され、死因に直接関係したと考える。

##### ②腸管の状態（GVHD・CMV 感染）

腸管の状態については、本症例は腸管 GVHD、CMV 腸炎どちらも高リスクの患者であり、剖検で腸管 GVHD、CMV 腸炎ともに所見を認めたことから併発していたと考えられる。

##### ③腸管以外に GVHD の所見があったか（肺、肝臓など）

肺，肝臓には GVHD の所見は見られなかったが，皮膚に GVHD の所見を認めた．

#### ④骨髄の状態

骨髄は低形成であり，病理学的には腫瘍細胞は指摘されず完全寛解の状態にあったと考えられる．

#### ⑤死因

本症例は AML で移植後であり，移植・免疫抑制剤の影響で免疫抑制状態であった．アスペルギルス，CMV，細菌による種々の感染症が引き起こされ，特に CMV 腸炎による潰瘍は穿孔し腹膜炎をきたした状態であった．感染は全身に広がっており，肺炎による呼吸状態悪化や感染を契機とした DIC，心不全により全身状態が悪化し死に至ったと考える．

### 6. 本症例の考察とまとめ

非血縁者間末梢血幹細胞移植後に CMV 腸炎を合併し，腸穿孔をきたした 1 例を経験した．本症例はステロイド抵抗性の GVHD であり，二次治療への変更のタイミング，薬剤選択などが今後の課題としてあげられる．

### 7. 参考文献

- 1) 造血細胞移植ガイドライン（第 4 版） GVHD
- 2) 造血細胞移植ガイドライン（第 4 版） サイトメガロウイルス感染症
- 3) 造血細胞移植ガイドライン（第 4 版） 真菌感染症の予防と治療
- 4) 造血幹細胞移植ポケットマニュアル 河村卓二ら．サイトメガロウイルス感染を疑う下部消化管病変．消化管内視鏡 .29.4.670-673.2017
- 5) Makoto Murata,Hideki Nakasono,et al,Clinical Factor Predicting the Response of Acute Graft-versus-Host-Disease to Corticosteroid Therapy : An Analysis from the GVHD Working Group of the japan Society for Hematopoietic Cell transplantation. Biol Blood Marrow Transplant 19（2013）1183-1189

CPC レポート（第 136 回中央病院 CPC）

研修医氏名：竹本和弘 三嶋豪志

CPC 年月日：2019 年 11 月 26 日 提出年月日：2020 年 1 月 15 日 解剖番号：A974

診療科：総合内科 主治医・臨床指導医氏名：吉田諒 病理解剖医：徳安裕輔

#### 1. 臨床系および検査所見まとめと臨床診断

【症例】84 歳男性

【主訴】発熱，酸素化不良

【現病歴】2019 年 7 月末から暑さのせいかわず元気がない様子であった．

8 月 2 日，デイサービス中に肩で呼吸する様子に職員が気づき，バイタル測定したところ，体温 37.8℃，血圧 112/80mmHg，心拍数 124 回 /min であり，近医を受診した．

受診時 SpO2 90%（room air）前後，WBC 79 × 10<sup>2</sup>/μL，CRP 11.8mg/dL，Hb 9.8g/dL，胸部レントゲンにて両側に浸潤影を認めた．肺炎を疑われ，当院救急外来紹介受診となった．

【既往歴】糖尿病，慢性心不全，高血圧，非弁膜症性心房細動，慢性胃炎，高尿酸血症，胃癌（胃切除後），

肝硬変, 早期大腸癌 (ESD 後), 鼠径ヘルニア, 大腿骨転子部骨折

#### 【生活歴】

ADL 自立 入浴のみデイサービス 要支援 2

喫煙 : 20 本 × 50 年 (2005 年頃から禁煙)

飲酒 : 元は大酒家 (40 歳頃から禁酒)

アレルギーなし

#### 【家族歴】 特記事項なし

#### 【常用薬】

フェブキソスタット錠 10mg<sup>1</sup> 錠分 1 朝食後, アピキサバン錠 2.5mg<sup>2</sup> 錠分 2 朝夕食後, ビルダグリ  
プチン錠 50mg<sup>2</sup> 錠分 2 朝夕食後, ナテグリニド錠 90mg<sup>3</sup> 錠分 3 毎食後, ボグリボース口腔内崩壊  
錠 0.2mg<sup>3</sup> 錠分 3 毎食後, ランソプラゾール腸溶錠 15mg<sup>1</sup> 錠分 1 夕食後, アレンドロン酸ナトリウ  
ム水和物錠 35mg<sup>1</sup> 錠週 1 回水曜日, 芍薬甘草湯 2g 分 1 眠前, サインバルタカプセル 20mg<sup>1</sup> カプセ  
ル分 1 夕食後, ポリスチレンスルホン酸 Ca 経口ゼリー 20% 25g 1 個朝食時

#### 【主な入院時現症】

体温 : 36.6°C, 心拍数 : 96/min, 血圧 : 111/71mmHg, SpO<sub>2</sub> : 80% (room air), 呼吸数 : 24/min,  
JCS : I -1

頭頸部 : 頸静脈怒張あり 胸部 : 両側で fine crackles 聴取

腹部 : 腹部平坦軟, 圧痛なし 四肢 : 下腿浮腫なし

#### 【検査所見】

##### 〈血液検査〉

WBC 66.8 × 10<sup>2</sup>/μL (好中球 87.8%, リンパ球 4.9%, 単球 1.8%, 好酸球 0.1%, RBC 366 × 10<sup>4</sup>/μL),  
HGB 8.6g/dL, HCT 27.4%, MCV 74.9fL, Plt 22.6 × 10<sup>4</sup>/μL, CRP 11.83mg/dL, TP 5.5g/dL,  
ALB 2.5g/dL, T-Bil 1.06mg/dL, AST 73U/L, ALT 48U/L, ALP 417U/L, γ-GTP 39U/L, LDH 292U/L,  
CK 71U/L, BUN 14.5mg/dL, CRE 0.85mg/dL, eGFR 64.98mL/min/1.73 m<sup>2</sup>, UA 3.7mg/dL, Ca 7.9mg/  
dL

IP 2.2mg/dL, Mg 1.7mg/dL, Na 131.1mEq/L, K 3.69mEq/L, Cl 98.2mEq/L, BNP 162.1pg/mL,  
KL-6 1361U/mL

##### 〈動脈血液ガス検査〉

pH 7.469, pCO<sub>2</sub> 28.9mmHg, pO<sub>2</sub> 46.9mmHg, Anion Gap -1.8mmol/L, HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 22.5mmol/L  
ABE -2.0mmol/L, Glu 335mg/dL, Lac 1.6mmol/L

##### 〈尿検査〉

色調 黄色, 比重 1.016, pH 5.5, 尿蛋白 20 (±) mg/dL, 尿糖 500 (3+) mg/dL, ケトン体 (-), 尿潜血 (-),  
ウロビリノーゲン 4 (2+) mg/dL, ビリルビン (-), 亜硝酸塩 (-), 白血球反応 (-), 尿中肺炎球菌  
莢膜抗原 (-),

尿中レジオネラ (-)

##### 〈胸部レントゲン検査〉

右中肺野~下肺野, 左全肺野にすりガラス影, 浸潤影を認める.

##### 〈胸部~骨盤部単純 CT 検査〉

左肺全域, 右肺の荷重側や末梢優位に浸潤影, すりガラス影が出現. 心拡大は前回より増悪.  
両側少量胸水貯留あり, 心嚢液貯留は認めない. 右側優位に両側女性性乳房を認める.

胃は部分切除後、肝臓は辺縁鈍化と右葉の萎縮を認める。少量の腹水あり。

胆石あり、胆嚢の腫大なし。左腎周囲脂肪織混濁あり。結腸憩室を散見。結腸内に糞便貯留目立つ。  
胸腰椎多発圧迫骨折あり。

#### 【入院時プロブレムリスト】

# 1. 両側細菌性肺炎

# 間質性肺炎合併の疑い

# 2. 糖尿病

# 3. 非弁膜症性心房細動、慢性心不全

# 4. 胃癌（胃切除後）

# 5. 早期大腸癌（ESD 後）

#### 【入院後経過】

第1病日から両側大葉性肺炎としてセフトリアキソン（CTRX）を開始した。重症肺炎として CTRX →メロペネム（MEPM）1.0g に変更し、間質性肺炎の合併も考慮してプレドニゾロン（PSL）30mg 併用投与を開始した。

第3病日の午前4時頃急激に SpO<sub>2</sub> 70%前半（リザーバ付きマスク 10L）まで低下した。吸痰効果無く、気管挿管し人工呼吸器管理を開始した。胸部レントゲン検査で両肺野にびまん性浸潤影を認め、ARDS または間質性肺炎の増悪を疑い、ステロイドパルス療法（mPSL 1000mg）開始した。貧血、循環動態の悪化を考慮し、赤血球濃厚液輸血2単位を施行した。

第4病日、肺野透過性は改善傾向であった。血液検査にて肝障害、腎障害、アシドーシス、凝固異常を認め、ショック、DIC による多臓器不全と判断した。全身に皮下出血の散在が見られた。補液、ノルアドレナリンにて血圧管理を行ったが尿量 152mL/日と乏しかった。第4病日の血液検査では、好中球優位の白血球増加、肝酵素の上昇や腎機能の低下を認め、凝固異常も見られた。肺陰影から肺胞出血の可能性を考慮し、自己抗体の検査を行ったがすべて陰性であった。

第6病日に血圧上昇、腎血流増加を期待し、ヒト血清アルブミン製剤 25% 100mL 投与を行った。また、ステロイドパルスの後療法として PSL40mg を開始した。血圧はやや上昇が見られたが、乏尿状態は継続していた。

第7病日には尿量 2500mL と著明な増加がみられ、呼吸状態は FiO<sub>2</sub> 0.5 PEEP10 で SpO<sub>2</sub> 95%前後、収縮期血圧はノルアドレナリン 0.09  $\gamma$  で 120mmHg 前後と安定しつつあった。

第8病日には、血圧が安定してきたためノルアドレナリンを終了し、高カロリー輸液を開始した。血液検査上も炎症反応や肝酵素は改善傾向であった。

第13病日には呼吸状態は安定し、メロペネムを終了した。抜管に向けて CPAP への変更を検討したが頻呼吸が出現し中止とした。

第15病日、レントゲンにて肺野に粒状影、斑状影の出現を新たに認めた。 $\beta$ -D グルカン 208pg/mL であり、真菌感染症を疑い、血液培養、喀痰培養を提出した。ニューモシスチス肺炎やカンジダ血症を疑い、フルコナゾール 200mg、ST 合剤（トリメトプリムとして 640mg/日）を開始した。提出した細菌検査からは、吸引痰、血液培養ともに有意な所見はなく、その後は酸素化、血圧ともに増悪傾向であった。

第18病日には Hb 6.3 と貧血が徐々に進行し、赤血球濃厚液輸血2単位を行った。

第19病日に血液培養の陰性を確認し、眼科診察にて眼内炎を疑う所見を認めなかったことから、カンジダ血症は否定的と考えフルコナゾールを終了した。PSL を 40mg から 20mg に減量した。ま

た血圧の変動ありノルアドレナリンを再開した。

第 21 病日には、血圧の低下が持続し、ノルアドレナリンを増量したが、循環動態が維持できず 15 時 38 分に死亡確認を行った。

## 2. 臨床上の疑問点

- ①真菌感染はあったのか
- ②肺の状態（画像所見の 2 峰性の経過について）
- ③死因
- ④ PcP 発症リスクと本患者の PcP 発症リスクについて
- ⑤ non-HIV PcP と HIV PcP の違いについて
- ⑥ステロイド投与早期での PcP 発症の症例報告
- ⑦ ST 合剤の予防投与が望まれたかどうか

## 3. 病理解剖診断と主な所見

- ①器質化期びまん性肺胞傷害（Difuse Alveolar Damage : DAD）
- ②ニューモシスチス肺炎（Pneumocystis pneumonia ; PcP）
- ③肝硬変（アルコール性肝硬変疑い）+ ショック肝
- ④急性尿細管障害
- ⑤胃潰瘍
- ⑥腹壁内血腫
- ⑦ L1 圧迫骨折

肺には、組織学的には線維化を伴った肺胞の虚脱がみられ、肺胞管内を充填する形で肉芽様組織の形成を認めた。一部の肺胞腔内には好中球浸潤もみられ、多くの部分でびまん性肺胞障害の所見を認めた。肺動脈には一部で器質化血栓が存在した。また、グロコット染色で真菌を認め、形態からはニューモシスチスが考えられる。

肝臓は、710g で肉眼的に辺縁鈍の肝硬変であり、割面に結節を認めなかった。部分的に出血が見られ、ショックの影響と考えられる。

腎臓は、腎乳頭に軽度うっ血を認め、虚血による変化と考えられる。組織学的には、核の脱落した尿細管上皮が見られ、虚血による軽度の急性尿細管障害と考えられる。

胃は、幽門側胃切除後の残胃で、点状出血、前壁に 7mm 大までの潰瘍がみられた。

左上腹部の皮下血腫の部位は腹壁にも筋肉内血腫が見られたが、真菌はみられなかった。

## 4. CPC における討議のまとめ

- ・既往に慢性心不全があるが、入院後の心機能はどうだったのか

第 4 病日の心エコー検査では EF58% であり、収縮能は保たれていたと思われる。重度の三尖弁逆流が存在していた。これは以前は指摘されておらず ARDS による肺微小血栓などによる肺血管抵抗の上昇による変化であると考えられる。

- ・第 1 病日の PSL30mg の意図

重症肺炎に伴う呼吸不全に対するの治療としての投与とともに間質性肺炎の要素も疑って行った。

- ・貧血の原因

DICによる凝固異常による皮下血腫や消化管出血もみられていたため、その影響と考えられる。

- ・肺病理のDADは今回のイベントによるものか

病理からは炎症と線維化の混在がみられ慢性期には至っておらず、発症からの時間経過も合致するため今回のイベントによると思われる。

- ・直接の死因

直接の死因はPcPを契機とした血圧低下によるショックと考えられる。

繰り返す感染によってARDSの急性期後の線維化が強く出現したこと、抗真菌薬の投与によって破壊されたニューモシスチスの菌体が一時的にばらまかれたことによる全身状態の悪化も影響したものと考えられる。

- ・解剖時検査の真菌の意義

気管支ぬぐい液の真菌は口腔内の真菌を誤嚥したものであると考えられ、肺病理を含めて考えても優位な所見ではないと考えられる。

- ・治療経過を振り返ってできれば良かったこと

ARDSに対してプロトコルの存在する病院では腹臥位療法が生存率を上昇させるために推奨されているが、当院ではプロトコルが存在せず、実施しなかった。腹臥位療法の実施に習熟した施設であれば行うことができたかもしれない。

## 5. 臨床上の疑問点についての考察

### ①真菌感染はあったのか

ステロイド投与中の呼吸状態の悪化、胸部Xpでの粒状影の出現、 $\beta$ -Dグルカン高値からPcPが疑われた。PcPの診断については、ニューモシスチスの培養ができないことにより、喀痰、BALF、肺組織などの呼吸器検体染色標本の鏡検や、PCRによりニューモシスチスを証明する。さらに血清中の $\beta$ -Dグルカン、LDHの測定も診断に有用である<sup>1)</sup>。今回の症例での、培養陰性や $\beta$ -Dグルカン上昇は上記の診断方法に矛盾しない。病理所見にて、肺組織からニューモシスチスらしき真菌が見つかったことから、ニューモシスチスの感染はあったと考えるのが自然である。加えて、 $\beta$ -Dグルカンの偽陽性についても言及しておく。 $\beta$ -Dグルカンは、ニューモシスチス肺炎では、感度92～96%、特異度88～89%と有用な検査ではあるが、様々な要因で偽陽性を生じることがある。今回の症例では、アルブミン製剤の投与が偽陽性の要因となり得る。ある報告での、アルブミン製剤25% 50mL内に $\beta$ -Dグルカンは76pg/mL含まれる、という数値<sup>2)</sup>を参考に計算すると、計5単位アルブミン輸血された今回の症例では、9.50pg/mL上昇する計算となる。さらに、 $\beta$ -Dグルカン測定は最後のアルブミン輸血から6日後であり、やはり $\beta$ -Dグルカン陽性は考えにくい。

### ②肺の状態（画像所見の2峰性の経過について）

解剖時の肺は、ARDSの亜急性期の像である炎症と線維化の混在に加えてニューモシスチスの感染を合併している状態であった。

ARDSの診断基準としてはBerlin定義が用いられ①何らかの侵襲または新しい呼吸器症状から1週間以内、②PEEP  $\geq$  5cmH<sub>2</sub>OでP/F比300以下、③胸部X線：胸水、無気肺、小結節影で説明できない両側浸潤影、④肺水腫の原因が心不全、輸液過剰のみでは説明できない肺水腫の

4つの項目をみたとすることで診断される。本症例はP/F比100以下で重症ARDSに分類される。ARDSは経時的に3つ病期に分かれ、発症から7日までの急性期では透過性亢進による肺水腫と低酸素血症を起こす。7日～21日の亜急性期では線維芽細胞の増殖が出現し、炎症と器質化の混在がみられる。それ以降の慢性期では高度肺線維化が起こる。画像所見の経時変化としては、急性期は両側性すりガラス影、気管支透亮像がみられる。亜急性期では線維化の出現を反映して、すりガラス影内部に網状影が出現し、気管支透亮像の拡張が見られ、慢性期では網状影となる3)。以上のことから画像所見の2峰性の経過は肺炎、ARDS、PcPによると考えられる。入院時から第12病日までは、肺炎とそれを契機としたARDSを発症し、浸潤影の増悪がみられた。その後、肺炎の治療と人工呼吸器管理による換気の改善により、画像上は改善がみられた。第15病日以降ではARDSが亜急性期へと移行したとPcPによって、網状影が出現し再度増悪したものと考えた。

### ③死因

直接の死因はPcPを契機とした血圧低下によるショックと考えられる。

入院からの経過としては細菌性肺炎にて入院し、ARDSを発症して、呼吸不全、血圧低下、DICとなった。ノルアドレナリン、アルブミン輸血によって血圧は一時改善した。しかしながら真菌感染を契機に、再度呼吸不全、血圧低下が出現し、抗真菌薬で治療するも徐々に血圧低下が進行し死に至った。真菌感染と同時にARDSによる線維化が出現したため、抗真菌薬開始後も画像上の悪化が見られた。

### ⑤ HIV PcP と non-HIV PcP の違いについて

PcPの中でヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫低下にて引き起こされるPcPをHIV PcPと称し、血液疾患や、担癌状態、免疫抑制薬などHIVの関わらないPcPをnon-HIV PcPと呼ぶ。HIV PcPとnon-HIV PcPでは臨床像が異なる。進行速度において、HIV PcPは1～2ヶ月と緩慢な進行をするのに対し、non-HIV PcPは1週間程度の急速な進行となる。また、HIV PcPでは菌量が多いため容易に嫌酒可能であるが、non-HIV PcPでは菌量が少なく検出困難である。予後については、HIV PcPの方がnon-HIV PcPと比べて良好であり、non-HIV PcPはより重症となりやすい。

HIV-PcP	Non HIV-PcP
びまん性陰影・低酸素血症	びまん性陰影、低酸素血症
緩慢な進行(1～2ヶ月)	進行急速(1週間前後)
菌量多い	菌量少なく検出困難な場合あり)
予後は比較的良好	予後は悪い
CD4リンパ球の低下が必発	CD4リンパ球の低下は必発ではない

### ④ PcP 発症リスクと本患者のPcP発症リスクについて

non-HIV PcPの危険因子としては、(1)副腎皮質ホルモン製剤の使用、(2)膠原病、(3)血液悪性腫瘍、(4)固形腫瘍、(5)固形臓器移植、などが挙げられる。今回の症例では、副腎皮質ホルモン製剤の使用が挙げられる。大規模な研究は行われていないものの、これまでの研究の結

果から、ステロイドを PSL 換算 20mg/ 日以上で 4 週間以上使用する場合に PCP に対する予防が提案されているが、報告によっては PSL 換算 20mg 以上を 2 週間以上投与する症例では ST 合剤の予防的投与を推奨しているものもある 4,5)。

#### ⑥本症例では P<sub>c</sub>P に対する ST 合剤の予防投与が望まれたかどうか

現在 P<sub>c</sub>P に対する予防適応については、HIV P<sub>c</sub>P では CD4 リンパ球 200/  $\mu$  L 以下で開始する事が推奨されているが、non-HIV P<sub>c</sub>P においては予防に対するエビデンスが少ない。ステロイドによる non-HIV P<sub>c</sub>P の予防については、大規模な研究は行われていないものの、これまでの研究結果から、ステロイドを PSL 換算で 20mg/ 日以上で 4 週間以上使用する場合に推奨される 5)。しかし、ステロイドの使用が少量あるいは短期間の場合でも、患者背景を検討し PCP のリスクを個別に判断する必要がある。予防投与する薬剤については HIV P<sub>c</sub>P, non-HIV P<sub>c</sub>P とともに ST 合剤が第一選択薬である。

本症例では、第 1 病日から PSL30mg を開始し第 21 病日に死亡するまで、PSL20mg 以上のステロイドの投与が行われている。第 19 病日から PSL 漸減し 20mg としているが、状態悪化が起らず 1 週間ごと漸減を続けた場合では PSL20mg 以上の投与期間は合計でおおむね 4 週間となることが予想される。また、上述の通り PSL20mg の 4 週間の投与の条件を満たさない場合でも、実際に行うかどうかは患者背景を含めて臨床判断となる。本症例では、全身状態の悪化からは一時は脱出していたが感染などの新規イベントには耐えられる状態はなく、結果的には ST 合剤の予防投与は望まれたと考えられる。

しかし、临床上はステロイドパルス開始時点では、肺炎による ARDS の他に間質性肺炎の増悪なども疑われ、診断に苦慮したことから、ステロイド投与期間を決定することが難しかった。ステロイドパルス後は、 $\beta$ -D グルカンが陽性となる第 15 病日まではバイタル、炎症反応、胸部レントゲンで改善傾向であり、予防投与開始の判断は容易ではなかったと考えられる。

具体的に予防投与をどの時点から開始すべきであったかについて振り返って考えると、第 15 病日に  $\beta$ -D グルカンの上昇が見られており、予防投与はそれ以前になされるべきであった。第 3 病日の状態悪化以降は、新規感染が起こった場合のリスクは常に高かったと考えられる。よってステロイドパルス後に後療法として PSL の投与を継続した時点から予防投与の開始が検討されるべきだったと思われる。

以上のことから、ステロイド開始の際は、投与量や投与期間についての見通しを早期にたてることが重要性であるとともに、患者の状態が感染に耐えられないと思われる場合は、状態が改善傾向でステロイド開始早期であっても ST 合剤の予防投与について検討することが必要であると考えられる。

#### 6. 本症例における考察のまとめ

肺炎球菌性肺炎を治療中に ARDS, P<sub>c</sub>P を続発し死亡に至った一例を経験した。ARDS の急性期は脱することができたが、亜急性期の肺線維化と P<sub>c</sub>P の発症によって状態が悪化し、救命が困難であった。ARDS は急性期後に線維化を起こすことに注意すべきである。また、患者の状態が改善傾向であっても、新規感染をおこした場合のリスクが高い場合には ST 合剤の予防投与を検討することが重要である。



**【参考文献】**

- 1) 深在性真菌症の診断・治療ガイドライン 2014
- 2) 新薬と臨床 J. New Rem. & Clin. Vol.59 No.10 2010 : 1834-1841
- 3) ARDS 診療ガイドライン 2016
- 4) Prevention of Infection Due to Pneumocystis spp. in Human Immunodeficiency Virus-Negative Immunocompromised Patients. Clin Microbiol Rev 2004 ; 17 : 770-782
- 5) Tang BM et al. Use of corticosteroids in acute lung injury and acute respiratory distress syndrome Crit Care Med 37 1594-1603.2009

## 業績集規約

### 【業績目録】

1. 当院職員が当院在職中に発表した業績を対象とする。
2. 重複する目録は筆頭者の所属のみに掲載とする。
3. <誌上発表><学会・研究会発表><講演・講義・研修会><新聞・テレビ・ラジオ><学会・研究会の主催>を対象とする。

### 4. 書式・表記法

<誌上発表>…論文：タイトル（改行） 著者（改行） 雑誌名． 巻数：頁－頁， 発表年（西暦）  
著書：タイトル（改行） 著者（改行） 書籍名（出版社名）． 巻数：頁-頁， 発表年（西暦）

※雑誌名は医学中央雑誌に準ずる。

<研究会・学会発表>…タイトル（改行） 演者（改行） 学会名． 発表場所， 発表年（西暦）． 月

<講演・講義・研修会>…タイトル（改行） 演者（改行） 講演名． 発表場所， 発表年（西暦）． 月

<新聞， テレビ， ラジオ>…タイトル（改行） 演者（改行） メディア名． 発表年（西暦）． 月

<学会・研究会の主催>…学会名（改行） 主催者名． 発表場所， 発表年（西暦）． 月

- ・著者・演者の数が多く省略するときは「〇〇， 他」， 「〇〇， et al.」と表記する。
- ・発表場所は， 東京都， 鳥取市， 八頭町などと表記する。
- ・著者・演者名はその途中で改行されないようにする。

### 【臨床統計】

1. 手術統計は診療報酬点数表をもとにつくることを原則とする。
2. 点数表にない手術もしくは学術的に名称が妥当でないものについては各部署の責任者の判断とする。
3. 統計は3年分を時系列で掲載する。

### 【共通事項】

1. 校正は著者の責任においておこなうこととする。
2. 原稿の返却， 訂正， 掲載の適否， 順序は委員会において決定する。
3. フォントはMSPゴシック． 文字サイズは業績目録 10.5pt， 臨床統計 10pt， 見出し 14pt.
4. ページ設定はA4， 余白は上下左右いずれも 25mm， 40行／頁， 45文字／行を原則とする。
5. ; : は全角とする。 。 、 は使用しない。
6. その他の書式や表記法については本文参照。

研究業績集 第38集

---

発行 令和3年1月15日

発行者 鳥取県立中央病院長 廣岡保明

編集 業績編集室

発行所 鳥取県立中央病院

鳥取市江津730番地

☎0857-26-2271

---

印刷所 有限会社 螢光社 ☎0857-22-5565

